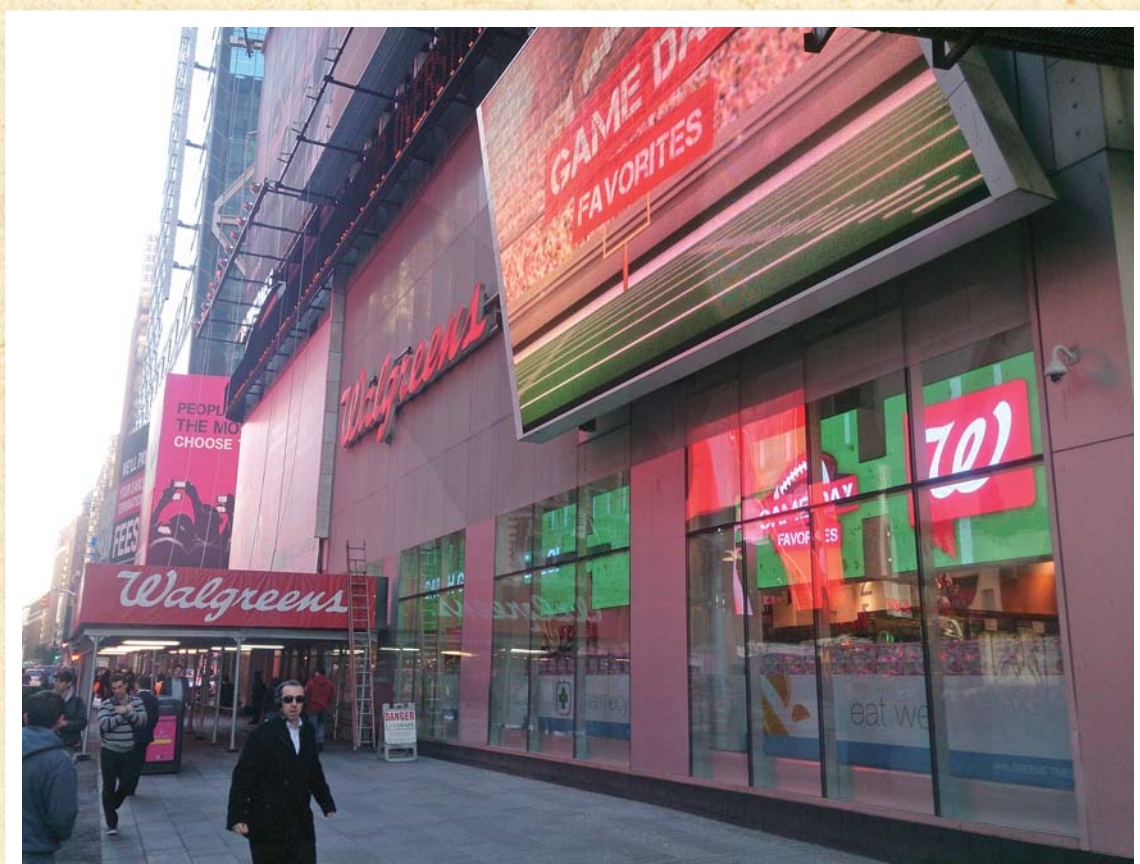




報会師剤薬新大

No.292. 2018(平成30年) 3・4・5月号



沖繩県薬剤師会

目次

薬剤師綱領	 (1)
表彰	那覇警察署から感謝状が贈呈される.....大城 喜仁 (2)
	那覇地区学校保健功労者表彰および感謝状 (被表彰者：前濱朋子先生、笠原大吾先生)長嶺 勇作 (2)
寄付	沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告.....大城 喜仁 (3)
総会	第77回臨時総会開催.....大城 喜仁 (4)
総会資料	平成30年度事業計画および平成30年度収支予算 (6)
	第77回臨時総会における議案事項の資料..... (17)
医薬分業	平成29年度健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会を終えて ...笠原 大吾 (22)
	第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会.....盛本 直也 (30)
	第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会.....上原 卓朗 (32)
	第3回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会.....平良 恭子 (34)
	平成29年度薬剤師認知症対応力向上研修報告.....中尾 滋久 (36)
	平成29年度医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の 責任技術者に対する継続研修報告.....吉田 洋史 (38)
医療安全	平成29年度医療安全講習会報告.....吉富 弓江 (39)
災害対策	平成29年度第2回BLS (一次救命処置) 講習会報告.....石川有美子 (40)
	平成29年度第3回BLS (一次救命処置) 講習会報告.....田場 英美 (40)
在宅医療	会営薬局うえはら無菌調剤室共同利用に関する講習会と 在宅医療のための無菌調剤実践講座に参加して.....神谷朝斗志 (42)
地域保健	平成29年度自殺予防対策事業ゲートキーパー薬剤師スキルアップ研修会...宮本 直樹 (44)
	第231回全国禁煙アドバイザー育成講習会報告真崎しのぶ (46)
	薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業を終えて.....笠原 大吾 (47)
月例相談会	第152回健康とおくすり相談会報告山城 晶 (48)
	第153回健康とおくすり相談会報告宮良 長博 (50)
	第154回健康とおくすり相談会報告太田井 寛 (51)
学薬部会	平成29年度日本薬剤師会学校薬剤師部会 くすり教育研修会報告新垣 紀子 (53)
青年部会	在沖米軍基地内海軍病院見学ツアー報告.....中曽根鳴香 (54)
女性薬部会	平成29年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告村田美智子・蒔 初子・玉澤真理子・藤田良子・山城聖子 (56)
	第3回「妊娠・授乳とくすり」研修会報告知念 正人 (62)
卸部会	平成29年度日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム報告.....吉富 弓江 (64)
啓発・普及活動	八重瀬町立東風平小学校「職業インタビュー」.....喜久里里奈 (67)
	沖縄県社会保険委員会コザ支部主催研修会報告.....小堀端民男 (68)
	沖縄市高齢福祉課主催講座報告.....佐久川こずえ (69)
	沖縄県初の医療介護無料情報誌「メディサポ沖縄」から取材を受ける.....大城 喜仁 (70)
D I	薬事情報おきなわNo. 249.....薬事情報センター (71)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報..... (82)
新入会員	平成29年10月1日～平成30年3月末日入会分..... (83)
医療保険	調剤報酬請求業務Q&A (第3回)医療保険委員会 (84)
薬草学	身近な薬草を知ろう 第35回 クワ：桑：シマグワ.....狩俣 イソ (86)
薬局訪問	はいさい！はいた～い！ぎのぞ薬局.....伊差川サヤカ (88)
取材報告	麻薬探知犬取材報告.....安次富 大 (90)
リレー随筆	旅と薬と思い出と.....安次富 大 (92)
薬連だより	本田あきこ オレンジ日記 ～堀内実穂さんと二人三脚～本田あきこ (93)
	本田あきこ オレンジ日記 ～薬剤師会の会員でよかった！！～本田あきこ (94)
	国会レポート ～厚生労働委員会の質疑～藤井もとゆき (95)

・表紙

「Pharmacy in New York」 photo by 鈴木 毅 (琉球大学医学部附属病院)

撮影地：米国ニューヨーク

とよ ひら ほう うん
題字：豊平峰雲

薬連だより	平成29年度沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム……………石川 恵市 (96)
	若手薬剤師フォーラムに参加して……………富永 晃弘 (98)
転載記事	後発薬使用率地域差大きく 最高は沖縄、最低は徳島…………… (99)
	服薬忘れ沖縄最多 糖尿病患者調査…………… (100)
	身近な薬剤師 気軽に相談を……………西川 裕 (101)
	県内医療4団体60万円超を寄附…………… (102)
	茶のみ話 薨の波……………狩俣 イソ (102)
	健康おきなわ21リレーエッセイ
	「薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業」……………幸地 良信 (103)
	健康フェスで身体チェック 南大東…………… (103)
会務報告	平成30年2月～4月分…………… (104)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告 (平成30年2月～3月分)…………… (112)
計 報	大城勲先生、喜瀬乗惟先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。…………… (113)
行事予定	開催日が決定した平成30年度の主な行事…………… (114)
一包一話	橋の下氏のエッセイ集「一包一話」が一冊の本となりました！……………大城 喜仁 (116)
会員作品	誌上ギャラリー (裏表紙) について…………… (118)
編集後記	…………… (118)
職員紹介	沖縄県薬剤師会新入職員紹介…………… (119)
お知らせ	会報原稿募集のご案内…………… (43)
	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！…………… (61)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (113)
	沖縄県薬剤師会 Facebookをご覧ください！…………… (115)

薬剤師綱領

一薬剤師は国から付託された資格に基き、
医薬品の製造、調剤、供給において、その固有
の任務を遂行することにより、医薬水準の向
上に資することを本領とする

一薬剤師は広く薬事衛生をつかさどる専門職
としてその職能を発揮し、国民の健康増進に
寄与する社会的責務を担う

一薬剤師はその業務が人の生命健康にかかわる
ことに深く思いを致し、絶えず薬学、医学の
成果を吸収して、人類の福祉に貢献するよう
努める。

日本薬剤師会

那覇警察署長から感謝状が贈呈される



会期：平成30年2月16日（金） 会場：沖縄県那覇警察署 訓授場



去る2月16日、沖縄県那覇警察署にて、平成30年那覇警察署感謝状贈呈式があり、当会は防犯活動功勞として大城正人同署長から感謝状を贈呈された。

功勞内容は、「平素から、警察業務に深い関心と理解を示し、テロ対策広報および爆発物原料等に関する情報提供を積極的に行うなど、警察活動に多大な貢献をした」とされている。

当会は、医療安全講習会で薬局店舗における不審者への対応に関する講義や、薬事情報センター・試験検査センターを利用した不審者宅から押収した薬物の調査などに関わった。

今回の受賞後に、多々関わった那覇警察署警備課の警察官が当会を訪れた。亀谷会長は「地域の安全安心なまちづくりに今後も貢献していきたい」と述べた。

（報告：沖縄県薬剤師事務局 大城喜仁）

那覇地区学校保健功勞者表彰および感謝状



前濱朋子先生 笠原大吾先生 おめでとうございます

＜平成30年度 那覇地区学校保健会定期総会＞
会期：平成30年5月10日（木）
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

那覇市内で学校薬剤師を10年以上勤続し、学校保健の伸展に寄与した功績が顕著な者に対して贈られる学校保健功勞者表彰に前濱朋子先生が受賞。また、那覇地区学校保健会の役員を長く勤めた笠原大吾先生には感謝状が贈られた。

（報告：沖縄県薬剤師事務局 長嶺勇作）



寄附

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告

日時：平成30年2月14日（火） 15:00～15:30

会場：琉球新報社 社長室



写真左より、仲座明美看護協会会長、亀谷浩昌薬剤師会会長、富田詢一交通遺児育成会理事長、安里哲好医師会会長、真境名 勉歯科医師会会長

去る2月14日、四師会による沖縄県交通遺児育成会への募金贈呈が、琉球新報社社長室にて行われました。本会は、沖縄県交通遺児健全育成資金造成のため、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会と協力して、毎年、募金活動を行っています。

四師会の会長を代表して安里哲好医師会会長より、「四師会会員他、関係者の皆様の温かいご支援により、609,036円の寄付をすることができました。平成2年より寄附を始め、今年で28回目になります。平成11年度まではチャリティー写真展を開催、その後も寄附を続けるため四師会が協力、各関連施設へ募金箱を設置し、募金活動を行っています。」と述べられました。

富田詢一沖縄県交通遺児育成会理事長（琉球新報社長）から、「当育成会の事業推進にご理解を頂き、大変貴重な寄附金まで賜り、御礼を申し上げます。この度の尊いご芳志については、遺児達の学業上の不安を和らげ、強く逞しく成長して将来立派な社会人になるよう有効に活用させていただきます。」と御礼のご挨拶があり、引き続いて、田積あや沖縄県交通遺児育成会事務局長より、「昭和55年か

ら交通事故で父母を亡くした、または父母が後遺障害を負った小・中・高・特別支援・専門・大学生を対象に“奨学・育成金”等を給付してきました。給付開始以来現在に至る37年間で、延べ8,579人の交通遺児を支援することが出来ました。本年度は107人の交通遺児に給付し、小・中学校入学及び中学校卒業の交通遺児12人に激励金、新たに交通遺児となった10人に対し見舞金、また、健全育成を目的としたフレンドシップへ希望者2人を兵庫県へ派遣するなど、合わせて延べ131人に対して、10,389,000円を給付しました。」と、実績報告がなされ、毎年続けている寄附への感謝の言葉がありました。

本会におきましては、下記の募金額を寄附したことをご報告致します。

（文：沖縄県薬剤師会事務局 大城喜仁）

○平成29年度四師会募金額

沖縄県医師会	459,036円
沖縄県薬剤師会	50,000円
沖縄県歯科医師会	50,000円
沖縄県看護協会	50,000円
合 計	609,036円

総会

第77回臨時総会開催

日時：平成30年3月18日（日）13:00～14:20

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



第77回臨時総会は、西川裕常務理事が司会進行をし、開会の辞を江夏京子副会長が述べた。議長は宜野湾支部の新垣慶朗代議員、副議長に糸満支部の名嘉紀勝代議員が選出され、代議員48名中過半数の43名の出席を確認し、総会の成立が宣言された。

亀谷浩昌会長の挨拶の後、議題に入った。

＜報告第1号 平成30年度事業計画について＞

前濱朋子副会長が資料に沿って事業計画を滞りなく述べた。

薬学部創設を求める活動については、西普天間返還跡地の国際医療拠点構想が示された時点から琉球大学へ薬学部創設を求めてきた。沖縄県内だけでなく日米、アジアを含め世界でも活躍できる医療の担い手としての質の高い薬剤師を養成しつつ、地域医療の水準を向上させるためにも、本会は琉球大学を最優先とした沖縄県内の国公立大学に薬学部の創設を要望していく。県民向けに実施した署名活動の成果を国・県行政・大学当局に県民の要望としてしっかり伝え、この実現のためにあらゆる方法を用いて取り組んでいく。

昨年は、偽造医薬品の流通や調剤報酬の付

け替え請求等の薬局・薬剤師の関わる不祥事が相次ぎ、薬剤師に対する国民の信頼を損なう結果となった。我々薬剤師は、「薬剤師行動規範」に基づき、社会の要請に応え、薬の専門職として社会から信頼される医療の担い手としての役割を果たして行きたい。

各委員会、部会、試験検査センター、薬事情報センターの事業計画については、特に昨年と変更のあった箇所については具体的に説明された。

＜報告第2号 平成30年度歳入歳出予算について＞

山里勇常務理事が、資料に沿って一般会計予算、各収益事業部予算：会営薬局うえはら、会営薬局とよみ、試験検査センター、その他事業会計、琉大FAXコーナー、会営薬局医療センター前について順次説明し、合算内訳予算表より公益事業にあたる実施事業等会計、共益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・とよみ等）、薬剤師会本体の管理にあたる法人会計について説明した。

＜第77回臨時総会次第＞

1. 開会の辞

(議長・副議長選出)

2. 議長・副議長登壇あいさつ

(点呼、宣告)

3. 会長あいさつ

4. 議題

報告 第1号 平成30年度事業計画について

第2号 平成30年度歳入歳出予算について

議案 第1号 正会員種別追加に伴う会員規程・会費規程の変更について

第2号 平成30年度会費額に関する件

第3号 役員報酬規程の変更について

5. 閉会の辞

司会 常務理事 西川 裕
副会長 江夏 京子

議長 新垣 慶朗

副議長 名嘉 紀勝

会長 亀谷 浩昌

副会長 前濱 朋子

常務理事 山里 勇

常務理事 山里 勇

常務理事 山里 勇

常務理事 山里 勇

副会長 外間 惟夫

＜議案第1号 正会員種別追加に伴う

会員規程・会費規程の変更について＞

山里勇常務理事が説明。定款第8条にある正会員の種別について、現行の「(2) 正会員B 正会員A以外の者」を、「(2) 正会員B 正会員AおよびC以外の者」と変更し、「(3) 正会員C 勤務先業態が行政薬剤師の者」を追加する。その目的は、行政薬剤師の会費を減額することで、行政薬剤師の加入促進をはかることであると述べた。

議案第1号について、賛成方への挙手を求め、賛成多数で承認された。

＜議案第2号 平成30年度会費額に関する件＞

山里勇常務理事が説明。正会員会費について、正会員A会費は年額54,000円（日薬会費18,000円含む）、正会員B会費は年額39,400円（日薬会費7,000円含む）、これに加えて先の議案第1号で承認された正会員C会費は年額12,000円（日薬会費7,000円含む）となる。賛助会員会費について、賛助会員A会費は年額15,000円、賛助会員B会費は処方せん受付回数1回あたり8円（上限48万円）となる。特別会員について、特別会員A会費は年額10,000円、特別会員B会費は年額17,000円

となる。

議案第2号について、賛成方への挙手を求め、賛成多数で承認された。

＜議案第3号 役員報酬規程の変更について＞

山里勇常務理事が説明。平成28年3月27日の臨時総会において会長の役員報酬係数を変更したが、全役員の年報酬総額を600万円以内としたままであった。全役員が配置された場合、実際には656万円となるため、役員報酬規程第3条の役員報酬総額を660万円以内に変更したいと述べた。

議案第3号について、賛成方への挙手を求め、全会一致で承認された。

滞りなく会を進行した議長と副議長が降壇し、閉会の辞を外間惟夫副会長が述べ、予定よりも早い閉会となった。

(報告：沖縄県薬剤師会事務局 大城 喜仁)

第77回臨時総会資料

＜報告第1号 平成30年度事業計画の件＞

平成30年度沖縄県薬剤師会事業計画

～はじめに～

昨年6月に示された「経済財政運営と改革の基本方針2017」では、調剤報酬の見直しの方向性として、対物業務を正当化する一方、対人業務を重視している。患者本位の医薬分業に向けて、薬剤師・薬局が実際に果たしている機能が評価されると共に、かかりつけ薬剤師には、地域において多職種と連携し、服薬情報の一元的・継続的把握等が求められ、その機能を推進していくことが示された。

本年4月の診療報酬・調剤報酬改定の方向性も、患者本位の医薬分業の実現に向けて、薬剤師・薬局が実際に果たしている機能を反映したものととなると想定される。

その中で「健康サポート薬局」は、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供を目的とした「地域包括ケアシステム」の構築に貢献するという重要な役割を担っている。地域の身近な薬局として、かかりつけ機能を発揮し、健康相談、医薬品の供給などを行うセルフメディケーションの推進の役割も果たしていく。

昨年は、偽造医薬品の流通や調剤報酬の付け替え請求等の薬局・薬剤師の関わる不祥事が相次ぎ、薬剤師に対する国民の信頼を損なう結果となった。我々薬剤師は、「薬剤師行動規範」に基づき、社会の要請に応え、薬の専門職として社会から信頼される医療の担い手としての役割を果たして行きたい。

また、薬学部創設を求める活動については、西普天間返還跡地の国際医療拠点構想が示された時点から、琉球大学へ薬学部創設を求めてきた。沖縄県内だけでなく日米、アジアを含め世界でも活躍できる医療の担い手としての質の高い薬剤師を養成しつつ、地域医療の水準を向上させるためにも、本会は琉球大学を最優先とした沖縄県内の国公立大学に薬学部(科)の創設を要望していく。県民向けに実施した署名活動の成果を国・県行政・大学当局に県民の要望としてしっかり伝える。目的の実現のためにあらゆる方法を用いて取り組んでいく。

これらの課題に対応するとともに、組織強化を図り、地域住民・地域社会の健康の維持・増進に寄与することを目的に、以下の事業を行う。

1. 患者本位の医薬分業の実現に向けて

平成27年10月に厚生労働省より患者本位の医薬分業の実現に向けて、「患者のための薬局ビジョン」が示された。沖縄県における医薬分業率も、平成28年度には76.6%（全国平均71.7%）に至っている。全ての薬剤師・薬局は医薬分業のあり方が問われている。「患者のための薬局ビジョン」に示された、かかりつけ薬剤師・薬局として、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、そして24時間対応、在宅対応、医療機関等との連携などの業務内容を質的に充実させることが重要である。

一方、「健康サポート薬局」はかかりつけ薬剤師・薬局としての機能に加えて、医薬品等の安全・適正使用に関する助言と健康の維持・増進に関する相談を受けつけ、かかりつけ医等の専門職種や関係機関と連携して地域住民の健康サポートを実施するとともに、地域への情報発信等に取り

組むことも求められている。

以上を踏まえ、他職種・他機関と連携して地域包括ケアシステムの一翼を担い、患者・住民から真に評価される医薬分業の実現に向け、以下の事業を行う。

(1) 服薬情報の一元的・継続的把握

副作用や効果の継続的な確認のために、日本薬剤師会主導のDEM事業を行う。

患者がかかるすべての医療機関の処方情報を把握し、重複投薬や相互作用を防ぐために、ICT(電子版お薬手帳等)を活用できるように支援する。

一般用医薬品や高度管理医療機器等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導が行えるように支援する。

(2) 在宅医療支援薬局の普及

在宅医療を担う薬剤師の養成・支援を目的として、在宅医療支援薬局の啓発活動、アンケートによる在宅医療の実態調査、在宅医療推進のための医療材料に関する研修会、無菌調製の実践講座、無菌調剤室共同利用施設(会営薬局うえはら)の利用を推進する。これらの活動を行ない、薬剤師の職能と薬局機能の拡充、新しい在宅医療支援制度を構築することで地域医療に貢献することができると考える。

(3) 24時間・夜間・休日等の対応

夜間・休日、開局時間以外でも調剤に対応できるように、地区薬剤師会(FAXコーナー担当者)と連携をとり、夜間・休日等における医薬品等の供給を行う体制を推進する。不働在庫・備蓄ネットワークにより医薬品提供施設としての役割を支援する。

(4) 医療機関との連携

地域包括ケアシステムを踏まえた地域の関係職の連携の構築が必須の課題である。入院から地域に円滑に移行するには、病院・診療所の薬剤師と地域の薬局薬剤師の連携強化のために、医薬分業対策会議等を開催し充実させていく。

(5) 「かかりつけ薬剤師・薬局」、「健康サポート薬局」の実現ならびに周知

「かかりつけ薬剤師・薬局」の早期実現を目指して、他職種、関連機関との連携協議体等の場を活用したモデル事業(患者のための薬局ビジョン推進事業)に取り組む。県内の薬局が健康サポート薬局になるための取組を行う。

また、「薬と健康の週間」等を始め、あらゆる事業を通し、かかりつけ薬局・薬剤師、さらに健康サポート薬局について県民への周知、啓発をしていく。

2. 医療安全対策への取り組み

医療の担い手である薬剤師の職能拡大と同時に、その責任も重くなっている。加えて、国民の権利意識の高まりに伴い、薬剤師に関する医療過誤訴訟の増加が予想される。

また、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避あるいは軽減した事例を報告するとともに収集し、共有することで患者の薬物療法の安全性の向上に資することが出来る。

昨今の現状を見るにつけ、開局・病診薬局において、資質向上のために情報の報告・収集や業務手順書等を用いた内部チェック体制整備などの医療安全体制の構築に努めていく必要がある。下記を確認、順守し、取り組んでいく。

- (1) 薬局における医療安全管理指針、業務手順書の定期的な見直し（薬局並びに店舗販売業及び配置販売業の業務を行う体制を定める省令「体制省令」による）
- (2) 薬局における安全管理のための職員研修の支援
- (3) 薬局管理者へのヒヤリ・ハット報告の徹底
- (4) 医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）の登録・報告の促進
- (5) その他

3. 生涯学習

生涯学習については、今後も各種研修会、講演会など積極的に開催していく。そして、その学習成果の確認として各種認定制度があり、JPALSのCLレベル6となる「薬剤師生涯学習達成度確認試験」、日本薬剤師研修センターなどの認定の取得等、何れの制度においても積極的に取得することが望ましい。さらに、保険調剤薬局分野における薬剤師のエビデンス構築に向けて、様々な調査研究成果の学術大会での発表や論文など、業績として残していくよう推進していく。そのための研修会等の企画・実施、学術大会の開催、学会発表や論文作成の支援、倫理審査の体制整備など生涯学習全般を推進するための支援体制の充実を図るべく、以下の事項を推進する。

- (1) 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の登録及び利用促進
- (2) 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の認定薬剤師取得の支援
- (3) 沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- (4) 九州山口薬学大会、日本薬剤師会学術大会への参加・発表促進
- (5) 地域薬剤師会生涯研修の計画及び実施の支援
- (6) 病院薬剤師会との共催による学術講演会の開催
- (7) 他団体の実施する研修会・講演会への積極的参加の促進
- (8) 新任・新人薬剤師研修会の実施
- (9) 倫理審査に関する体制整備と支援
- (10) 会員から望まれている新しい生涯学習の企画、開催

4. 関連事業

- (1) 「健康とおくすり相談会」の実施
- (2) 「薬と健康の週間」事業（10月17日～10月23日）
- (3) 各種関連協議会への参加協力
- (4) 関連機関団体との協議及び懇談
- (5) 関係行政当局との定期的連絡協議
- (6) 日本薬剤師会各種保険への加入促進
（薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険・休業補償保険）
- (7) 県薬会報の発行
- (8) 薬剤師求人求職斡旋事業、薬剤師確保対策事業
- (9) 財政基盤の強化
- (10) 麻薬覚せい剤及び薬物乱用防止対策行事への参加協力

- (11) 公的介護保険制度への積極的参加
- (12) 「健康おきなわ21」の企画実践

5. 委員会・部会

(1) 学術研修委員会

- ① 沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- ② 新任・新人薬剤師研修会の開催
- ③ 九州山口薬学大会、日本薬剤師会学術大会への参加・派遣・発表促進
- ④ 「JPALS」の登録及び利用促進
- ⑤ 薬剤師生涯学習の支援
- ⑥ 生涯教育担当者連絡会議等への参加
- ⑦ その他研修会・講演会の共催及び支援

(2) 医薬分業対策委員会

- ① 医薬分業対策会議の開催（薬薬連携及び医療従事者間の連携事業推進）
- ② FAXコーナー担当者連絡会議の開催
- ③ 委員会主催研修会、講演会の開催
- ④ 患者のための薬局ビジョン推進事業（かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局等の推進）
- ⑤ 一般用医薬品の配置促進に関する方策
- ⑥ 不動産在庫・備蓄ネットワークシステムの推進
- ⑦ お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動
- ⑧ おきなわ津梁ネットワークの推進
- ⑨ DEM事業に関すること
- ⑩ 高度管理医療機器継続研修会の開催
- ⑪ その他

(3) 医療保険委員会

- ① 調剤報酬改定等説明会の開催
- ② 適正な調剤報酬請求業務についての研修会の開催
- ③ 共同指導・個別指導における指摘事項の研修会
- ④ 充実した薬歴簿作成についての研修会
- ⑤ 会報への「調剤報酬請求業Q&A」の継続掲載
- ⑥ その他

(4) 医療安全対策委員会

- ① 調剤業務・医薬品販売業務に関する過誤対策及び支援（継続）
- ② 薬局・薬店における「ヒヤリ・ハット」事例の収集と解析の推進
- ③ 医療安全講習会の開催
- ④ その他

(5) 在宅医療委員会

- ① 在宅医療支援薬局の拡充と啓発活動
- ② アンケートによる在宅医療の実態調査
- ③ 重症心身障がい児・緩和ケア・医療材料に関する研修会の開催
- ④ 無菌調製の実践講座の開催
- ⑤ 無菌調剤共同利用施設（会営薬局うえはら）の利用推進
- ⑥ その他

(6) 地域保健委員会

- ① 健康とおくすり相談会等の薬剤師の予防医療に関わる事業
- ② 地域包括ケアシステムにおける薬局薬剤師の役割に関する事業
- ③ 自殺対策に関する事業
- ④ 禁煙支援事業
- ⑤ 病院薬剤師会、県薬他委員会・部会との連携事業

(7) 広報委員会

- ① おきなわ薬剤師会報の年6回隔月発行・会報掲載用取材
- ② 薬剤師職能のPR（県民への啓発・薬学生との懇談）
- ③ ホームページの効果的活用のための支援
- ④ 薬学部創設に向けての広報活動
- ⑤ マスコミへのタイムリーな情報提供
- ⑥ くすりと健康フェア（薬と健康の週間）PR活動
- ⑦ その他、広報に関すること（Facebook運営など）

(8) 薬学生実務実習受入委員会

- ① 認定実務実習指導薬剤師養成事業
 - 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへの参加派遣
 - 本島及び先島においての認定実務実習指導薬剤師養成講習会（新規・更新）開催
 - 指導薬剤師のスキルアップ研修会の開催
- ② 薬学生受入事業
 - 実務実習指導薬剤師の適正配置と実習生のマッチング（平成31年度のプレマッチング含む）
 - 実務実習受入薬局のサポート体制の充実
 - 早期体験実習の受入
 - 新コアカリキュラムに基づく全薬局でのトライアル実習
- ③ 地区薬剤師会・他協力施設との連携

(9) 災害対策委員会

- ① 県の防災計画・訓練等への積極的な参画
- ② 沖縄県薬剤師会BCP（事業継続計画）の訓練
- ③ 災害時の救援活動等への医薬品・支援用品の準備
- ④ 災害拠点薬局・事前登録支援薬剤師の募集・訓練

- ⑤ 災害時における公衆衛生対策方法の周知
- ⑥ 救命活動に関する事業
新ガイドラインに基づいたBLS（一次救命救急）訓練、講習会の開催
- ⑦ 新型インフルエンザへの対応
- ⑧ その他

(10) 財務委員会

- ① 一般会計、収益事業部の予算・決算に関すること
- ② 本会職員の賃金、退職金に関すること
- ③ 会費徴収に関すること
- ④ 公益法人移行への検討について
- ⑤ 収益事業部の運営・経済面での監督、指導
- ⑥ その他

(11) 会営薬局移転検討特別委員会

- ① 豊見城中央病院・琉球大学医学部附属病院移転に伴い、会営薬局とよみ・うえはらの移転について検討していく
- ② その他

(12) 会営薬局委員会

- ① 調剤報酬改定等に対応した運営に関すること
- ② 会営薬局であることを意識した運営に関すること
- ③ 会営薬局の労務環境に関すること
- ④ その他

(13) 組織強化委員会

- ① 行政薬剤師の入会促進
- ② 病院薬剤師の入会促進
- ③ 未加入薬剤師の入会促進
- ④ その他

(14) 学校薬剤師部会

- ① 学校薬剤師としての資質の向上のための講習会・研修会の実施
- ② 「全国学校保健調査」の実施ならびにデータ解析
- ③ 学校への学校環境衛生検査未実施項目の実施への働きかけ
- ④ 組織強化、試験検査センターへの検査委託の推進
- ⑤ 関係団体への協力と連携の推進
- ⑥ 学習指導要領に基づいた“くすり教育”の充実
- ⑦ 学校薬剤師職能のPR（部会外での研修会における職能紹介等）
- ⑧ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑨ 幼保連携こども園への薬剤師の配置

- ⑩ 県薬ホームページ“学薬の頁”の充実と県薬会報“学薬だより”への投稿
- ⑪ 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会40周年記念誌の発行

(15) 病院診療所薬剤師部会

- ① 組織と役員会の強化拡大
- ② 学術・教育研修活動の推進
- ③ 認定・専門薬剤師育成
- ④ 薬薬連携の強化・拡大
- ⑤ 学会・学術大会に対する協力
- ⑥ 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- ⑦ 実務実習の充実と新規事業への取り組み
- ⑧ その他

(16) 女性薬剤師部会

- ① 日本女性薬剤師会「平成30年度薬剤師継続学習通信教育講座」の幹旋とスクーリングの実施
- ② 漢方講座の定期的継続開催
- ③ 沖縄の薬草への知識を深める活動（会報誌連載、ミニ薬草園の充実）
- ④ 乳幼児健診参加への取り組み、「妊娠・授乳と薬」の研修会開催等）
- ⑤ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑥ その他

(17) 青年薬剤師部会

- ① 青年部組織強化（各地区での情報交換会）
- ② 研修会・勉強会の開催
- ③ 他県薬青年部との交流（九州各県との交流）
- ④ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑤ 薬剤師職能に関する啓発活動（グッジョブ事業など）
- ⑥ 薬学生とU・Iターンに関する相談（薬剤師無料職業紹介所との協働）
- ⑦ 日本薬剤師会学生会員への入会促進
- ⑧ その他（施設見学など）

(18) 卸勤務薬剤師部会

- ① 学術大会、研修会、フォーラム等への派遣
- ② 薬学生実務実習生の受け入れ協力
- ③ 平成30年度の継続研修テーマに則った研修の実施
- ④ その他（おきなわ薬剤師会報への投稿等）

(19) 行政薬剤師部会

- ① 組織の強化拡大
- ② 全国又は地方学会等への参加
- ③ 沖縄県薬剤師会への入会取組強化
- ④ その他

薬事情報センター事業計画

(1) 薬剤師会関連機関及び医師会等他機関との機能連携業務

- 全都道府県薬事情報センターの協同事業：DⅡ図書館、情報バンク、「文献データベース Bunsaku」（担当雑誌：新薬と臨床、総合診療、臨床薬理、おきなわ県薬会報、産科と婦人科）等の事業の運用に協力。
- 沖縄県医師会医療事故調査委員会としての活動

(2) 医薬品情報の管理業務

- 医薬関連書籍の整備・管理
- 関係各機関からの医薬品情報の収集・整理・評価・文書管理
- 医薬品情報データベース等の充実等
- 便利なリンク集（平成29年度事業）の管理（文献DB、適応外使用情報、質疑応答、ドーピング使用可能薬リスト等）

(3) 会員への情報提供業務

- 電話による質疑応答業務
- 会報（薬事情報おきなわ）の発行
- 会員向けメール配信
- 医療事故インシデント・アクシデント事例収集
- 緊急安全性情報

(4) 一般への情報提供業務

- 一般県民に対するお薬相談業務「おくすり相談室」
- ホームページ及び会報
- 小児救急でんわ相談「＃8000」のデータ管理
- 薬剤師会フェイスブック

(5) ドーピング防止活動

- 薬剤師会ドーピング防止ホットライン業務
- 沖縄県体育協会スポーツ医・科学委員会への協力

(6) 地域公衆衛生活動の推進

- 禁煙指導活動の支援
- 薬物乱用防止活動の支援

(7) その他

- 会営薬局の支援

試験検査センター事業計画

試験検査センターは県内唯一の医薬品検査登録機関であり、広く利用いただけるよう下記の事業に取り組む。

(1) 平成30年度計画的試験

- 委員会で選定された計画的試験の品目についての試験及び成績書発送
- 期間は、平成30年12月から平成31年3月頃まで

(2) 学校関係の水質及び空気検査委託業務・「学校環境衛生基準」に則った環境検査

- 飲料水及びプール水の水質検査
- 教室等の空気環境検査「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」
- 教室等の空気環境検査「ダニ又はダニアレルゲン」
- 期間は、平成30年5月から平成31年2月頃まで

(3) 試験検査センター委員会の開催

- 試験検査センターの運営、機器購入、計画的試験品目の選定など

(4) 会員並びに調剤薬局等から医薬品等の分析依頼に対応する

(5) 試験検査センター業務に関連する医薬品医療機器等法（旧薬事法）上の事項に対する問い合わせへの対応

(6) 学校薬剤師業務に対する支援

(7) 在宅医療支援薬局や学校薬剤師業務などを支援する新たな取り組みを検討する

第77回臨時総会資料

＜報告第2号 平成30年度歳入歳出予算について＞

平成30年度 収支予算

(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
【 経 常 収 益 】				
基 本 財 産 運 用 益	0	0	0	0
基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0
特 定 資 産 運 用 益	100	1,000	600	1,700
特 定 資 産 受 取 利 息	100	1,000	600	1,700
受 取 入 会 金	0	0	770,000	770,000
受 取 入 会 金	0	0	770,000	770,000
受 取 会 費	0	6,000,000	94,290,000	100,290,000
正 会 員 受 取 会 費	0	0	51,000,000	51,000,000
賛 助 会 員 受 会 費	0	0	850,000	850,000
賛助会員受会費 (応能会費)	0	6,000,000	42,000,000	48,000,000
特 別 会 員 会 費	0	0	440,000	440,000
事 業 収 益	81,335,000	1,601,296,000	0	1,682,631,000
出 版 物 事 業 収 益	2,175,000	2,525,000	0	4,700,000
広 告 料 事 業 収 益	430,000	0	0	430,000
そ の 他 事 業 収 益	4,991,000	823,000	0	5,814,000
調 剤 報 酬 収 入	28,546,000	1,405,480,000	0	1,434,026,000
一 部 負 担 金 収 入	8,537,000	169,440,000	0	177,977,000
小 分 治 療 剤 収 入	15,650,000	△ 2,500,000	0	13,150,000
保 険 外	880,000	18,720,000	0	19,600,000
受 取 手 数 料	236,000	6,808,000	0	7,044,000
保 険 等 調 整 増 減	0	0	0	0
新 規 契 約 賦 課 金	100,000	0	0	100,000
利 用 契 約 金	2,900,000	0	0	2,900,000
医 薬 品 検 査 手 数 料	240,000	0	0	240,000
水 質 検 査 手 数 料	11,620,000	0	0	11,620,000
空 気 検 査 手 数 料	5,030,000	0	0	5,030,000
保 険 受 託 収 入	0	0	0	0
受 取 補 助 金	6,299,405	0	0	6,299,405
受取地方公共団体補助金	5,000,000	0	0	5,000,000
受取補助金等振替額	1,299,405	0	0	1,299,405
受 取 寄 付 金	0	0	320,588	320,588
受 取 寄 付 金	0	0	1,000	1,000
募 金 収 入	0	0	0	0
寄 付 金 等 振 替 額	0	0	319,588	319,588
雑 収 入	650,200	221,626	2,561,000	3,432,826
受 取 利 息	200	1,626	1,000	2,826
受 取 賃 借 料	0	0	0	0
収 益	30,000	170,000	30,000	230,000
事 務 受 託 収 益	620,000	50,000	2,530,000	3,200,000
経 常 収 益 計	88,284,705	1,607,518,626	97,942,188	1,793,745,519

科 目					実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
					小 計	小 計		
【 経 常 費 用 】								0
事業費					160,533,649	1,580,820,071	0	1,741,353,720
期首棚卸高					4,300,000	70,413,623	0	74,713,623
仕入高					22,450,000	1,374,056,000	0	1,396,506,000
期末棚卸高					△ 4,300,000	△ 70,413,623	0	△ 74,713,623
役員報酬					3,733,360	1,311,240	0	5,044,600
給与当					37,953,000	60,717,000	0	98,670,000
雑給与					18,358,000	54,322,000	0	72,680,000
賞与					2,580,000	11,800,000	0	14,380,000
退職給付費用					1,312,220	1,516,200	0	2,828,420
法定福利費					6,280,000	16,996,000	0	23,276,000
福利厚生費					258,250	859,250	0	1,117,500
会議費					3,636,000	194,000	0	3,830,000
旅費交通費					11,997,500	5,997,500	0	17,995,000
通信運搬費					2,518,226	2,906,774	0	5,425,000
減価償却費					13,500,440	553,560	0	14,054,000
消耗品費					4,110,000	4,460,000	0	8,570,000
修繕費					600,000	460,000	0	1,060,000
研修費					20,000	100,000	0	120,000
出版物印刷費					4,790,000	2,310,000	0	7,100,000
会報発行費					0	0	0	0
地代家賃					1,080,000	20,990,000	0	22,070,000
光熱水料					2,139,400	4,138,600	0	6,278,000
賃借料					1,140,000	1,240,000	0	2,380,000
広報費					3,200,000	△ 200,000	0	3,000,000
保険料					353,803	736,197	0	1,090,000
諸謝金					550,000	50,000	0	600,000
租税公課					2,953,600	526,400	0	3,480,000
支払負担金					1,200,000	0	0	1,200,000
支払補助金					4,800,000	1,200,000	0	6,000,000
支払附金					150,000	0	0	150,000
委託費					0	0	0	0
外注費					2,000,000	0	0	2,000,000
支払手数料					1,284,600	7,823,400	0	9,108,000
交際費					120,000	85,000	0	205,000
管理諸費					0	0	0	0
管理維持費					2,635,500	4,124,500	0	6,760,000
新聞図書費					820,000	305,000	0	1,125,000
新貸倒引当金繰入額					0	0	0	0
雑費					0	0	0	0
支払利息					1,809,750	241,450	0	2,051,200
商品廃棄損失					200,000	1,000,000	0	1,200,000
雑損					0	0	0	0
法人会計（管理費）					0	0	37,458,000	37,458,000
役員報酬							2,000,000	2,000,000
給与当							7,350,000	7,350,000
雑給与							0	0
賞与							0	0
退職給付費用							398,000	398,000
法定福利費							1,440,000	1,440,000
福利厚生費							70,000	70,000

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小 計		
表 彰 費 費			0	0
会 議 費 費			1,000,000	1,000,000
旅 交 通 費 費			3,500,000	3,500,000
通 信 運 搬 費 費			690,000	690,000
減 価 償 却 費 費			1,000,000	1,000,000
消 耗 品 費 費			500,000	500,000
修 繕 費 費			500,000	500,000
出 版 物 印 刷 費 費			0	0
会 報 発 行 費 費			0	0
地 代 家 賃 費 費			0	0
光 熱 水 料 費 費			220,000	220,000
賃 借 報 料 費 費			330,000	330,000
広 報 料 費 費			0	0
保 険 料 費 費			120,000	120,000
諸 租 税 公 課 金 課 金			200,000	200,000
支 払 負 担 金 課 金			440,000	440,000
支 払 補 助 金 課 金			14,700,000	14,700,000
支 払 手 数 料 費 費			0	0
支 払 手 数 料 費 費			1,200,000	1,200,000
交 理 際 持 費 費			900,000	900,000
管 理 維 持 費 費			600,000	600,000
雑 支 払 利 息 費 費			0	0
支 払 利 息 費 費			300,000	300,000
経 常 費 用 計	160,533,649	1,580,820,071	37,458,000	1,778,811,720
評 価 損 益 等 調 整 前 額	△ 72,248,944	26,698,555	60,484,188	14,933,799
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 72,248,944	26,698,555	60,484,188	14,933,799
2. 経常外増減の部	0	0		0
(1) 経常外収益	0	0		0
経 常 外 収 益 計	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
固 定 資 産 除 却 損	0	0	0	0
什 器 備 品 除 却 損	0	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	△ 1,101,677	1,101,677	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 72,248,944	25,596,878	61,585,865	14,933,799
法 人 税 等	237,000	6,027,000	0	6,264,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 72,485,944	19,569,878	61,585,865	8,669,799
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	△ 51,949,635	347,222,434	421,453,462	716,726,261
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 124,435,579	366,792,312	484,141,004	726,497,737
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0		0
受 取 補 助 金 等	0	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 1,299,405	0	△ 319,588	△ 1,618,993
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 1,299,405	0	△ 319,588	△ 1,618,993
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,299,405	0	△ 319,588	△ 1,618,993
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	3,172,331	23,782,305	26,954,636
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 1,299,405	3,172,331	23,462,717	25,335,643
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 125,734,984	369,964,643	507,603,721	751,833,380

第77回臨時総会資料

＜議案 第1号 正会員種別追加に伴う会員規程・会費規程の変更について＞

目的：行政薬剤師の会費を減額することで、行政薬剤師の加入促進をはかる。

変 更 前	変 更 後
第8条 定款第5条に定める正会員の種別は、次のとおりとする。 (1) 正会員A 薬局等の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者 (2) 正会員B 正会員A以外の者	第8条 定款第5条に定める正会員の種別は、次のとおりとする。 (1) 正会員A 薬局等の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者 (2) 正会員B 正会員AおよびC以外の者 (3) 正会員C 勤務先業態が行政薬剤師の者

＜議案第2号 平成30年度会費額に関する件＞

平成30年度会費額は、次の基準により徴収する。

1. 正会員

(1) ＜入会金＞ 10,000円

(2) ＜会 費＞

正会員A 年額 54,000円（県薬会費36,000円 ＋ 日薬会費18,000円）

正会員B 年額 39,400円（県薬会費32,400円 ＋ 日薬会費 7,000円）

正会員C 年額 12,000円（県薬会費 5,000円 ＋ 日薬会費 7,000円）

※新規入会者に対して、上記会費内訳に示す日薬会費は、次のとおりとする。

正会員A →（9月までに入会 18,000円）（10月以降に入会 9,000円）

正会員B・C →（ 〃 7,000円）（ 〃 3,500円）

(3) ＜納付方法および早期納入割引＞

※ 会費納入は原則一括納入とする。

※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。

※ 一括納入支払期限は平成30年7月末日とする。

※ 平成30年7月末日までに一括納入の場合、早期納入割引として

正会員A 3,000円、正会員B 2,700円を還付する。

参考（会員規程より）

正会員Aとは、薬局の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者

正会員Bとは、正会員AおよびC以外の者

正会員Cとは、勤務先業態が行政薬剤師の者

※上記赤字部分は、今総会では削除（議題1で説明がある為）。次回より記載を戻すこと。

2. 賛助会員

(1) <会 費>

賛助会員A 年額 15,000円

賛助会員B 処方せん受付回数1回あたり8円（上限48万円）

(2) <賛助会員B会費の納付>（会費規程より）

第7条 賛助会員Bは、薬剤師職能の向上に係る事業の経費として賛助会員B会費を毎月納付しなければならない。

2 前項の賛助会員B会費の額は、1箇月の処方せん受付回数に別表3に掲げる額を乗じて得た額（100円未満の端数は切り捨て）とする。

3 前項の処方せん受付回数は、前年1月から12月までの総処方せん受付回数とし、これを12等分した額を当年度4月から翌年3月にかけて支払うこととする。但し、上限を48万円とする。

4 年度途中の入会等、過去の実績の無い賛助会員Bは、入会後の処方せん受付見込み回数により、1箇月の平均回数を算出するものとし、その方法は理事会で定める。

5 賛助会員B会費の納付は、原則として会員の銀行等の口座からの口座振替によるものとする。

参考（会員規程より）

第9条 定款第5条に定める賛助会員の種別は、次のとおりとする。なお、この中で、(1)から(3)及び(5)に該当する者を賛助会員A、(4)に該当する者を賛助会員Bとする。

(1) 薬局経営者

(2) 薬剤師以外の薬品の製造業及び卸業者等の関係者

(3) 医薬品販売に従事する者

(4) 薬局

(5) その他希望する個人及び団体

2 正会員Aが在籍する薬局は、賛助会員Bとして入会するものとする。

3. 特別会員

(1) <会 費>

特別会員A 年額 10,000円

特別会員B 年額 17,000円

特別会員C 年額 0円

(2) <納付方法>

※ 会費納入は原則一括納入とする。

※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。

※ 一括納入支払期限は平成30年7月末日とする。

参考（会員規程より）

特別会員Aとは、年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者（資格：県薬会員のみのみ）

特別会員Bとは、年齢が満75才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者

特別会員Cとは、正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそれに
関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため入会を希望する者

変 更 前				
年会費				
種 別		金 額	備 考	摘 要
正会員	A 会員	54,000円	内 日薬会費 18,000円	
	B 会員	39,400円	内 日薬会費 7,000円	
賛助会員A		15,000円		
特別 会員	特別会員A	10,000円		県薬会員資格 のみ有する
	特別会員B	17,000円	内 日薬会費 7,000円	
	特別会員C	0円	(会報発送なし)	研修会等の案内



変 更 後				
年会費				
種 別		金 額	備 考	摘 要
正会員	A 会員	54,000円	内 日薬会費 18,000円	
	B 会員	39,400円	内 日薬会費 7,000円	
	<u>C 会員</u>	<u>12,000円</u>	<u>内 日薬会費 7,000円</u>	
賛助会員A		15,000円		
特別 会員	特別会員A	10,000円		県薬会員資格 のみ有する
	特別会員B	17,000円	内 日薬会費 7,000円	
	特別会員C	0円	(会報発送なし)	研修会等の案内

<議案第3号 役員報酬規程の変更について>

平成28年3月27日の臨時総会において会長の役員報酬係数を変更した際に、全役員の報酬年額を600万円以内としていたが、全役職が配置された場合は656万円となるため、以下のとおりに変更したい。

一般社団法人沖縄県薬剤師会役員報酬規程

変 更 前	変 更 後
(総額) 第3条 役員の報酬等の総額は、年額金600万円以内とする。	(総額) 第3条 役員の報酬等の総額は、年額金 <u>660</u> 万円以内とする

[第77回臨時総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| ○亀谷 浩昌 (会長) | ○江夏 京子 (副会長) | ○前濱 朋子 (副会長) |
| ○外間 惟夫 (副会長) | ○山里 勇 (常務理事) | ○川満 直紀 (常務理事) |
| ○村田美智子 (常務理事) | ○笠原 大吾 (常務理事) | ○西川 裕 (常務理事) |
| ○佐藤 雅美 (中部地区代表) | ○渡具知一枝 (那覇地区代表) | ○新垣 秀幸 (南部地区代表) |
| ○下地 仁 (宮古地区代表) | ○幸地 良信 (八重山地区代表) | ○我喜屋美香 (実務実習担当) |
| ○荒井 千春 (在宅医療担当) | ○吉富 弓江 (医療安全担当) | ○吉田 洋史 (災害対策担当) |
| ○上原 卓朗 (青年部会) | ○友利 弘一 (監事) | ○神谷 朝雄 (監事) |

<代 議 員>

☆：議長、◎副議長

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| ○玉城 純 (名護支部) | ○吉村 瑞枝 (首里支部) | ○日高久美子 (浦添支部) |
| ○屋嘉比康作 (名護支部) | ○上原 幸代 (那覇東支部) | ◎名嘉 紀勝 (糸満支部) |
| ○川平 浩子 (うるま支部) | ○入月 健 (那覇東支部) | ○松本 圭五 (糸満支部) |
| ○福地 健治 (うるま支部) | ○真崎しのぶ (那覇東支部) | ○高良 武和 (糸満支部) |
| ○阿嘉 貫哲 (沖縄支部) | ○上江洲美由紀 (那覇東支部) | ○伊敷松太郎 (糸満支部) |
| ○玉城 武範 (沖縄支部) | ○吉田 英樹 (那覇東支部) | ○上原 陽子 (南風原支部) |
| ○普久原 隆 (沖縄支部) | ○平良 博文 (那覇北支部) | ○川上雄一郎 (南風原支部) |
| ○諸見里めぐみ (沖縄支部) | ○宮本 直樹 (那覇北支部) | ○川上 善久 (南風原支部) |
| ○長濱 照美 (沖縄支部) | ○座安 雄一 (那覇中央支部) | ○知念 大輔 (南風原支部) |
| ○比嘉 清久 (沖縄支部) | ○服部 大 (那覇中央支部) | ○楠見 康夫 (南風原支部) |
| ○村田 成夫 (嘉手納支部) | ○吉田 和子 (那覇中央支部) | ○城間 盛伸 (南風原支部) |
| ☆新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ○國吉 直子 (小禄支部) | ○古謝 真己 (平良支部) |
| ○新川 祥平 (宜野湾支部) | ○大城 博次 (浦添支部) | ○荒谷 敏巳 (石垣支部) |
| ○仲座 方利 (宜野湾支部) | ○武富 弘記 (浦添支部) | |
| ○大塚成一郎 (首里支部) | ○西田 久 (浦添支部) | |

〔第77回臨時総会スナッフ写真〕



司会
西川 裕 常務理事



開会の辞
江夏 京子 副会長



議長を務めた新垣 慶朗代議員、副議長を務めた名嘉 紀勝代議員



会長あいさつ
亀谷 浩昌 会長



報告第1号
前濱 朋子 副会長



報告第1号・議案第1・2・3号
山里 勇 常務理事



閉会の辞
外間 惟夫 副会長



役員席側



代議員席側

医薬分業

平成29年度健康サポート薬局 県内100軒実現に向けての研修会を終えて

平成28年度より始まった“健康サポート薬局”制度ですが、沖縄県内においてはなかなか届け出件数が増えていないこともあり、県薬剤師会としてこの推進事業を実施することになりました。“健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会”と銘打って平成29年度は取り急ぎ、3回の講習会・講演会を企画いたしました。

内容は、以下のようなものでした。

参加者は皆高い関心を持たれていたと思います。また、いずれの回においても、参加者には大変役に立つ、明日からすぐに使える知識やデータが詰まっていた研修会・講習会であったと思います。しかし、すべての薬剤師が関心を高く持っているわけではなく、アンケート（後述）からすぐには届け出はしない現実があることが明らかになっております。

よって、平成30年度も届け出の障壁となっていることをできる限り取り除くような情報を提供できる研修会・講習会を実施していくつもりでおります。

医薬分業対策委員会
笠原 大吾



平成30年からの沖縄県第7次医療計画に、県内薬剤師不足の解消に向けた大学薬学部等設置と共に、健康サポート薬局県内100軒実現の目標が施策の一つとして盛り込まれました。名実共に、県内の調剤薬局は、かかりつけ機能を有することはもちろんのこと、地域包括ケアシステムの中で役割を果たせるような“健康サポート薬局”に一つでも多くなっていくことが求められております。現在、県内3軒の健康サポート薬局ですが、これを早急に増やしていきたいと思っておりますので、ご意見・ご希望がありましたら県薬剤師会までご連絡ください。

＜第1回＞ 「届け出・申請について」 平成29年12月7日（木）19:30～21:00

講師：大城由希子（沖縄県保健医療部衛生薬務課） 参加者58名

：西川 裕（そうごう薬局 新赤十字前店）

：平良 恭子（薬局えば一わーな～）

＜第2回＞ 「薬局でのOTCの取り扱いについて」 平成30年2月3日（土）19:30～21:00

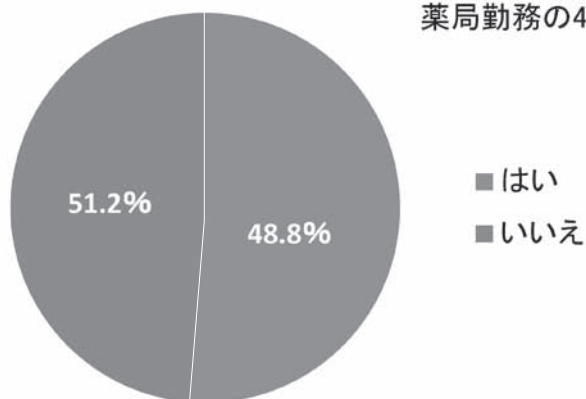
講師：盛本 直也（医薬分業対策委員会 副委員長） 参加者40名

＜第3回＞ 「薬局の質を向上する取組について」 平成30年2月25日（日）13:00～16:00

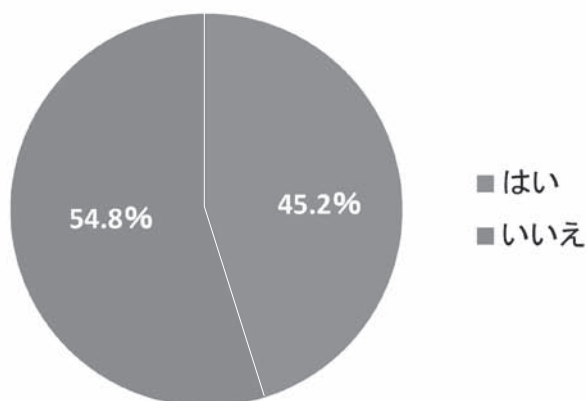
講師：宮原富士子（K薬局（浅草）、HAP理事） 参加者32名

<第1回研修会アンケート結果>

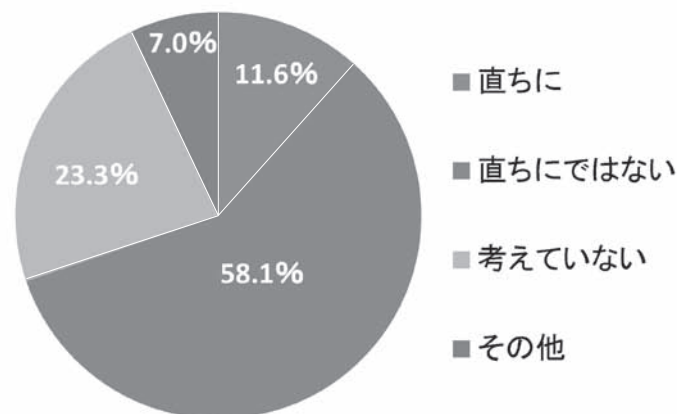
勤務している薬局はかかりつけ薬局としての機能を発揮していますか？



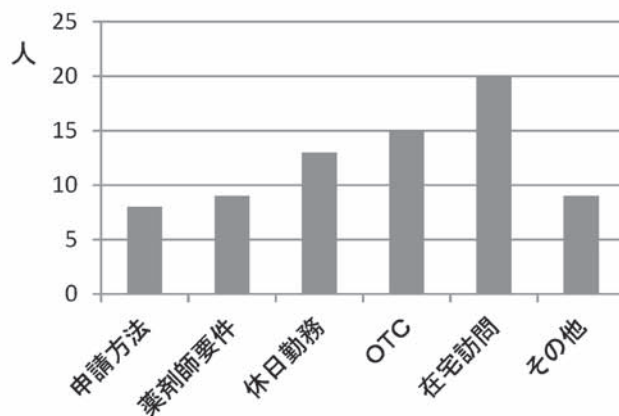
現時点で、かかりつけ薬剤師としての要件は満たしていますか？



勤務している薬局は、健康サポート薬局の届け出は考えていますか？

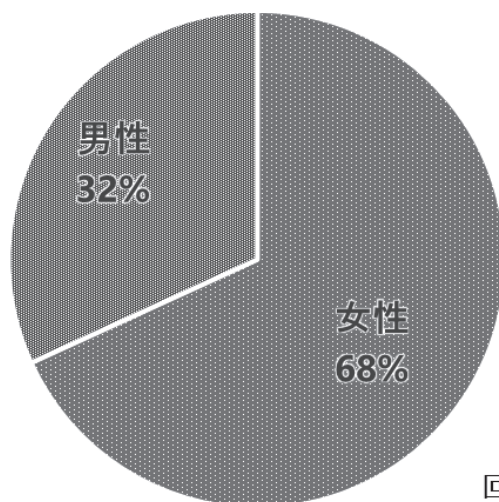


健康サポート薬局の届け出について、障壁となっているものがありますか？（複数回答可）



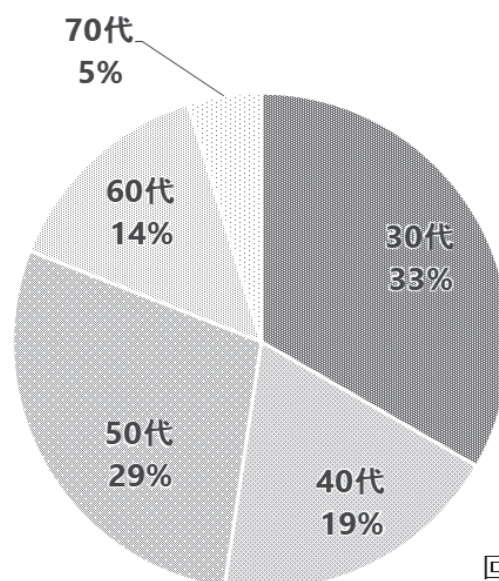
＜第3回研修会アンケート結果＞（宮原富士子講師集計）

性別



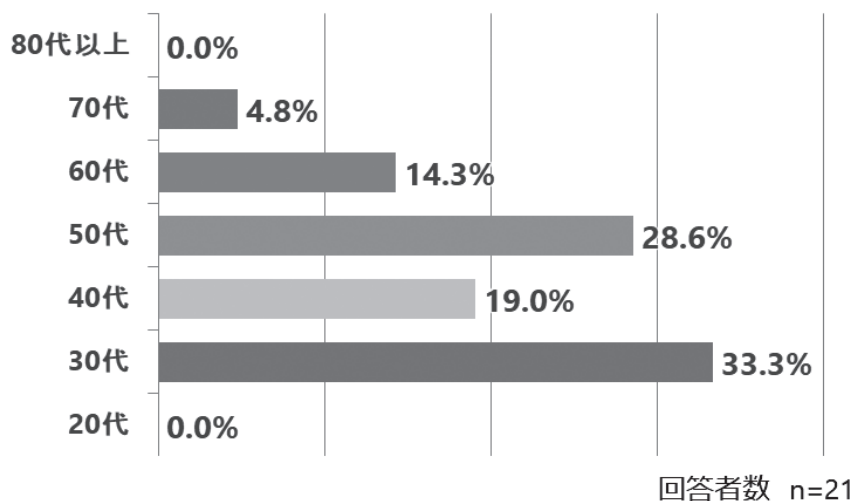
回答者数 n=22

年齢

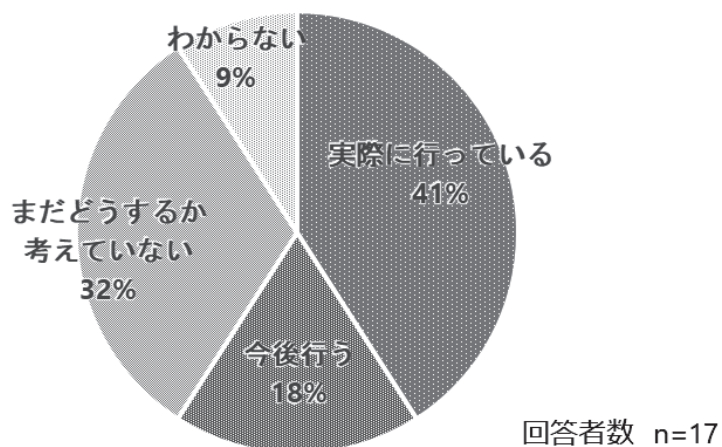


回答者数 n=21

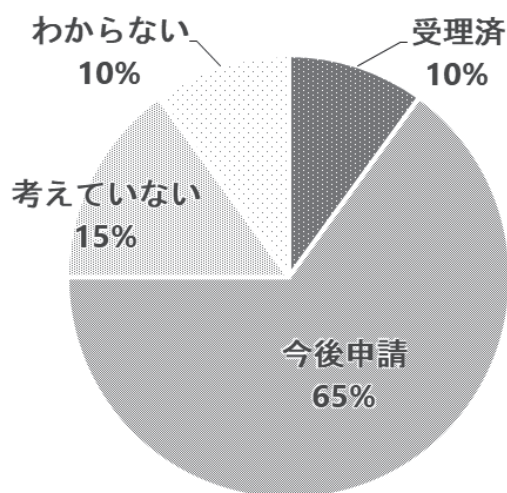
年齢



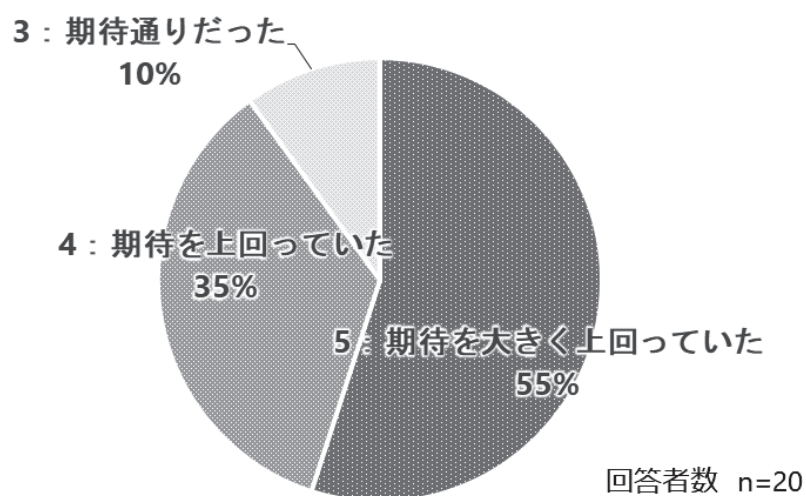
かかりつけ薬剤師施設基準



勤務健康サポート薬局申請



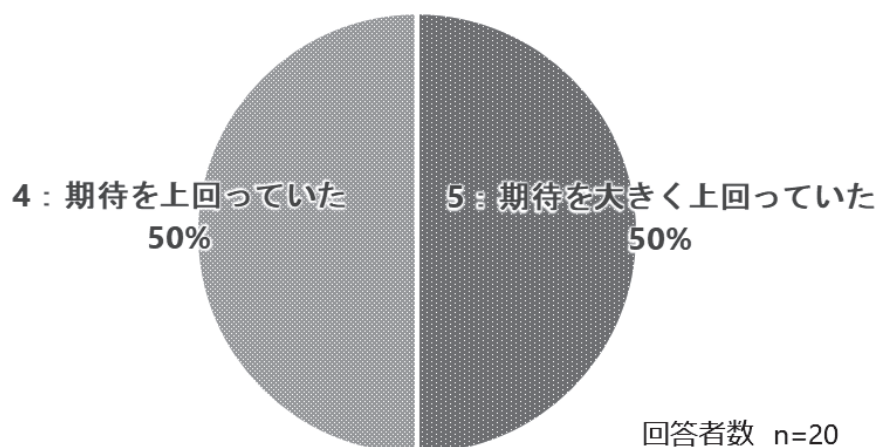
今回のプログラムは事前の期待に見合った内容でしたか？（5段階評価） 【健康サポート薬局の申請へのみちしるべ】



ご意見・感想・印象に残ったキーワード

- 薬機法、ひんぱんに、目の前の人を大事 情報選択できる、させる、ものがある 地域住民
- 簡単に説明してもらい、わかりやすかった (たて軸とよこ軸が大切!!)
- 講演はとても感動的でした。やりたい事、やるべき事を今一度考えることが出来ました。只健康サポート薬局としての申請については、具体的にハードルが高いと思った!!
- 人の作ったものを活用すればいい。
- 今後何をまずしていくべきかがわかった。
- 具体的な内容でとても解りやすく、大変に参考になった
- 薬局が大きく権限を与えられた

今回のプログラムは事前の期待に見合った内容でしたか？（5段階評価） 【地域住民の主体的な健康維持への取り組みの支援について薬局でできること】



ご意見・感想・印象に残ったキーワード

- 薬局でできることが、たくさんあることに改めて気付かされました。 そのためには、いろんなツール、職種の方との連ケイを活用することが大事だと。 1人の患者さんをじっくりみることももちろん、たくさんの方にケイモウする必要性も感じました。今必要なこと（高齢者の骨折予防）、将来をみすえて予防すること（若い女性の骨密度を上げること） あらゆる視点をもつこと。たくさん再発見できました。
- アピールしていく
- ・健康講座は手段でしかない ・感覚、哲学が大事でアウトプットする事が大切 ・薬剤師が健康相談の相手として認識されていない ・健康フェアーの後にどのようにフォローするのが大切 ・患者さんはもともと地域に住んでいて地域で生活している住民である
- 上記と同じで具体的内容で講義して頂いたので、健康サポート薬局の申請書類作りができそうである
- サポート薬局のイメージができた

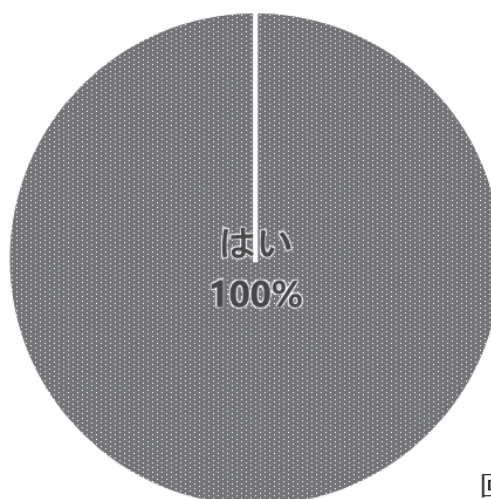
自分が弱いなあ もっと知っておいた方がいいなと思った点について教えてください

- 相談窓口となった時にすぐに地域包括支援センターへ紹介するのではなく、紹介する場所や担当者のリストアップや多職種連携に向けての研修会への参画が必要だと思った
- お薬手帳への自分の薬局のアピール レイアウトを考え直そうとおもいます。
- いろいろ考えていてもなかなか実行できない。もっと勇気をもってやった方が良かったと感じた。患者から何か相談されたときちゃんとトライアージする事ができるか不安。
- 健康サポート機能としての連携、紹介など
- しよるいが大変。
- ・ゆいプロジェクトについて知らなかったのではずかしかった。 ・地域の健康施策についてもっと理解しておく必要性を改めて感じた。 ・紹介状を薬学的見地から書く
- 一人薬剤師で調剤投与が長かった為、外へ出て行く、もしくは地域住民とのかわり合いがなかなかうまく出来ませんでした。書類作成などと言われると頭がいっぱいになる為、避けていたように思います。今後、近くにある公民館などへ足を運んでみることも大切かと考えてきました
- 在宅をしていく上でケアマネと交流を増やしていきたいと思う

興味を持ったのでもっと学びたいなあと感じた点について教えてください

- 住民の方への健康支援活動
- 口コミ 風邪薬の選択
- もっと地域について、よく知って学んでおく事が必要だと思った。

このような会が開催される場合参加を希望されますか？



回答者数 n=22

医薬分業

第1回 健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 ～健康サポート薬局実現のための届出・申請について～

日時：平成29年12月7日（木） 19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



「面倒だから、しょう」以前読んだ本のタイトルです。この本にこのような言葉があります。「ほほえみ、優しさ、愛はつながってゆき、溢れてゆく。」今回の研修を受ける前は正直書類作成、申請などの手順、他にも在宅などの越えなければいけないいくつものハードルが目の前に現れ、それを見るたびに面倒だな、大変そうだな、そのような思いが沸き起こり、なかなか重い腰を上げることが出来なかったのが正直なところです。同じ気持ちの先生方も少なからずおられるのでは



医薬分業対策委員会
副委員長 盛本 直也

ないでしょうか？悶々としている中、健康サポート薬局の届け出が受理された西川裕さん、平良恭子さんの話を聞けるチャンスができましたので重い腰を上げ参加させていただきました。



あいさつ 江夏京子 副会長



司会進行を務めた笠原大吾氏



講師を務めた西川裕氏、平良恭子氏、大城由希子氏

<式次第>

○あいさつ

司会進行 医薬分業対策委員会 笠原 大吾

沖縄県薬剤師会副会長 江夏 京子

○研修1 健康サポート薬局について

講師：沖縄県保健医療部衛生薬務課 大城由希子

○研修2 健康サポート薬局を実現した2薬局の事例

講師：そうごう薬局 新赤十字前店 西川 裕

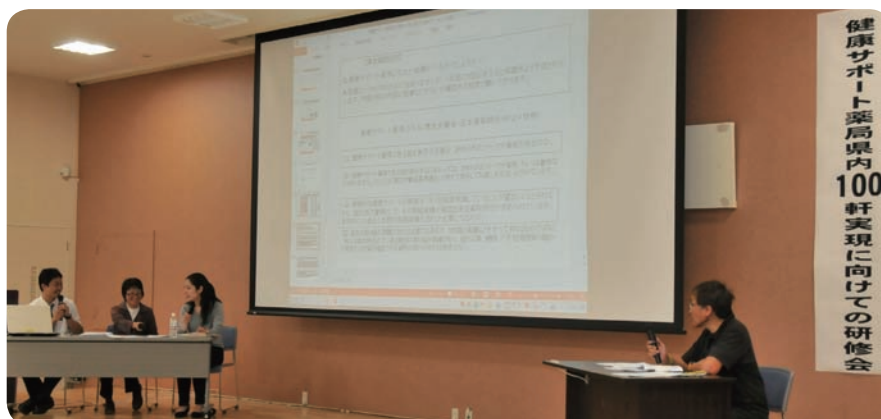
薬局えぱ一わーな〜 平良 恭子

○ディスカッション 健康サポート薬局 届出申請に関するQ & A

実際、提出書類はかなりのボリュームという印象を受けましたが、やってできないものでもなく、ポイントをしっかり押さえていけば可能なこともわかりました。また、県薬剤師会作成ポスターなどを活用していたりと、ゼロから自分たちで準備しなくてもよいことも分かり、とてもホッとしたというのが正直な気持ちです。面倒だから、めんどくさそうという先入観が先に立ち、自分勝手にハードルを作り動けなくなってしまうことにもお二人の話を聞いて気づかされた部分です。何事も先駆者は大変な苦勞があると思

いますが、それに続くことが我々に必要なことではないでしょうか。まさに、薬剤師としてかかりつけ薬剤師・健康サポート薬局として地域の方々に先ほどの本の中に書かれていた言葉「ほほえみ、優しさ、愛はつながってゆき、溢れてゆく。」そのことで地域貢献し健康をサポートすることが出来ると感じます。

面倒でもまず始めることで多くの方々の役に立てる。地域の方々の笑顔を想像すればそれほど高いハードルではない。そのことを今回の研修で学びました。



平成30年度 健康サポートのための多職種連携（A）・薬剤師の対応（B）研修会 開催日

平成30年度 第1回 健康サポートのための多職種連携（A）・薬剤師の対応（B）研修会

日時：平成30年7月22日（日）9:00～18:00 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

平成30年度 第2回 健康サポートのための多職種連携（A）・薬剤師の対応（B）研修会

日時：平成30年9月30日（日）9:00～18:00 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

医薬分業

第2回 健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 ～健康サポート薬局実現のためのOTC導入について～

日時：平成30年2月3日（土）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

医薬分業対策委員会

上原 卓朗



健康サポート薬局では、「要指導医薬品等について、基本的な薬効群を原則としつつ、地域実情に応じて、当該薬局において供給すること」が明記されています。そのためには、業務が円滑に進むように在庫確保が必要となります。そこで、第二回の健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会は、OTC導入のために主要メーカー卸の6社を一同に集めて各社に説明していただきました。

始めに盛本直也医薬分業対策委員会副委員長から、OTC導入についてその背景からお話していただきました。

薬剤師法第1条【薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする】より、セルフメディケーションを推奨していくことは薬剤師の役割であるとし、またかかりつけ薬剤師として、症状や併用薬、既往歴などから使用可能な薬剤を選択していくことは医薬品の適正使用にも貢献できると話されました。一方で、OTC導入に関する問題点として、人材不足（処方箋で手一杯）・在庫管理・スペースの問題・取引方法・知識不足などをあげ、スペース問題については、OTC実施展開例を写真で示していただきました。

その後、6社より会社の概要の紹介や契約方法等お話していただきました。各社の特徴や違いを知ることはもちろんですが、最近のOTC業界についても触れて頂き、差別化を図るためにPB商品の開発を行って

いることなどを紹介して頂きました。さらに別会場にて、各社ブースを設けて個別相談を受けていただき、出席者にはよい機会になったかと思います。

講習後のアンケートでは、各社短い時間配分だったために十分な説明時間が取れず「取引についてもう一つ理解できなかった」との声がありました。日頃、取引を行っている医療用医薬品と比較して、一般用医薬品の取引では契約等に大きな違いがあることのみ知り得た感覚で、OTC導入への決意には至らなかったと予想されます。今回は、沖縄で活動しているOTC卸会社の存在をアピールしていただいたので、相談交渉ができる段階への進歩ととらえ、OTCについてさらに必要な講習会があれば検討していきたいと思います。

健康サポート薬局は、まだまだ課題が多いようでアンケートでは、「健康サポート薬局の届け出について壁となっているもの」に、多い順から在宅実施、薬剤師の要件、OTC導入が続いていました。順次壁が取り払えるよう研修会を企画・開催をしていきたいと思います。



講師 盛本直也氏



司会 松本圭五氏

<式次第>

○ 健康サポート薬局実現のためのOTC導入について

○ 各社紹介

○ 各社主要項目説明

○ 質疑応答

○ 各社のブースにて相談・交渉

＜メーカー＞

- ・株式会社アクシス
- ・株式会社ジョヴィ
- ・株式会社新生オリエックス社

司会進行 医薬分業対策委員会 松本 圭五

医薬分業対策委員会 副委員長 盛本 直也

各社担当者

＜卸＞

- ・アルフレッサ株式会社
- ・株式会社スズケン
- ・株式会社ダイコー



株式会社アクシス



アルフレッサ株式会社



株式会社ジョヴィ



新生オリエックス社



株式会社スズケン



株式会社ダイコー

医薬分業

第3回 健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会

日時：平成30年2月25日（日）13:00～16:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



講師の宮原富士子先生が、「薬局・薬剤師が、地域住民による主体的な健康の維持・増進の支援をしていいと国は、健康サポート薬局制度を作った。これらを薬局・薬剤師はどうとやっていいということ」と言い放ったことが印象的でした。薬剤師法第1条にも言及し、「薬剤師は、調剤、医薬品の供給、その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする」を取り上げ、公衆衛生で「人間社会の健康に関わる諸問題に集団的に対応すること」の説明を加え、薬剤師の使命を確認しました。



講師 宮原 富士子 氏



医薬分業対策委員会
平良 恭子

今回たくさんの資料を準備していただき、講義に使われるスライド資料も厚いものでしたが、途中の休憩は10分程度で、与えられた3時間ですべてのスライドに触れテンポいい話術に引き込まれました。

健康サポート薬局では、3つの研修の受講を必須としています。研修Aの他職種連携研修、研修Bの薬剤師の対応研修、eラーニング、これらの内容に出てくるトレアージに必要なOPQRSTチェックもさりと触れ、レッドフラッグサインでは、風邪のような症状から、実は「腎盂炎だった」「心不全だった」などのピットフォール（落とし穴）を探り得る能力が問われると話されました。緊急避妊ピルのOTC化には、2020年のオリンピック開催に向けての用意・準備の背景を話され、多面的情報収集で、患者さん、来局者たちにヘルスリテラシーを実践していかなければいけないことを改めて感じさせてくれました。健康

<式次第>

○あいさつ

司会進行 医薬分業対策委員会 笠原 大吾

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌

○講演 沖縄の街に根差した健康サポート薬局立ち上げと持続のノウハウを共有する

何よりかかりつけ薬剤師 何より沖縄県民の視点に立った

健康啓発・疾病重症化防止・介護支援の活動を

講師：NPO法人HAP (Healthy Aging Projects For Women) 理事長

株式会社ジェンダーメディカルリサーチ 代表取締役社長 宮原 富士子

日本21の目標から、ロコモにふれた際には、器具などなくても薬局で貢献できる運動促進のヒントを得ました。

当薬局で実際活用場面に出くわせていない地域包括センターの連絡一覧表等を活用できるか不安でしたが、今回の講義で、それらを活用できる、すぐにファイルから見いだせるなど整理して置く段取りのヒントを得ました。

沖縄県は、100軒の健康サポート薬局をめざしていますが、東京は当初の600軒目標を200軒に縮小しているとのことでした。当初の数字は東京都内、区市町村立中学校608校1分校から割り出されていました。沖縄県でも中学校が100校余りで、目指す100軒に近いことで、健康サポート薬局の配置は中学校校区に近く、地域包括ケアシステムの範囲が想定されています。東京は、平成30年1月31日で75軒の健康サポートが認可されています。目標の半分に達しようとしています。ところが、沖縄は、3軒止まりで、東京並みに目標を3分の1の30軒余りにしても10分の1程度です。到底近隣を補う数字でなく、国民に

は届きにくい現状です。3月現在で把握できる健康サポート薬局研修修了薬剤師はおおよそ56名で、健康サポート薬局申請に関わりの多い、かかりつけ薬剤師指導料を申請しているのが2月で136軒、実際の在宅実績が申請に必要な在宅患者調剤加算申請軒数は、2月時点60軒で、これらの数字から甘めに概算すると、沖縄の健康サポート薬局は、目標値の半分程度が見込めますが、まだまだ少数です。平成30年4月から「地域支援体制加算」で実績を問われる点数が発令しました。点数化しないでスタートした健康サポート薬局ですが、宮原先生は、地域支援体制加算にも触れ「2025年に向けて、薬局のあるべき姿に向かって、薬局の本格的な評価体制が始まった」と話されていました。

今回、宮原先生は、健康サポート薬局の背景・中身・今後にも触れられました。先生の貴重な時間に共有させていただいたことに感謝します。先生のますますのご活躍をお祈りしながら、沖縄県の健康サポート薬局機能が広がる事を願います。



あいさつ 亀谷浩昌 会長



司会進行 笠原大吾 氏

医薬分業

平成29年度薬剤師認知症対応力向上研修報告

今年度は県薬会館ホールにて平成29年10月25日：59名、平成30年1月14日：41名、宮古地区薬剤師会ではシモジ薬局2階にて平成30年2月18日：6名、八重山地区薬剤師会では大濱信泉記念館にて平成30年3月4日：3名が研修に参加されました。

薬剤師は、認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた薬学的管理を適切に行い、認知症の人とその家族への支援体制構築の担い手となることを目的として平成28年度より本研修会を開始しました。

認知症の人とその家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を習得するために、Ⅰ. 基本編は医師より認知症の概要について、Ⅱ. 対応力編は薬剤師から薬学的管理や他職種との連携について、Ⅲ. 制度編は高齢者介護福祉課から認知症政策と地域包括支援センターの認知症地域支援推進員から実際の活動状況や事例について講義を行いました。(次頁プログラム参照)

この研修を修了すると沖縄県知事より「修了証書」が交付され、同意を得られた薬剤師は



医薬分業対策委員会
中尾 滋久

研修修了者として、地域包括支援センターへの配付や沖縄県のホームページに掲載します。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、多職種連携・地域包括ケアシステムの中で積極的に関わりを持てる、また認知症の人とその家族からいつでも気軽に相談のできる薬剤師が期待されています。安全な薬物治療を提供できるだけではなく、「気づき」や「つなぎ」のできる地域の医療を担う専門職の一員として活動できるような薬剤師が増えていくことで、認知症だけではなく、罹病後も安心して生活できるようになると思います。

厚労省のサイトに「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」について詳細な記載がありますので是非ご参照ください。



左より、中尾滋久氏、山城正明氏、新垣比奈子氏、比嘉直美氏



遠藤一博氏



清水幸子氏

平成29年度 薬剤師認知症対応力向上研修プログラム

時 間	内 容	講師等
12:30～13:00	受付	
13:00～13:10	オリエンテーション	
13:10～13:40 【30分】	Ⅰ 基本知識 ・ 認知症施策の現状 ・ 薬局・薬剤師の役割 ・ 認知症の原因疾患の特徴と症例、 軽度認知障害の理解 ・ 観察のポイント（アセスメント）	認知症サポート医 【第1回】 読谷村診療所 山城 正明 先生 【第2回】 北中城若松病院 認知症疾患医療センター 遠藤 一博 先生 【宮古・八重山地区】 DVD研修
13:40～13:45	質疑応答	
13:45～13:50	休憩（5分間）	
13:50～15:20 【90分】	Ⅱ 対応力 ①薬学的管理 ・ 認知症に使われる薬 （効能・効果・副作用・作用機序） ・ 認知症治療薬の使用上の注意点 ・ 薬物以外の療法とケア ・ 服薬の継続管理のポイント ・ 認知症の人・家族への支援 Ⅱ 対応力 ②気づき・連携 ・ 早期発見、早期対応や 多職種連携の必要性和対応 ・ カンファレンス等での薬局・薬剤師の役割 ・ 徴候からの気づき、服薬状況からの気づき、 医師へのフィードバック	沖縄県薬剤師会 【第1回】【第2回】 【宮古・八重山地区薬剤師会】 医薬分業対策委員会 中尾 滋久 先生
15:20～15:30	質疑応答	
15:30～15:40	休憩（10分間）	
15:40～17:10 【90分】	Ⅲ制度等 ・ 地域包括ケアシステム、介護保険制度 ・ 医師やケアマネジャーが薬局・薬剤師に 望むこと ・ 認知症ケアパス、認知症初期集中支援チーム、 認知症地域支援推進員等の仕組み ・ 若年性認知症の現状と支援の制度 ・ 成年後見制度、高齢者虐待の現状	【第1回】 ・ 沖縄県高齢者介護福祉課 新垣 比奈子 先生 ・ 認知症地域支援推進員 那覇市地域包括 支援センター石嶺 比嘉 直美 先生 【第2回】 ・ 沖縄県高齢者介護福祉課 新垣 比奈子 先生 ・ 認知症地域支援推進員 那覇市地域包括 支援センター安里 清水 幸子 先生 【宮古・八重山地区】 医薬分業対策委員会 中尾 滋久 先生 一部DVD研修
17:10～17:20	質疑応答 アンケート記入	

医薬分業

平成29年度医療機器販売等の営業所管理者・ 医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修報告

平成29年12月10日沖縄県薬剤師会館ホールにて160名、平成30年2月18日宮古地区薬剤師会：シモジ薬局2階会議室にて11名、3月4日八重山地区薬剤師会：大濱信泉記念館にて5名が表記の研修を受講し修了証を受け取られました。

平成17年に施行された改正薬事法により毎年度継続研修を受講することが義務付けられました。全国の薬局で高度管理医療機器の取扱いが多いため厚生労働省へ届け出て、平成18年度から日本薬剤師会は研修実施機関としてテキストの編集発行を行い、沖縄県薬剤師会においては実施要項に基づき毎年度継続研修を実施しています。

平成14年の薬事法改正、平成25年の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（医薬品医療機器等法や薬機法などと略される）の成立により医療機器の安全対策の強化、医療機器の特性を踏まえた規制が行われています。医療機器は、人体に与えるリスクに応じてクラスⅠからⅣまで分類され、そのうちクラスⅢとⅣが高度管理医療機器として販売するにあたり県知事（保健所）への申請、許可が必要になります。（沖縄県ではクラスⅡにあたる管理医療機器の販売においてはみなし規定が適応されず、届出が必要になっています。）

薬局で取り扱う高度管理医療機器にはコン

医薬分業対策委員会
吉田 洋史



タクトレンズ（カラコンを含む）、自己血糖測定器、輸液ポンプ、一部のドレッシング材、長期使用尿管用チューブステント、長期的使用医療栄養用チューブ、分離型インスリン注入器などがあります。

販売業更新時の行政立入り検査では許可証の掲示、管理帳簿への記載・保管や毎年の受講状況の確認があります。また医療機器の不具合や回収があった場合、迅速に対応するためにも譲渡及び譲受に関する記録は必須となっています。

医薬品と同様に医療機器の場合にも購入して使用する者に対し、情報提供するように定められています。さらに製造販売業者への不具合報告の協力が求められています。情報収集の手段として医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）への登録・活用をよろしくお願いします。医療機器による事故や不正使用などの情報も下記参考のホームページに掲載されています。普段の薬局業務に関係する事例もありますので、高度管理医療機器を取り扱っていないくても、ぜひアクセスしてみてください。

<プログラム>

司会：沖縄県薬剤師会 医薬分業対策委員会 中尾 滋久（八重山地区開催：地区会長 山城 専）

○第1章 医薬品医療機器等法その他関連法令

講師：沖縄県薬剤師会理事・医薬分業対策委員会 吉田 洋史
（八重山地区開催：医薬分業対策委員会 中尾 滋久）

○第2章 医療機器の品質管理 講師：ニプロ株式会社 本社 信頼性保証部 部長 芳田 豊司
（宮古地区開催：医薬分業対策委員会 吉田 洋史）
（八重山地区開催：医薬分業対策委員会 中尾 滋久）

○第3章 医療機器の不具合報告及び回収報告
講師：ニプロ株式会社 本社 信頼性保証部 部長 芳田 豊司
（宮古地区開催：医薬分業対策委員会 吉田 洋史）
（八重山地区開催：医薬分業対策委員会 中尾 滋久）

○第4章 医療機器の情報提供 講師：ニプロ株式会社 本社 信頼性保証部 部長 芳田 豊司
（宮古地区開催：医薬分業対策委員会 吉田 洋史）
（八重山地区開催：医薬分業対策委員会 中尾 滋久）

○修了証書の授与

医療安全

平成29年度 医療安全講習会報告

日時：平成30年2月4日（日）13:00～15:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



医療安全対策担当理事
吉富 弓江

去る2月4日、平成29年度医療安全講習会が開催され、147名が受講しました。

講義 『医薬品の安全使用のための

業務手順書作成塾』

鹿児島県薬剤師会 医療安全委員会 今出 唯史

平成19年4月1日より薬局の開設者には「薬局における安全管理体制の整備」が義務付けられました。薬局開設者が遵守すべき事項の中に「医薬品の安全使用のための業務手順書」の作成があります。「医薬品の安全使用のための業務手順書」とは、医薬品の取扱いに係る業務の手順を文書化したものです。

業務手順書作成塾は鹿児島県でも実施しており、ただ話を聞くだけでなく、箱埋め形式でその箱を埋めていくことで各薬局の手順書を完成させるというものです。薬事監査時に、手順書が見当たらない、薬剤師会の指針をそのまま使用している、平成19年の作成時から一度も見直されていない、という話を聞いて始めました。

「定期的に見直す」といっても「定期的」とは曖昧で、鹿児島県でのアンケートでは「1年」が40%、「2年」が28.2%、「5年」が4.7%という結果が出ています。ハーボニー偽造医薬品の流通のような医薬品に関する事件・事故が発生したタイミング又は1年に1回見直すのが良いのではないかと考えます。

日々の業務を文書化したものが手順書なのですが、手順書に業務を合わせたり、手順書と違うやり方をしたりしていませんか。患者に人的有害事象を起こさないように、手順書を作成しましょう。

この後、配布資料（箱埋め版）に則って、各項目の具体例などを聞きながら参加者各自

が箱埋めをしました。1月31日に施行されたばかりの改正省令*に則った、「第9章 偽造医薬品流通防止対策」も盛り込まれております。

*「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令等の施行について」（平成29年10月5日 薬生発1005第1号）

沖縄県薬剤師会のホームページに「箱埋め版」と「記載見本」を掲載しておりますので、参考にしてください。なお、「記載見本」の閲覧は会員限定となっております。

＜沖縄県薬剤師会ホームページ⇒研修会⇒研修会カレンダー⇒2月4日医療安全講習会＞

〇おわりに

私も話を聞きながら実際の業務を思い浮かべて箱埋めをしてみました。一人の薬剤師で埋めていくのは難しいと感じました。業務に係わっている全ての薬剤師から意見を聞き、それをまとめて手順書を作成するのが良いと思います。

今出氏は最後に太陽系の惑星の軌道を見せ、「惑星はそれぞれの軌道に沿って回っているからぶつかるリスクが少ない。手順書は医療安全の軌道であり、手順書通り業務を行うことで医療事故の可能性を少なくすることができます。」と話されていたのが印象的でした。



講師 今出 唯史 氏

災害対策

災害対策委員会主催

平成29年度第2回 Basic Life Support (一次救命処置) 講習会報告

日時：平成30年1月24日(水) 19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

会営薬局うえはら
石川 有美子

私にとって今回は3度目の一次救命の講習会でした。1度目は自動車教習所、2度目は大学の講習でした。2度も講習を受けているので、救命方法の手順も分かっているつもりでした。しかし、その考えは始まるとすぐに打ち消されました。なぜならAHA（アメリカ心臓協会）のガイドラインは5年ごとに基準が改定されていたからです。現在の基準はガイドライン2015で、①反応確認、②通報、③呼吸確認・脈拍確認、④CPR確認という手順を踏みます。私が以前学んだものは反応確認・呼吸確認を初めに行うガイドライン2010であり、スタートから違っていました。また通報の際にスマートフォンのスピーカー機能を利用しながら、状況に適した指示を救急に仰ぐという方法に驚きました。高い救命率を保つ

ためには、知識だけではなく時代の変化に対応する柔軟性も大切だと感じました。

次に「質の高い胸骨圧迫」「AEDの使用方法」などの実践も行いました。1分に100～120回のペースで、5cm～6cmの深さで30回も行う胸骨圧迫はかなりきつい動作です。それを救急車やAEDが到着するまで1人で続けることは現実的に厳しいと思います。しかし同じ講習を受けた人が近くにいれば協力して胸部圧迫を行いつつ、救助を待つことができます。多くの人が一次救命を学ぶことで、誰かの大切な命を助けることができるでしょう。目の前で起こった事故にもあわてずに対処できるよう講習を継続して受ける必要があると思いました。

平成29年度第3回 Basic Life Support (一次救命処置) 講習会報告

日時：平成30年2月8日(木) 19:30～21:30

会場：沖縄県薬剤師会 研修室

すこやか薬局 小禄店
田場 英美

沖縄県薬剤師会災害対策委員会主催の一次救命処置（以下BLS）講習会に参加させていただきましたので報告します。

【胸骨圧迫のポイント】

- ・胸骨圧迫の必要性は血液を脳へ送るためなので早急に行うこと
- ・テンポは100から120回/分それ以上でもダ

メ→早すぎると深さが足りなくなるから

- ・深さは約5～6センチ、超えてもダメ
- ・胸骨圧迫30回当たり人工呼吸2回
- ・小児は15回当たり人工呼吸2回
- ・10秒以上の胸骨圧迫の中断はしない。→人工呼吸がうまくできなくても2回までにとどめ胸骨圧迫をすぐに再開する
- ・指が肋骨にあたって骨折させないために手

を組んで指先を上げておく

- ・視線は奥の腕のさらに先の方を見ると体重が乗りやすい
- ・足は体から離すとやりやすい

【全体の流れ】

- ①周囲の状況の安全確認
- ②意識確認→両肩をたたいて「大丈夫ですか？」
- ③大声で周囲に助けを求める
- ④携帯端末で通報→切らずにハンズフリーにしておく

＊第一発見者はその場を離れない！

呼吸、脈の確認

死戦期呼吸の特徴を確認

死戦期呼吸とは心停止直後にみられる症状
→間の悪いいびきのような、引き笑いのようないつもと違う呼吸、いびきなら起こしてみる

⑤CPR開始

⑥AED

必ず音声ガイドに従う

貼る場所は心臓を挟むこと

小児が大人のAEDを使うときは前後になることもある

ペースメーカーの埋め込みは目視できるので見えたら3センチ以上離す

【感想】

実技の前に講義があり、AHA（アメリカ心臓協会）のガイドラインは、5年に1回更新が

あり（現在は2015年改訂版）、それによりCPR（心肺蘇生法）開始までの手順に変更があることを知りました。その時点で定期的な講習参加が大切だと感じました。

現在は、携帯電話の普及により、救急車の手配がしやすくなりました。また通話をそのまま切らずにハンズフリーにしておくことで、救急救命士からの指示を確認しながら救命処置をすることも可能になり、冷静に対処できる手法を学びました。

そして、最も重要だと感じたのは、胸骨圧迫の手技を忘れないように、定期的な訓練を行っておくことです。一度講習を受けていても、時間が経つと感覚を忘れてしまい、いざという時に役に立たなくなってしまう。できれば、いつでも触れられるように常時、県薬会館にデモ機を設置しておく、別の研修と組み合わせて、訓練することができるのかなと思います。

AEDも音声通りに従えば良いというものの、はじめて触る機械だと、電源の入る時点で慌ててしまうため、一度触れておくと落ち着いて音声の説明を聞くことができると思います。

普段、薬局で働いているため、こういう対応は隣の病院に任せれば良いと思い、研修に消極的だったのですが、自分の家族にもしものことがあったらと思うと、このままではいけないと思い参加しましたが、本当に勉強になりました。ご指導頂いた先生方ありがとうございました。



在宅医療

会営薬局うえはら無菌調剤室共同利用に関する講習会と 在宅医療のための無菌調製実践講座に参加して

日時：平成30年1月28日（日）9:00～17:00

会場：沖縄県薬剤師会 会営薬局うえはら

上記日程にて開催された講習会及び実践講座受講の報告をさせていただきます。

現在、在宅医療における薬剤師のさらなる役割が求められている中、医療用麻薬注射、輸液等の無菌調製を含めた在宅業務依頼も今後増えていくと予想されます。薬局に無菌調製設備がない場合は、無菌調製設備を有する薬局の設備を共同利用させていただくことが可能ですが、そのためには設備を有する薬局が開催する共同利用に関する講習の受講が必須となっています。在宅業務において無菌調製の依頼があった場合、迅速に対応できるよう今回受講致しました。

講習会および講座の内容は下記のとおりです。

- 講座1 クリーンルーム、クリーンベンチ、安全キャビネットの基礎
- 講座2 無菌調剤室共同利用のための手続きと体験
- 講座3 無菌調製を初めて体験する方の基礎講習
- 講座4 在宅医療のためのTPN調製の実践
- 講座5 医療用麻薬注射薬調製のための基礎講習
- 講座6 PCAポンプを利用するための調製の実践とポンプの操作方法

ひよこ薬局
神谷 朝斗志



今回の受講者は10名。私も含め受講者のほとんどは普段注射剤などを扱う機会がない先生方でした。在宅医療担当理事の荒井千春先生をはじめ在宅医療委員会の阪本嵩彰先生、鈴木直志先生、土田寛子先生、石田浩先生、玉城武範先生、設備機器メーカー担当者様など強力なバックアップのもと質問しやすい少人数制の体制で実施されました。

講座1では、タイトル通りそれぞれの基本的な項目を学び、講座2では、会営薬局うえはらとの共同利用に関する契約手続き、管轄保健所への届出及び九州厚生局への無菌製剤処理加算の届出に必要な手続き・書類等についての説明がありました。また入室体験では受講者それぞれガウンを着用し、無菌調剤室への入室手順・使用方法や注意点等を学びました。

講座3、4では実物のアンプル、バイアル、輸液パックを用いて手順や注意点を1つ1つわかりやすく説明いただきました。実際の作業では厳禁ですが今回は練習だったこともあり



何度も針刺しや計量を繰り返し実践することで手技を高めていきました。

講座5、6では、実機を用いたPCAポンプの内容でした。PCAポンプとは主に医療用麻薬注射による疼痛コントロール用の携帯可能な機器です。機器内部のタンクに充填した薬剤をセットし持続的に薬剤を送り出すことで鎮痛状態を維持でき、突発的な疼痛が現れた場合には、患者自身で追加投与のボタンを押すことで疼痛に迅速対応することができます。持続投与の流量や追加投与の回数及び間隔は個人に合わせて設定できるため、今回は主に

設定操作や薬剤充填の手技を学びました。

今回の講習会及び講座を受講して感じたことは、無菌調剤が実施できる調剤薬局が今後さらに増えることで入院から在宅への移行がよりスムーズに実施できるということです。特にがん疼痛の場合は、退院時に注射薬から内服・外用薬への切替えがどうしても難しい方もいらっしゃると思います。そのような場合、入院中と同じようにPCAポンプの利用が在宅でも継続利用できることを医師やご本人等に提案及び対応することができる体制を事前に整えておくことが重要であると感じました。

お知らせ

平成30年度 在宅医療委員会主催研修会

在宅医療に役立つフィジカルアセスメントと 症例からの薬学的管理の考え方

会期：平成30年7月22日（日）、23日（月・祝） 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいませようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。



☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

地域保健

平成29年度自殺予防対策事業 ゲートキーパー薬剤師スキルアップ研修会

日時：平成30年3月4日（日）10:00～12:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

<式次第>

司会：地域保健開局委員会 平良 恭子

講義1「沖縄県における自殺の現状と自殺対策の取り組み」

沖縄県保健医療部地域保健課精神保健班 知花 誠

講義2「子ども達に命をどう伝えるか ～学校現場の事例を通して～」

沖縄県教育庁保健体育課健康体育班 東 由美子

去る3月4日（日）沖縄県薬剤師会館にて行われたゲートキーパー（薬剤師）スキルアップ研修会に参加したので報告する。

講義1「沖縄県における自殺の現状と自殺対策の取り組み」

沖縄県保健医療部地域保健課精神保健班の知花誠氏にご講義を頂いた。

まず、全国における自殺者数の動向として、平成10年のバブル崩壊後に年間自殺者数が3万人を突破して以来14年に渡り年間3万人を超える状態が続いていたが、国としての法整備（平成18年 自殺対策基本法の成立）や全国的な自殺に対する対策や取り組みもあり、平成24年には3万人を切り、以降は減少傾向にある。しかし、依然として自ら命を絶ってしまう人が年間2万人以上おり非常事態は続いている。国や県としての早急な対策は引き続き必要である。自治体レベルでは平成28年に自殺対策計画の策定が義務付けられている。医学の面では自殺のリスクを上げる要因としてうつ病などが挙げられているが、病気に対するアプローチだけでは完全な解決にはならず、そこに至った原因に対する支援・対策も必要である。

自殺に至ってしまった原因としては、生活困窮・過労・介護疲れ・いじめや孤立など各個人で様々であり、それぞれに合わせた対策や総合的な支援も重要である。

クララ薬局ティエラ
宮本 直樹



沖縄県内の動向も全国と大きな差異はなく、平成10年を境に増加傾向であったが、平成24年以降は減少傾向にある。男女比では、自殺者では約8割が男性であるが、自殺未遂歴がある人の割合だと女性が男性の2倍以上を占めるため、未遂者に対する支援も今後の課題の1つである。年代別で見ると、50～59歳が自殺者数の比率としては最も高いが、若年層の死因別での自殺が増加傾向にあり、また、高齢世代では自殺死亡率が高くなってきているため、性別や年代に関わらず国民全体として自殺を防ぐための対策や支援は必要である。

沖縄県の取り組みの例として、ポスター展示・パネル展・フェイスブックなどでの普及啓発事業や市町村・企業・学校などでの



講義1 講師 知花 誠氏



講義2 講師 東 由美子氏

ゲートキーパー養成研修への講師派遣などを行っている。自殺未遂者再企図防止事業として、救急医療に携わるスタッフに対し、精神的問題を有する身体救急患者に標準的な初期評価・診療を行うための知識・接遇を身に付ける研修なども行っている。平成30年度には自殺対策推進センターを設置し、地域の実情に沿った支援を行っている。また支援連携ツールとして「つなぐ」シートを作成し、相談者の負担軽減・多機関連携の円滑化・自殺リスクの早期発見・対応を図っている。

講義2「子ども達に命をどう伝えるか～学校現場の事例を通して～」

沖縄県教育庁保健体育科健康体育班の東由美子氏にご講義を頂いた。

近年、児童生徒によるいじめや暴力事件などが増えてきており、それに関する報道も後を絶たない。特に小学校での暴力行為発生件数が増加の傾向にあり、沖縄県も例外ではない。沖縄県では平成27年度までは全国と同水準だったが、平成28年度では暴力行為発生件数が倍増しているとともに、いじめ認知件数では平成27年度と平成28年度では5倍以上に増加するなど、急激な増加の一途を辿っている。また県内での学年別のいじめの認知件数では小2がピークになるなど、いじめの低年齢化も目立っている。

県内の児童生徒の自殺者の動向では高校1～3年生が多く、平成28年度では各学年50人以上が自ら命を絶っている。自殺した生徒が置かれていた状況として多かったのは“家庭不和”“進路問題”“いじめ問題”である。統計的に自殺者が最も増えるのが夏休み明けの9月1日であるほか、学校の長期休暇明け直後に自殺が増える傾向にある。その為、このような時期に学校や地域、家庭において児童生徒の見守りの強化や相談・講演などの対応を集中的に行うことは効果的であると考えられる。

学校教育での取り組みとして、児童生徒が命の大切さを実感できる教育や生活上の困難・ストレスに直面した時の対処法を身に付

けさせるための教育を推進している。

沖縄県では命の大切さを教えるため、豊かな心の育成と健やかな体の育成に取り組んでいる。具体例の1つとして、副読本を用い小学校では食育や生活習慣、中学校ではこころの健康を伝えている。ストレスへの対処法の具体例として、呼吸法や筋弛緩法など心身ともにリラックスできる方法を身に付けさせる教育を行っている。また、より良い人間関係を築くために自分の気持ちや考えをできるだけ素直に伝え、相手の気持ちもちきちんと受け止め、大切にしようとするアサーションと呼ばれるコミュニケーション方法も教えている。いじめを止めて欲しい人で最も多いのは友人であり、友人の前では比較的ありのままの姿を見せることが多いと考えられることから、大人よりも先に子どもが友人の危機に気づく可能性が高いため、普段からこのようなコミュニケーションを取り、友人と友好的な関係を築くことは非常に重要である。ただし、理想的な対策であっても実現不可能であれば無意味なため、1人1人が今できることから探っていくことが重要である。

自殺のキーワードは孤立であり、自殺予防の第一歩は絆である。喫煙防止教育、食育、思春期教育などを通じて友人や家族や地域など様々な人とのつながりを築き、児童生徒が孤立を感じた時に、身近に相談できる場所があり相談できる大人がいる事を伝えていくことが最も重要である。

東先生の教育現場での経験談など、ここには書き切れなかった内容などもたくさんあり、非常に興味深いお話を聞かせて頂いた。何より児童生徒たちに対して熱意や情熱をもって接し、また児童生徒たちから信頼されていることも感じとれた。今回の講習を通じて、ゲートキーパーは自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応をすることで自殺を防ぐ役割を担っており、普段から地域の人との関係を築き、専門性の有無に関わらず、それぞれが今できる事から始めていくことが重要だと感じた。

地域保健

第231回 全国禁煙アドバイザー育成講習会報告

日時：平成30年2月18日（日）9:45～16:00

会場：沖縄小児保健センター ホール

とくりん薬局 城間店
真崎 しのぶ



平成30年2月18日、日本禁煙科学会主催による第231回全国禁煙アドバイザー育成講習会が開催、多職種参加の中で行われ、有意義な時間を過ごすことができました。2020年の東京オリンピック控え、世界の目が日本の禁煙対策に厳しく注がれていることを実感しつつ報告させていただきます。

講演① 禁煙支援基礎学習

九州大学 眞崎 義憲 氏

受動喫煙は完全に防がなければならない。基準値ゼロ・見えない煙も防がなければならない。サードHANDスモーク（三次喫煙）を防止するには禁煙はもちろんですが、喫煙した人の肺からは、有害物質が40分以上呼出し続けることから、たとえ屋外の喫煙でも屋内へ45分は戻れないことが解っています。今後はこの45分ルールが社会に定着することになるでしょう。

講演② 禁煙支援重点事項

京都大学 高橋 裕子 氏

＊試験は日本禁煙科学学会認定禁煙支援士試験兼ねる（希望者のみ）

受講者は全員合格でした。

＊禁煙に科学的に取り組む

○環境（望まない受動喫煙）吸えない吸わせない環境を作る

○教育：喫煙者及び吸わない人への防禁煙教育。

○禁煙支援：インターネット禁煙マラソン・日本禁煙科学会・禁煙健康ネット

＊新種のタバコ；煙は出なくても有害物質は同程度、数値が小さければ有害物質も小さいという誤解があります。加熱式・電子タバコも受動喫煙対策での規制対象です。

講演③ 女性の喫煙と禁煙

京都大学 高橋 裕子 氏

タバコの本数が少ない隠れ喫煙の女性、少なくともニコチン依存はあります。それにもかかわらず、本数が少ないと薬を使わない傾向にあることは問題です。一方で、薬を使っても効かない人もいます。薬の効果については、起床時からタバコを吸うまでの時間が延びているのであれば、効いていると判断できます。

禁煙の介入タイミングはやんわり、しつこく、じわじわ、との事。この響きが気に入っています。支える形での支援。生活習慣を変える。女性喫煙者の味方であろうとし気遣って、いつでも相談できる環境を整え、禁煙治療の啓発を行っていきたいです。

講演④ ミニコンサート（木管四重奏：フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット）

癒されました。

講演⑤ 赤ちゃんから始める生活習慣病の予防

沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学

臨床研修事業団 安次嶺 啓氏

乳幼児や子供を守るためにも強く禁煙を勧めなければならないという強い思いを感じました。家庭内の喫煙者に禁煙治療を！

講演⑥ 企業等における禁煙サポート

～調剤薬局薬剤師のかかわり

沖縄薬剤師会 笠原 大吾 氏

ニコチン依存症及び健康被害についての啓発・研修。禁煙学習の開催・禁煙治療の紹介。

講演⑦ 未成年への禁煙支援の現状と課題

～多職種で広げたい支援の輪

徳山クリニック 吉永 奈央子 氏

喫煙の低年齢化・未成年者の禁煙支援の話で「タバコは母親の匂い」という表現に禁煙支援だけでは解決できない社会の根深さ、問題の深刻さを垣間みた気がしました。薬物的治療だけではなく具体的に何ができるか模索中ですが、多職種で支援の輪を広げなければと思いました。

地域保健

平成29年度患者のための薬局ビジョン推進事業 薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業を終えて

昨年度に引き続き、“薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業”予算を獲得することができました。離島県である沖縄県として特徴的なテーマであることが採択の理由であったかどうかはさておき、今まで薬剤師の介入の無かった多くの離島で経験を積む機会を得られたことは県薬剤師会の会員として大変有意義なことであったと思っています。

さて、本年は昨年とは異なる3島で実施いたしました。八重山地方の離島である西表島（竹富町）、沖縄本島から比較的近い久米島（久米島町）、本島の東にある南大東島（南大東村）です。この3島の選択も苦慮いたしました。しかし、結果として今回も薬剤師による初回の介入が成功裡に終了した背景には、各地区の薬剤師会のご協力はもちろんのことですが、他職種の連携が昨年度より多く得られたことも大きいと思いました。そのため、実施した離島住民のためになったことは実施後のアンケートからも明らかです。

昨年度参加された薬剤師の皆様も、本年初めて参加された方々も、改めて地域における薬剤師のパワーを自覚されたと思います。これがこれから求められる“地域包括ケアシステム”における薬剤師の力であり役割であることを体験していただけたのではないかと思います。



地域保健委員会
委員長 笠原 大吾

います。

内容については、各地区会員の感想を掲載してありますので、写真と共にご覧ください。報告書も作成できましたら、お送りさせていただきます。

最後に、本事業の今後の展開ですが、1回のみの介入ではわからない、薬剤師等の介入の効果評価を行うことが重要であると考えます。そのためには、いろいろな方法で事業実施の資金の獲得を図る必要があります。また、離島が多いという沖縄県の特徴をふまえ、県のご理解・ご協力を得られるようにしていくことも必要であります。これらにより継続的に介入することが、離島へき地を含む地域での薬剤師の有用性を実証していくことになるのではないのでしょうか。県外への発信も視野に入れて取り組んでいくつもりですので、その節はご協力ご支援をお願いいたします。

末筆になりましたが、ご協力いただきました、各地区薬剤師会の皆様、関係各団体の皆様に深謝いたします。

月例相談会

第152回健康とおくすり相談会報告 ～アウトリーチ型健康づくり推進事業 in 久米島～

日時：平成29年12月3日（日）9:30～15:00

場所：久米島町ホテルドーム

担当：那覇地区薬剤師会



たいよう薬局
山城 晶

那覇から西へ100km、人口約8000人の離島、久米島で、去る12月3日（日）公立久米島病院、久米島町そして那覇地区薬剤師会のコラボ企画として、久米島健康プロジェクトブースが久米島産業まつり会場に設置されました。

久米島健康プロジェクトとは、島民に自身の健康状態を知ってもらい、健康に関する知識を得ることで健康意識の向上、生活習慣の改善を図り自己の健康管理ができる。さらに、疾病の早期発見、早期治療へとつなげ重症化を予防し健康寿命の延伸を目的としています。昨年までの健康ブースは、公立久米島病院、久米島町、たいよう薬局の総勢12人程で血圧、血糖値、体組成、骨密度の測定を行いました。

今回は那覇地区薬剤師会の支援を頂けるとの事で沖縄県薬剤師会の笠原先生、公立久米島病院、久米島町のスタッフで事前ミーティングを持ちました。その結果、お薬相談、認知症相談、A1c測定、動脈硬化測定、残薬回収、LHRシステム^{※1}推進活動、デジタルヘルスプロジェクト^{※2}推進活動の項目を追加し、沖縄県薬剤師会と那覇地区薬剤師会から11人の助っ人に参加して頂ける事になりました。

ブース運営側は、島内から約15人（医師、看護師、薬剤師、栄養士、行政）、島外から

12人（薬剤師）が参加。ブースに訪れた人数は約100人。その中で全ての検査項目をうけ、薬剤師会の問診票に回答して下さった方は86人でした。時間帯によっては待ち時間が出たものの、測定者の満足度は高く、「自分の健康状態が知れて良かった」「病院に行ってくれない家族を連れて来れた」「このイベントに参加する為に産業まつりに足を運んだ」「このようなイベントを継続し、島民に健康を意識させて欲しい」等、さまざまな島民の声が聞こえてきました。

今までの健康ブースとの大きな違いは、運営側の人数が増えた事。さらに、ポスターやチラシを作成し、ブースの内容や測定項目、お薬手帳の持参を事前に周知出来た事です。周知方法として、新聞折り込みの利用、関係施設や島の主要な場所へのポスター掲示、FMくめじまでのイベント告知、SNSを利用した情報発信を試みました。その中でも町民のイベントに対する期待や意識に大きな影響を与えたのは、地元の看護師と行政が町民への呼びかけに御尽力して下さいました事だと感じます。改めて人数確保、広告やイベント告知に対して予算を設ける事は大切で、成果に繋がるものだと認識しました。



残薬回収バックについても、病院、診療所、薬局、役場にチラシの掲載とお薬回収バックの配置又は気になる方への声掛けを協力して頂き、質問や不要な薬がある場合は、産業まつり会場又は、たいよう薬局への持参を促して頂きました。実際3人の方が会場にお薬を持参し、その中の2件は、次回の定期薬が処方される際の残薬調整に繋がりました。今回の残薬の主な内容は、期限切れの湿布、抗生剤、鎮痛薬、大量の漢方薬、コンプライアンス不良で残った定期薬等です。これらを基に患者様に対しての服用、使用法を説明する際の対策、服薬状況を改善できる様な用法/薬剤に調整が可能であるかの検討、不要な薬は予め処方時にカットして頂く等、適切な服薬で治療効果を出し、大量の残薬を出さない為のヒントであるという事が解りました。

今回新たに感じた点として、若い人達の興味を引き付ける工夫ができないのか？と言う事です。測定結果が正常範囲ぎりぎりセーフだとしても、今のままの生活習慣、食生活では5年後、10年後はどうなるのか？と心配になるケースも幾つか浮かび上がって来ました。自分が大丈夫だと分かりほっとしたと言う方の場合でも「これからも健康な状態でいる為の予防策が解り救われた思いがある」、との反応がある一方で、「直ぐにでも病院を受診しようと思う」等、健康に対しての認識に個人差が大きく分かれて出るのは若い層ではないかと言う印象を持ちました。

最後に重要なポイントとしては、このイベントは継続すべきかどうかという事です。参

加した薬剤師、関係者の感想を頂きました。「島民が健康を意識し、興味を持ってもらえる様に定期的なイベントとして継続する必要性を感じる」との意見がほとんどで、他にも「多職種連携で運営している事に大きな意味がある」「いろいろな測定器が有りとても良かったし、脳トレも島民に積極的に参加して頂き良かった」「病院を受診していない/定期健診を受けてない方が多い様に感じたが、その様な方々が今回のイベントを大変楽しみにして来て下さった」「30代～90代の幅広い方々に参加があり、とても反応が良く、未病の時に受診を勧めるキッカケになった」「久米島の皆さんの健康維持にお役に立て、必要とされている事が実感できた」と貴重な感想を頂きました。

「来年も継続して下さい」と多くの要望が出た事への達成感と、この島にはこの様なイベントが必要であるという事への責任感が私達関係者に芽生えたのではないかと感じられました。お忙しい中、久米島健康増進の為に大切な時間を費やして下さい下さった方々に心より感謝申し上げます。このイベントに関係された方々にとっても意味深い体験になっていれば幸いです。

- ※1 Lifelong Health Record：個人が生涯に記録するさまざまな健康情報を集積し、医療機関及び個人がインターネットで有効に活用できるようにするもの。
- ※2 久米島デジタルヘルスプロジェクト：久米島町の糖尿病の解析と解決のための有効な方策を開発するプロジェクト。



月例相談会

第153回健康とおくすり相談会報告 ～アウトリーチ型健康づくり推進事業 in 西表島～

日時：平成30年2月4日（日）12：00～16：30

場所：竹富町西表島“離島振興総合センター”

担当：八重山地区薬剤師会



みどり薬局
宮良 長博

平成30年2月4日、例年にない寒さの中、昨年に引き続き八重山地区薬剤師会の健康とおくすり相談会は離島開催となりました。今回の開催場所は西表島です。亜熱帯のジャングル、イリオモテヤマネコ、マングローブ、マリユドゥやカンピレーの滝、動植物など多くの自然があり、沖縄本島に次いで2番目に大きい島です。西表島は人口約2400人、大きく西部地区と東部地区に分かれますが、東部地区大原にて相談会を開催いたしました。

午前8時、石垣港離島ターミナル集合、沖縄県薬剤師会から亀谷浩昌会長、笠原常務理事、事務局の宮城さんと長嶺さん、沖縄県立八重山病院から2名、地区薬剤師会から6名、総勢12名。

和やかな雰囲気の中、高速船「にいぬふぁーぶし」に乗船しいざ出発、港を出て間もなく大きな波で何度か船は揺れましたが、北風の吹く中、船酔いすることもなく、無事に約45分かけて大原港に到着。竹富町手配のマイクロバスで移動し、会場は「離島振興総合センター」集落や港などから近くの便利な場所にありました。到着後は去年の反省も踏まえ、早めのミーティングを行い、測定機器の操作などを教わり、担当配置を決め、会場設営を行いました。

昼食を済ませ、準備万端。この寒さなので来場者の心配もありましたが、事前の呼びかけやポスター・チラシ配布等で開始前から徐々に増え始め、高齢者や中高年などで多くの来場者でいっぱいになりました。

保健師さんのミニ講座や簡単な運動で体をほぐし、残薬バッグ利用やお薬手帳の利用など、笠原大吾先生の講座を終え、体成分分析測定、骨密度測定、動脈硬化度測定、HbA1Cなど測定開始、今回HbA1Cは3台を準備事前の練習がうまくいきスムーズに測定も出来ました。一部動脈硬化測定で時間がかかり、帰りの乗船時間ギリギリまで行いましたが、全員の測定はできませんでした。

今回の反省点としては、測定結果をもとに相談に対応するスタッフの人数不足や受付終了時間を決めてなかったことです。次回に改善したいと思います。約50名の地域の方の参加があり、お薬手帳持参や、日頃から健康意識が高く真剣に取り組んでいました。沖縄県立八重山病院附属大原診療所の医師や看護師さんも参加され、今回の取り組みに感謝され、処方内容など意見交換する場面もありました。担当者の感想では、全体的にHbA1C、動脈硬化、骨密度など異常値はなかったとのこと。現在、治療や内服薬服用中の方も含め多くの方がご自身の健康に関心を持たれ、気をつけている感じがしました。

八重山地区薬剤師会では島内や離島での未開催の所がまだまだ多い状況です。県薬スタッフの参加に大変心強く感じました。ご指導・ご協力に感謝を申し上げます。今後も引き続きサポートをお願いしたいと思います。八重山地区薬剤師会は今後も地域と関わりながら八重山地域住民の健康サポートへ取り組んでいきたいと思っています。

■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○亀谷 浩昌	○笠原 大吾	○山城 専	○荒谷 敏巳	○石垣 綾子
○宮良 善朗	○新高 由香	○宮良 長博	○上地 美奈子	○伊波 綾乃

月例相談会

第154回健康とおくすり相談会報告 ～アウトリーチ型健康づくり推進事業 in 南大東島～

日時：平成30年2月11日（日）12:00～15:00

場所：南大東村保健センター

担当：那覇地区薬剤師会・中部地区薬剤師会



そよ風薬局 那覇店
太田井 寛

去る平成30年2月11日、南大東島保健センターにて健康とお薬相談会が開催され、相談員の一人として参加させていただきましたので報告致します。

今回の相談会は久米島や西表島に続くアウトリーチ型健康づくり推進事業の一環として行われ、総勢14名が参加しましたが、私を含めほとんどの方が南大東島へ訪れるのは初めてのことでした。

那覇から飛行機でおよそ1時間、午前11時に南大東空港に到着し、会場である保健センターへと向かいました。当日は健康フェアも同時開催されていたため、すでにたくさんの方で賑わっており、ウォークラリーや展示などを楽しまれていました。

これらの催しに負けないようしっかり対応しなければ、と一人で勝手に意気込んでいたのですが、全くの杞憂に終わりました。私は動脈硬化度測定を担当させていただいたのですが、何度やってもエラーの繰り返し。結局機器自体の不具合ということで測定はもう一台のみで行いましたが、それまでにかなりの時間もかかり、なおかつ結果も出ないという状況だったにも関わらず一言の文句さえ言われませんでした。それどころか、「何度でも測り直してくれていいよ」、「わざわざ来てくれてありがとう」と温かい言葉をかけていた

だき、島民の方々の優しさに感動しきりでした。沖縄県に属してはいますが、成り立ちや歴史を聞くと1900年頃に八丈島からの移民によって開拓されており、名字や方言、文化なども沖縄のそれとはまた異なる雰囲気でした。

最終的に、約30名が相談に訪れました。測定結果に関しては、年齢30～80代で、ほぼ全員が正常範囲内（平均値±2SD）でした。骨密度測定、体成分分析、HbA1c測定についても、担当された相談員の先生方にお話を伺ったところ概ねとても良好であった、とのことでした。絶海の孤島とも呼ばれる南大東島において、産業は農業と水産業が大部分を占めており、島でとれる野菜や魚介類を中心とした地産地消の食生活をされてきたこともその結果の一助になっているのではないかと推察されます。しかし、それでも病気やケガは起こりますし、他の離島同様、専門の医療機関を受診するためには本島などへ通う必要がありますが、その負担は大変大きいものと思われま

す。今回のような健康チェックやお薬の相談が定期的かつ継続的に行われ、健康に対する意識向上や適切な服薬につなげていくことで、その負担を少しでも軽減していくことがとても重要であると再認識しました。

健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|
| ○亀谷 浩昌 | ○江夏 京子 | ○村田 美智子 | ○笠原 大吾 | ○川満 直紀 |
| ○仲座 方利 | ○熊王 清華 | ○松本 薫之 | ○松本 洋江 | ○狩俣 イソ |
| ○林 弘子 | ○翁長 詩織 | ○太田井 寛 | | |

アウトリーチ型 健康づくり推進事業 健康とおくすり相談会 スナップ写真

<西表島>



<南大東島>



学薬部会

平成29年度日本薬剤師会学校薬剤師部会 くすり教育研修会報告

日時：平成30年2月25日（日）13:30～16:55

会場：大阪府薬剤師会館 大ホール

平成30年2月25日に大阪府薬剤師会館3階大ホールにて行われた、平成29年度日本薬剤師会くすり教育研修会に参加しました。

主テーマは「学校におけるくすり教育の現状と課題」として保健体育教諭、保健主事、養護教諭、学校薬剤師など多くの職種が集まり会場は満員でした。

基調講演として文部科学省 初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官の小出彰宏氏に講演いただきました。社会情勢の変化により、医療行政の視点から「セルフメディケーションの推進」、教育行政の視点から「保健教育で育てたい子供・国民像」の両者が医薬品の教育と一致し、健やかな体を育む教育の在り方について審議され、子供たちの発達段階を踏まえて保健の体系化が図られました。さらに平成29年3月告示された中学校学習指導要領には保健分野に関して3学年間で48単位時間程度とされ、がんについても取り扱うこととなりました。幼稚園、小学校と教育を重ねつつ、中学校では「医薬品を正しく使用することを掲げ、主作用と副作用や使用法を正しく理解させるよう」と説明あり、高等学校では、「医薬品は有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には医薬品を正しく使用することが有効であること」など要領解説に記されています。しかし、医薬品教育の問題点として、①保健体育の授業を行う保健体育課教諭が研修会に参加する機会が少ない。②保健体育課教諭と学校薬剤師との接点が少ない。ということがあげられ、養護教諭が接点をつなぐキーパーソンになると考えているようです。「栄養ドリンクをのんでこな



学校薬剤師部会
新垣 紀子

かったら、元気が出ないと思い込む」「親から、これ（人間の脳の機能や能力を高めることができるサプリや薬：通称スマートドラッグ）を飲むと頭がよくなると言われ飲んでい」など間違った認識のなか正しい情報をしっかり身につけるためにも、学校薬剤師との連携を期待しているようです。医薬品の教育改訂版を学校に配布したいと考えているので、依頼があったら是非引き受けていただきたいとお話でした。

事例報告としては3報告ありました。一つ目の事例は、大阪市の小学校全校で薬の正しい使い方講座を開催するにあたり、どのように各会へ説明し理解を得られるようになったかなど経緯や開催した実際の授業内容の工夫点なども紹介されました。二つ目の事例は、東大阪市の小学校で行われたおくすり教室について、保健所・薬剤師会・学校薬剤師との連携をしながら取り組んでいる状況を報告。三つ目の事例は、くすり教育へのサポートを見直すということで、「くすりは正しく使ってこそくすり！」のパンフレットをどのように活用しているか紹介いただきました。

学校薬剤師部会では、3月初旬に学校薬剤師の皆様へ「くすりは正しく使ってこそくすり！」のパンフレットを送付いたしました。このパンフレットはダウンロードも可能です。ぜひ、ご活用ください。その他、必要な資料などあれば県薬学校薬剤師部会へご連絡ください。

青年部会

青年部会主催 在沖米軍基地内海軍病院見学ツアー報告

見学施設：薬局、病棟

日 時：平成30年2月12日（月・祝）10:00～11:30

参加人数：18名（2組に分かれて見学）

先日、米軍基地内海軍病院見学ツアーに参加しました。薬局と病棟、2か所の見学を行ったのですが、まずは薬局についての感想を書きたいと思います。

薬局内で最初に気になったのは薬の箱のデザインの違いです。日本では調剤ミスを減らすため、見た目で見えがわかるようにヒートや箱がカラフルになっていますが、アメリカはピッキング後にバーコードを通して監査を行うためか、薬品の箱はシンプルで白地に薬の名前が書いてあるだけのものが多い印象を受けました。錠剤のピッキングは基本的なも

会営薬局うえはら
中曽根 鳴香



のは機械が行い、オレンジ色のカメラフィルムケースのような容器に自動的に薬剤が充填され、用法用量などが書かれたシールが貼られて出てきます。監査はラベルのバーコードを通し、薬剤師がパソコンに表示される識別コードをチェックし、容器の大まかな重さでどれぐらいの個数入っているのか確認していました。容器の中には1種類の薬剤のみ入っ



ており、老人が多く来るような施設であれば一つの容器に一回分の薬を入れるところもあるけれど、ここの施設ではそういったことは行っていないとのことでした。

薬局で一番驚いたのは、服薬指導を薬剤師とテクニシャンの両名が行うことができ、患者さんは事前にどちらから投薬されるか選ぶことができることでした。ラベルにはどういう症状の人がこの薬を飲むのか、副作用の情報なども記入されてあるため、「ラベルにすべて書かれているから、ラベルの字なら誰でも読むことができるでしょう？」と海軍病院の薬剤師に説明され、とても合理的な考え方と思いました。質問などがある場合はテクニシャンではなく、薬剤師が対応しているとのことでした。

病棟で一番印象に残ったものは、タッチパネル式の払い出し機器です。指紋認証で払い出し者の記録が残され、タッチパネルで患者のカルテを選ぶことで必要な薬のみが取り出

せるようになっていました。海軍病院の見学を通して実感したのですが、不正使用や調剤ミスを防ぐために、人の能力のみに頼らず様々な機械が導入されていることも合理的に感じました。

そのほかに印象に残ったことは、アメリカの本国ではインスリンと注射用の針は処方箋なしで入手できるという話や、病院の支払いは軍人の場合、給料から引き落としで行われ病院で直接お金を支払わないため会計が混雑していないことなどでした。

今回、軍基地内海軍病院の見学に参加して、調剤の工程やテクニシャンの業務などアメリカの調剤現場を学ぶことができ非常に有意義でした。しかし、英語が苦手なため積極的に質問ができず、薬歴はどうつけているのか、テクニシャンも薬歴を記載するのかなどの疑問が残ったので、また別の機会にアメリカの薬剤師業務について学ぶことができればと思います。



女性薬部会

平成29年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告

日時：平成30年2月18日（日）9:55～16:05

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<プログラム>

○開会の挨拶

司会進行 女性薬剤師部会副部会長 与儀 和子

女性薬剤師部会会長 村田美智子

○不安障害『不安神経症』・パニック障害 精神神経用薬の使い方

あかりクリニック院長 中村 明文

○脊椎管狭窄症と椎間板ヘルニア 痛みの治療

ロコモクリニック南城院長 上原 敏則

○ランチョンセミナー

“イフェクサSR-カプセル”・“ビビアント錠”に関する情報提供 ファイザー株式会社

○消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍） ピロリ菌除菌を含む

那覇市立病院消化器内科部長 仲地 紀哉

○婦人科がん 卵巣がん・子宮体がん・子宮頸がん

琉球大学医学部附属病院産科婦人科講師 久高 亘

○閉会の挨拶

女性薬剤師部会副部会長 与儀 和子

一般社団法人日本女性薬剤師会が主宰する平成29年度薬剤師継続学習通信教育講座のスクーリングを去る2月18日（日）、上記プログラムで開催した。

この講座は通年制で展開され、年間8冊のテキスト学習後設問へ回答し年1回のスクーリングを受講することで、15単位（G16）が取得できるシステムになっている。

テキストは毎年新しく執筆、編集されているため、内容が常に新しい情報となっているのも特色である。1冊につき1つのメインテーマが取り上げられ、医療（薬物を含め医師が担当）、薬学、看護、栄養など、ガイドラインを含めた今日的な周辺情報も提供してくれる密度の濃いテキストになっている。加えて、薬物動態などの基本的な知識やセルフメディケーションのような最近の話題も含めて、毎年、生涯教育に欠かせない内容となっている。

女性薬剤師部会

部会長 村田 美智子

おきなわ薬剤師会報の平成30年1・2月号に同封した案内文書で内容等をすでにご存じとは思いますが、平成30年度は昨年からOTC化をめぐり話題になっている“ピル”もとりにあげている。3月末で一応の締め切りではあったが、まだ間に合うのでぜひ受講をお勧めしたい。男性会員も含め県薬剤師会まで連絡していただけたらありがたい。

平成29年度のスクーリングだが、通信教育受講者を含め47人の参加があった。プログラムのように70分の4講義とランチョンセミナーを併せて、10時から16時までの長丁場の講義であったが、どの講義も第一線の臨床に即した興味深い話であった。

詳細は以下の4人の先生方の報告にお任せしたい。

＜不安障害『不安神経症』・

パニック障害 精神神経用薬の使い方＞

あかみち薬局 筋 初子

不安障害（不安神経症）・パニック障害
精神神経用薬の使い方と題して、あかりクリニックの中村昭文院長の講義についてまとめます。

うつ・うつ状態は、強いこだわりやストレス、及び、恐怖感や不安等が扁桃体に過剰な影響をあたえることによるもので、心因性疾患に分類されます。

心因性疾患とは、脳の機能が正常なのにもかかわらず、「こころ」に大きな影響を与える体験がきっかけとなり、気分や感情、思考行動などが、以前の自分のものから脱線してしまっている状態にある病気のことを指します。原因となった体験がなくなれば反応は消失するとの事でした。

不安神経症にはいくつかの病態があり、社会恐怖/社交不安障害、パニック障害、強迫性障害などがあげられます。今回はパニック障害についてより詳しく説明されていました。

パニック障害とは、突如として理由なく生じる強い不安発作（パニック発作）を繰り返します。パニック発作では動悸、発汗、震え、呼吸困難、現実感の消失、恐怖感といった症状が急に起こり、10分程度で激しい症状は治まります。パニック発作を繰り返すことで、次にまた発作が生じるのではないかという不安が強くなり（予期不安）、発作が生じたときに逃げることができないような状況（会議、公共の乗り物、雑踏など）を避けるようになります。（広場恐怖）。パニック障害は100人に1人はかかると言われており、誰でもかかる恐れのある病気です。実際にはパニック発作で死ぬことはなく、10分程度で激しい症状は治まります。

パニック障害の薬物治療は、主に選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）とベンゾジアゼピン系抗不安薬で開始し、パニック発作をおさえることを目指します。SSRIは少量

から開始し、除々に増量していくこともあり、十分な効果が現れるまでに2～4週間かかるため、効果が速く現れるベンゾジアゼピン系抗不安薬と一緒に服用し、パニック発作が起こらないようにします。ベンゾジアゼピン系抗不安薬は「依存症になる」といわれることがあります。医師の指示をきちんと守って服用すれば安全です。

SSRIの飲み始めに、吐き気や下痢などの消火器症状が現れることがありますが、多くの場合は1～2週間程度で自然に慣れていきます。また、飲み始めや増量時に、不安やイライラ・ソワソワなどの症状が現れることがありますが、服薬量を加減することでほとんどの場合は対応できます。

SSRIは、効果が得られる前に副作用が生じるため、開始して間もない時期には、服薬継続のための薬剤師による指導がとても大切だと感じました。また、服薬により症状が改善したからといって、自己判断で中断してしまうと、中断症候群（頭痛、吐き気、イライラ、不眠など）が現れることがあります。服薬日記などを利用し、コンプライアンスの維持のために、我々薬剤師による服薬指導はとても必要とされていると感じました。

＜脊椎管狭窄症と椎間板ヘルニア

痛みの治療＞

ハーブ薬局 とみしろ店 玉澤 真理子

整形外科受診の理由の第一位は「腰痛」、その次に、膝、肩と続くとの事。今回はその腰痛の代表的な疾患の椎間板ヘルニアと脊椎管狭窄症について、ロコモクリニック南城の上原敏則先生にご講義して頂いた内容を報告致します。

痛みの分類

①神経因性疼痛（知覚神経由来）

- ・神経受容性疼痛（打撲・骨折・捻挫・関節リウマチ他）
- ・神経障害性疼痛（椎間板ヘルニア・脊柱管

狭窄症・带状疱疹・神経炎・抑制系の抑制)
②心因性疼痛（心の痛み、不安ストレス）

腰椎椎間板ヘルニア

椎間板の中の髄核が線維輪を突き破って脱出した状態。座った状態から立ち上がる時に椎間板にかなりの力が入る。立つことがヘルニアの原因。男性に多い。

〈症状〉痛みや麻痺

〈診断〉臨床データが有力な診断ツール。MRI検査と合わせて行う。

神経根圧迫タイプと馬尾圧迫タイプがある。

〈治療〉保存療法が第一選択（95%は治る）

術後1年半と比較して、両者の経過に変わらないとも言われている。

ヘルニアが吸収されて小さくなり、自然に消退するものもある。

安静、薬物療法（NSAID、筋弛緩剤、消炎鎮痛剤、弱オピオイド、VB12、ノイロトロピン、リリカ）

神経ブロック、認知行動療法。
手術としては内視鏡の手術が多く行われている。

腰部脊柱管狭窄症

脊柱管を形成しとりまいている骨、軟部組織が厚くなり馬尾神経や神経根を圧迫することによって生じる病状。基本的に加齢現象（年を取って足腰が弱くなった状態）。

〈症状〉腰下肢痛・歩行困難・下肢のしびれ、筋力低下・尿漏れ。特徴的なのは、間欠性跛行。血管性間欠性跛行との鑑別が大事。

〈診断〉臨床症状、レントゲン、MRI、CT、脊髓造影。

〈治療〉根本的な治療は手術療法。

手術が困難な場合、対症療法として薬物療法（NSAID、筋弛緩剤、オパルモン、VB12、弱オピオイド、ガバペンチン、抗うつ薬、牛車腎気丸、八味丸、リリカ、トラムセット他）物理療法、運動療法、認知行動療法。

痛みと脳

どんな痛みも「脳で感じている」。特に腰痛などの慢性的な痛みは体だけの問題ではなく、「脳」へのアプローチが欠かせないとのことで、上記の2つの疾患の治療方法にも「認知行動療法」が挙げられている。同じ刺激でも痛みを感じる場合と感じない場合がある。楽しいことを考えると痛みは軽くなる。痛みがあってもやれることはたくさんあるという方向へ変えていく療法も大切。

骨粗鬆症との関係

骨粗鬆症に罹患している高齢者は腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアなど脊椎疾患を少なからず合併していることがあるらしく、女性は特に骨粗鬆症から腰部脊柱管狭窄症になることが多い為、骨粗鬆症の治療をきちんと行うことも予防の1つ。

腰痛に別の疾患が隠れていることも…。

腰痛が悪化し結局、乳がんの転移だったこともある。また、ゴルフの後、下肢のしびれ、胸痛がおこり検査の結果大動脈瘤が見つかり手術に至った例や、化膿性脊髄炎や多発性骨髄炎であった例もあるとのこと。痛みとは、体に何らかの異常が起こっているというアラームサイン（注意信号）であるから、痛みにより危険を察知し、危険な状態を回避することができる。これを無視すると死に至ることもあるため、安易に放置してはならない。

今回の先生の講義では、たくさんの症例やたくさんのレントゲン、MRIの画像を見せていただき、より理解しやすいものとなりました。

私たち薬剤師は薬剤のことだけでなく、あらゆる疾患についてもしっかり学ぶ必要があると改めて感じました。

＜消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）＞

ピロリ菌除菌を含む＞

あいランド薬局 豊見城中央病院前店 藤田 良子
那覇市立病院消化器内科部長の仲地紀哉先生より講義頂いたので主な内容を報告させていただきます。

まず初めに、基本となる消化性潰瘍の成因についての説明がありました。

「防御因子」と「攻撃因子」のバランスが崩れると潰瘍が発生します。「防御因子」とは血流・胃粘液・PGなどであり、「攻撃因子」とは胃酸・ペプシンなど胃粘膜を傷害するものです。「防御因子」と「攻撃因子」のバランスを崩す要因としてヘリコバクターピロリ菌やNSAIDs、ストレス、嗜好品等があり今回の講義では主にヘリコバクターピロリ菌とNSAIDsについて勉強しました。

①ヘリコバクターピロリ菌とは

- ・グラム陰性桿菌
- ・ウレアーゼ活性を有し胃中の尿素からアンモニアを作り、胃酸を中和して生息する。
- ・感染経路は主に幼児期に食べ物を介して感染する垂直感染で、他に水系感染や保育園などの施設内感染がある。成人になってからの感染はまれという。

②ヘリコバクターピロリ菌の主な検査と診断について

＜内視鏡を使用する＞

- ・ピロリ菌によるウレアーゼ活性を測定する迅速ウレアーゼ検査
- ・組織を採取し染色する検鏡法
- ・採取組織を培養する培養法

＜内視鏡を使用しない＞

- ・抗体検査
- ・尿素呼気試験
- ・便中抗原測定

内服している薬剤の影響を受けやすいが除菌の判定には、尿素呼気試験が適しているそうです。

③治療法について（除菌治療の適応となる胃潰瘍・十二指腸潰瘍・萎縮性胃炎がある場合）

一次除菌（PPI+AMPC+CAM×1週間）

⇒除菌率約70%

CAM耐性菌の増加が問題となっています。

二次除菌（PPI+AMPC+MNZ×1週間）

⇒除菌率約90%

三次除菌（PPI+AMPC+シタフロキサシン×1週間）⇒保険適応外

＜治療上の注意点として＞

下痢や軟便、味覚異常、アレルギーなどに注意する。喫煙は除菌率低下につながる所以禁煙が望ましい。MNZは飲酒により腹部疼痛、嘔吐、潮紅などをおこすため禁酒が必要です。

ヘリコバクターピロリ菌感染による消化性潰瘍の発生率は低いものの、胃潰瘍の70～80%、十二指腸潰瘍の90%以上がヘリコバクターピロリ菌に感染していると考えられています。ピロリ菌除菌治療は薬剤耐性による除菌率の低下が問題となるが胃酸をコントロールすることで除菌率が上昇することが期待できることを改めて学びました。

④ NSAIDsについて

消化性潰瘍の原因となるヘリコバクターピロリ菌感染は衛生環境が良くなっている日本では減少傾向にあります。人口に占める高齢者の割合が年々高くなってきているため、消化性潰瘍の原因としてヘリコバクターピロリ菌以上にNSAIDs/LDAの対策が重要になってきています。

高齢者増加に伴い、NSAIDs起因性出血性潰瘍の患者数も増加の傾向にあり、病変止血後もNSAIDs再開を必要とする割合は増えています。LDA（低用量アスピリン）は脳・心臓疾患治療に広く使用されているためいかにして出血のリスクを減らすかが課題となっています。

今回の講義では、ピロリ菌除菌療法でよく起こる副作用やその対処法、服薬時の注意点や除菌成功後に得られるメリット、デメリットを学習でき、また高齢者の処方によく見られるNSAIDs/LDAが原因の消化性潰瘍が今後増加することを学ぶことができました。

今後の服薬指導時に併用薬の確認・自覚症状有無・薬の飲み忘れなど注意してチェックしていくことが重要であると実感しました。

＜婦人科がん

（**卵巣がん・子宮体がん・子宮頸がん**）＞

共創未来沖縄薬品株式会社 山城 聖子
琉球大学附属病院産科婦人科の久高亘先生に、婦人科がん（子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん）についてご教授いただいたので報告致します。

1. 子宮頸がん

子宮頸がんは、扁平上皮がん80%・腺がん20%に分かれ、HPV（Human papilloma virus）感染が原因で、女性生殖器悪性腫瘍の中で最多の約50%を占める。年間15,000例罹患、年間3,000～4,000例死亡、女性癌死亡原因の9～10位。日本は先進国の中では高い罹患、特に沖縄は全国平均の1.5倍に上る。近年20～30代の若年層に急増している。

治療方法

主治療である手術・放射線療法と、補助療法である化学療法に分かれ、進行期によって異なる。また子宮摘出術を施行すると妊孕性が失われるため、妊娠希望の有無によって適切な選択が必要である。手術と放射線治療成績は同等。

アメリカ国立がん研究所（NCL）が、子宮頸癌に対する化学療法＋放射線療法は生存率を改善すると発表。

手術不能例・難治例に対する治療方法

腫瘍を小さくしてから（術前化学療法：NAC）手術又は放射線治療する方法と、化学療法放射線療法同時併用（CCRT）する方法が

ある。

HPVワクチンの有用性

これまでHPVワクチンの有用性はHPV感染率の低下や尖形コンジローマ・前がん病変の発症率低下でのみ示されていたが、HPV関連浸潤がんの発症率低下が証明された。

2. 子宮体がん

子宮体部内膜より発生した悪性上皮性腫瘍で、組織型は類内膜がんが最も多く、近年増加傾向である。閉経後の50～60代で好発するが、近年閉経前の発症も増加している。エストロゲンが原因の1つとして挙げられている。危険因子として、肥満、未産婦、不妊、糖尿病、高血圧また、高エストロゲン状態の持続（無排卵周期症、持続性無月経、卵胞ホルモン投与）、乳がんの既往（タモキシフェン内服）。

代表的な自覚症状は不正性器出血（閉経後性器出血含む）で、約8～9割に認められる。その他帯下（おりもの）増量、子宮留血症、子宮留膿症などがある。比較的症状が出やすく、早期で見つかることが多い。

治療方法

手術、放射線療法、化学療法があるが手術療法が基本で、その他は補助療法として存在。妊孕性温存療法（高用量黄体ホルモン療法）は、がん病変が子宮内膜に限局し、高分化型（G1）類内膜がんである、子宮温存を強く希望する症例に限る。

3. 卵巣がん

発生部位によって分類され、上皮性腫瘍（最も発生頻度が高い）、性索間質性腫瘍、胚細胞腫瘍等、それぞれ多彩な組織型に細分される。年間約9,000例が罹患し、死亡例は半数の4,500例と婦人科がんの中で最多、近年増加傾向にある（40年前の4倍）。閉経後の50代以降で好発するが、胚細胞腫瘍は20～30代の若年者に好発する。危険因子として、生殖・内分泌環境：妊娠・分娩や経口避妊薬服用はリスクを下げるといわれる（排卵回数減少と

の関連が指摘)、遺伝的要因(5~10%は遺伝性あるいは家族性に発生している)、環境因子(未だ明確な根拠はない)。婦人科悪性腫瘍の中で最も予後が悪い。

症状は腫瘍が大きくなるまで無症状のことが多いが、腹部膨満感、圧迫症状(尿意頻数、便秘、腹痛、下腹部痛)、月経異常、不正性器出血等がある。

治療方法

初回手術で進行期決定、病変の可及的摘出。術後補助化学療法(標準的化学療法:タキサン製剤とプラチナ製剤併用療法)ベバシズマブ併用により無増悪生存期間が延長。

卵巣悪性胚細胞腫瘍:若年者では妊孕性温存手術が標準治療で、術後速やかに化学療法を開始

4. 遺伝性乳癌・卵巣癌症候群(HBOC)

HBOCは、BRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子の生殖細胞系列の病的変異が原因で、乳癌や卵巣癌を高いリスクで発症する遺伝性腫瘍の1つ。

特徴

- ・若年で乳がんを発症する。
- ・トリプルネガティブ(エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体を持っていないくてHER2発現がないタイプ)の乳がんを発症する。
- ・両方の乳房にがんを発症する。
- ・片方の乳房に複数回がんを発症する。
- ・乳がんと卵巣がん(卵管がん、腹膜がんを含む)の両方を発症する。
- ・男性で乳がんを発症する。
- ・家系内にすい臓がんや前立腺がんになった人がいる。
- ・家系内に乳がんや卵巣がんになった人がいる。

乳がんにかかる可能性について

一般の方(日本人)1倍・9%(1/12人)に対して、乳がんの家族歴の見られる方2~4倍・18~36%、遺伝性乳がん卵巣がんの方6~12倍・41~90%と非常に高い確率となっている。

今回の講義を受けて、女性として子宮がん検診の必要性、少量の出血や下腹部痛等何らかの自覚症状があれば、すぐに相談できる「かかりつけ婦人科医」を持つことが重要だということを改めて感じました。

お知らせ

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!

年々、地区(支部)、部会の活動が活発化しております。

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します!

女性薬部会

平成29年度女性薬剤師部会 第3回「妊娠・授乳とくすり」研修会報告

日時：平成30年1月21日（日）10:00～12:10

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

講師：こくら虹薬局 長嶺奈津子先生

我々は薬剤師の模範メンバー 3薬局数名で参加した。本研修の内容とインターネットサイトの紹介、加えて研修後、本文が完成するまでにアセトアミノフェンのある研究結果がオンライン版に掲載されたので紹介します。最後に（これって）今年の初仕事？聞いて（読んで）下さい。

妊婦への薬の投与

妊婦が薬を服用する場合は妊娠の週数が大事とのことです。受精後2週間（妊娠3週と6日）までの外的因子（服薬等）は流産の理由にはなるが、胎児奇形の原因にならない。ALL or NONEの法則が適応されます。受精後3週間（妊娠4週0日）より妊娠4カ月（妊娠15週0日）までは器官形成期のため催奇性が問題となります。それ以降の妊娠5カ月（16週0日）から分娩（40週0日）までは機能的異常・胎児毒性を心配することになります。妊婦への薬の投与の際には、「どうしても薬が必要か？」、薬を投与しなくても軽快する疾患の場合もあるかもしれません。「その薬を使わなければどうなる？」、薬を使わないことで母体が重症化したら、かえって胎児に影響を及ぼすことがあります。「似た作用でより安全な薬はないか？」、使うときはできるだけ内服回数が減るようにできるだけ頓用で、似た作用のものならばより古い薬のほうがデータが蓄積されてより安全と考えられるものが多いです。（クラリスロマイシンよりアジスロマイシンの毒性が低い）



みのり薬局

知念 正人

授乳婦への薬の投与

ほとんどの薬は母乳に移行するといわれています。感覚的に少しでも赤ちゃんに薬が行くのは「イヤ！」という母親にとっては「薬を飲まない」「哺乳を止めて人工乳にする」という選択肢もあるかもしれません。しかし、実際はほとんどの薬が授乳中に内服しても赤ちゃんへの影響は少ないといわれています。

授乳中は妊娠中と違って赤ちゃんは、薬を体外に排泄できるという点で大きく違います。乳児の薬剤血中濃度は体に入ってきた量（母乳にどれだけの濃度で入ったか・どれだけの量の母乳を飲んだか）と体から出ていく量（肝代謝・解毒）（腎代謝・排泄）で決定されます。そのため乳児の血中濃度はより低くなり影響が少ないのです。

ここで母乳についての知識として以下のことがあげられます。まず、母乳が出続けるためには飲ませ続けることが大事です。乳児が乳頭を吸うことで下垂体からオキシトシンが産生されます。乳児が母乳を飲まない刺激がないのでオキシトシンの産生量が減り、乳腺内の内圧が上がるので、乳腺のプロラクチン受容体も減って母乳が産生されにくくなります。ですからほんの数日授乳を中止することで、母乳が出なくなることがあります。母乳育児には数々のメリットがあることが分かっています。授乳婦がなるべく授乳中止しなくて良いように薬の情報収集・データ

の解析力を身に着けたいものです。
 以上が、今回の研修報告です。
 次に、関連した情報を提供します。

インターネットサイト

どんぐり工房が「ProファーマCH」に提供するダイナミック服薬指導の中で、第18回のタイトルとして「授乳中にこんな薬のんで大丈夫なの？」があります。内容としてアモキシシリンの添付文書よりMP比（薬物の母乳中濃度/母体薬物血漿中濃度）を求め、RID（乳児相対摂取量）計算しています。

結果はRID (%) = 0.3% 安全域である10%未満なので、安全となっています。

薬品によっては添付文書よりMP比が計算できない場合があるが、メーカーに問い合わせで計算するのが望ましいが、データがない場合はMP比を5（これ以下であれば安全と考えられている数値）にしてRIDを求めてもよいと解説しています。

「European Psychiatry」1月10日オンライン版

妊娠初期に解熱鎮痛薬のアセトアミノフェンを使用すると、生まれてくる子どもの言語発達が遅れる可能性があることを示唆する研究結果が「European Psychiatry」1月10日オンライン版に掲載された。ただ、こうした関連は女兒のみに認められ、男児では母親が妊娠中に同薬を使用しても言語発達遅滞リスクの上昇は認められなかったという。（中略）

解析の結果、妊娠8～13週までにアセトアミノフェンを使用した母親から生まれた女兒では、2歳6カ月時の言語発達遅滞リスクが高かった。特に妊娠8～13週までに6錠以上のアセトアミノフェンを使用したと報告した母親から生まれた女兒では、同薬を使用しなかった母親から生まれた女兒と比べて同リスクは5.9倍と高かった。

この研究結果について、専門家らはアセトアミノフェンが子どもの言語発達遅滞の原因

になることを示したのではない点を強調しながらも、「妊娠中のアセトアミノフェンの使用は、どうしても必要な場合にとどめておくべき」との見解を示している。

今回の研究には関与していない米カリフォルニア大学サンディエゴ校教授のChristina Chambers氏によると、アセトアミノフェンは長年にわたって完全に安全な薬だと考えられてきたため、妊婦のほぼ2人に1人はアセトアミノフェンを使用しているのが実態だという。

妊娠中に痛みの緩和や解熱のために使用できる薬剤の選択肢は限られており、アセトアミノフェンに代わる薬剤がないことも、多くの妊婦がアセトアミノフェンに頼らざるを得ない要因の一つだ。

ただし、Chambers氏は今回の研究について(1) アセトアミノフェンの市販薬を使用した時期や頻度のデータは女性の記憶に基づいているため信頼性が低い(2) アセトアミノフェンを必要とした女性にはもともと重症あるいは慢性的な疾患があった可能性があるが、その影響については考慮されていない—といった限界があることを指摘し、「結果は慎重に解釈すべきだ」と強調している。

一方、今回の研究を率いたSwan氏は「妊娠中のアセトアミノフェン使用に関連したリスクのエビデンスは増えてきている」と説明。一例として、妊娠中に1カ月以上にわたって同薬を使用することで出生児のADHDリスクが上昇するとの報告もあると紹介している。その上で、同氏は「妊娠中にアセトアミノフェンを使用する場合は医師に相談し、医学的に妥当とされる場合に限り服用することが重要だ」と助言している。追って報告される研究結果に注意が必要かもしれない。

みのり薬局で

以前問い合わせで“普段より喘鳴が強いと受診し、アドエアを処方している患者が妊婦となって外来で来ているが、(アドエア)使っただいじょうぶなのか？”との内容であった。

妊婦への吸入ステロイド薬・ β 刺激薬配合剤の使用に関する問い合わせがあれば、今回の研修で学んだブデソニド配合吸入剤をすすめることにしよう。

今年仕事始めの1月4日

出勤のため玄関をでて階段を下りる途中で携帯電話が鳴った、近医（院内処方）の医師からだ“休みなのに申し訳ない。5か月の妊婦でエビを食べて全身全身に発疹、水疱もある。薬だがプレドニゾロン 抗ヒスタミン剤

は大丈夫か？ どうだろう” “プレドニゾロンはSLEの患者の妊娠時にも継続服用必要なので大丈夫です。よく起こすのですか？ “電話の向こうより” 初めてです。その日は調子が悪かったです。“患者は職員だった。” 先生職員なら少なめに4錠くらいで始めたらどうでしょう。寝付きにくくなるかもと、伝えてください。“ “わかったありがとう。軟膏も一緒に出しておくわ”

これが初仕事？ 今年はどうな年になるのやら…

卸部会

平成29年度日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム報告

日時：平成30年2月16日（金） 10:30～16:30

会場：大阪コロナホテル

日本医薬品卸勤務
薬剤師会沖縄県支部
(株)琉薬 吉富 弓江



平成30年2月16日に大阪で開催されたフォーラムに参加しましたので、ご報告致します。

日本医薬品卸勤務薬剤師会の師尾会長は冒頭の挨拶で、今回の講演のテーマである「ドーピング」は他人事ではなく、薬剤師が関わる重要な事項である。また、会員発表の3題は卸にとって重要で、ディスカッションでは成功例なども聞けるかもしれないので積極的に話し合ってほしい。さらに、既に公表されている「流通改善ガイドライン」と「薬剤師行動規範」にも触れ、薬剤師は確固たる信念を持って行動することが求められると話されました。

【講演】

観るスポーツから支えるスポーツへ

～アンチ・ドーピングのための理解～

北海道大学病院薬剤部

副薬剤部長 笠師 久美子

ドーピング違反（アンチ・ドーピング規制違反）とは次の10項目に該当する場合をいい、⑤⑩は制裁2年、その他は制裁4年となる。制裁期間中は自主トレは可能だが大会への参加はできない。

- ①生体からの検体に禁止物質が存在する
- ②禁止物質・方法を使用する、使用を企てる
- ③検体採取を拒否、回避する
- ④ドーピングコントロールを妨害または妨害しようとする

- ⑤居場所情報関連義務違反
- ⑥禁止物質及び禁止方法を所持する
- ⑦禁止物質・方法の不法取引を実行する
- ⑧競技者に対して禁止物質又は禁止方法を投与・使用する
- ⑨規則違反を援助、支援、隠し、企てる
- ⑩規則違反者をサポートスタッフとして雇う等で関係を持つ

禁止物質には様々な医薬品成分も含まれており、常に更新されているため最新の情報を入手しておく必要がある。また、一年中使用禁止の物質、競技会検査で禁止される物質、特定競技において禁止される物質など条件も様々である。的を狙う競技では、手の震えを抑える作用のあるβ遮断薬が禁止物質となっている。一年中使用禁止の物質にはインスリンが含まれるため、1型糖尿病の選手は事前申請が必要となる。

平成28年の国内違反事例における禁止物質では蛋白同化薬が最も多く、次いで興奮薬、利尿薬と続く。薬剤等の入手先としては不明が最も多く、処方、ネット・通販が続く。処方では、選手が医師にアスリートであることを伝えていない、ネット・通販ではOTCの成分をよく調べていないことで起きている。

禁止薬物の相談を受けた際には、禁止薬物の半減期など考慮して「競技会の〇〇日前ですから大丈夫です」というアドバイスは、代謝は人それぞれ異なるので危険であることを知っておいてほしい。

Global DRO (<https://www.globaldro.com/JP/search>) では、禁止表国際基準を競技に応じて検索することができる。また、北海道薬剤師会・岩手県薬剤師会では選手向けの冊子「教えてください アンチ・ドーピングのこと」を作成しており、ダウンロード(<http://www.doyaku.or.jp/doping/data.html>) できるので、利用していただきたい。

アンチ・ドーピング活動は決して特別なものではなく、

- ・スポーツと薬について少しだけ考えてほしい

- ・普段の生活の中で少しだけ薬について知ってほしい
- ・スポーツ選手が心身共に健康に競技を行うために必要なもの
- ・スポーツ・ルールの1つ
- ・選手や指導者だけでなく、皆が知っておくべきこと
- ・ドーピングは命を懸けるべきものではない
- ・スポーツの素晴らしさを伝えるものである。

【会員発表】

テーマ

「地域における卸勤務薬剤師の活動について」

〈演題1〉

薬剤師不在時における特別な管理を

要する医薬品の対応について

長野県支部

(株)メディセオ伊那支店

山田 勝章

麻薬・覚せい剤原料は薬剤師による厳格な管理を要し、流通管理品目は薬剤師が窓口となって流通を管理しているが、ほとんどの事業所は一人薬剤師体制となっている。平日の薬剤師不在時や休日・営業時間外などにこれらの品目についてどのように対応しているのかを調査し、現状の問題点や改善点などを考察した。

直近1年間の営業時間外における麻薬／覚せい剤原料の出庫は延べ215回／52回であり、流通管理品目の時間外受注を受けたことがある事業所は約90%であった。

事業所では薬剤師不在時に対応するため、薬剤師以外の取扱者を特定している（事後に薬剤師が確認している）、営業時間外には納品できないことを得意先に伝えている、流通管理品目については注文が予測される場合に事前に申請しておくなどの工夫をしているが、誤出庫、法令違反、事故等を防止するためには、営業時間外の注文を極力減らし、営

業時間内に注文をしていただけるようMSとも連携をはかり得意先の理解を得ていくことが必要である。

〈演題2〉

医薬品卸における実務実習薬学生

受入に対するアンケート調査

岡山県支部

(株)セイエル岡山支店

加藤 温子

岡山県には薬学部が2校あり、得意先からの依頼に基づき社内見学という形で協力してきた。医薬品卸の業務内容についての理解が得られているか、研修の質の向上を目的に参加した実習生にアンケート調査を行った。

「実務実習薬学生の受入協力におけるガイドラインと留意点」(日本医薬品卸業連合会)を受けて、各卸会社共通の研修内容は以下の通りである。

- ①医薬品の流通に関わる法律・ルール (JGSP)
- ②医薬品卸の役割：商品の提供、情報提供、情報収集、ロット管理、不良品回収等
- ③医薬品の安定供給に向けての取り組み：流通のしくみ、災害時の対応等
- ④医薬品流通上の安全管理：バーコード検品、不正流通防止、適正使用等
- ⑤医薬品卸が行う医薬品情報提供：医薬品情報におけるMSとMRとの違い等

アンケートの結果、倉庫内見学の満足度は高く、②③④についてはある程度理解が得られていたことがわかった。一方、①の理解度が低く、説明方法等で各社工夫する必要があると思われる。

〈演題3〉

省令改正に向けた各社の取り組みについて

北海道支部

(株)ほくやく薬事統括部

山岡 麻衣子

2017年1月17日にハーボニー配合錠の偽造品が発見された。個人輸入を通じた偽造品の

流入を除けば、我が国では偽造品の流通はないという認識が一般的であっただけに、強い衝撃をもって受け止められた。

2月16日には「卸売販売業者及び薬局における記録及び管理の徹底について」(通知)が、6月21日には「医療用医薬品の偽造品流通防止のための施策のあり方に関する検討会中間とりまとめ」が公表され、10月5日「薬機法施行規則の一部を改正する省令」が公布されて今年1月31日に一部を除き施行された。

アンケートは①2月16日付通知発出前後における医薬品卸売販売業許可情報の提供状況についてと、②10月5日の省令公布後における省令改正に向けた各社の取り組みについての2回行われた。

①通知発出前後の変化としては、得意先の許可情報に対する関心が高くなったことによる許可情報の問い合わせが増加した、自社ホームページに支店許可情報一覧を掲載するなどの許可情報提供手段を追加して対応したなどが挙げられた。

②省令改正に向けた各社の取り組みについては、譲渡の記録については全社現状で対応可能であること、業務手順書への偽造医薬品に関する各種対応と手順等の記載も対応準備中であることが確認された。一方、得意先許可情報の管理状況は様々であった。

今回の省令改正に伴い、医薬品卸売販売業に勤務する管理薬剤師には偽造医薬品の流通防止に向けた必要な対策をはじめ、適切な管理が求められる。

本フォーラムでは、毎年各卸が抱えている問題をテーマに掲げて発表している。都道府県により多少状況は異なるが、参考となる意見やアンケート結果が聞けるので大変興味深く、業務に役立っている。今後も積極的に参加し、情報収集に努めたいと思う。

啓発・普及活動

学校地域協働本部事業 八重瀬町立東風平小学校「職業インタビュー」

日時：平成30年2月13日(火) 10:35～12:15

会場：八重瀬町立東風平小学校 体育館

講師：玉寄睦子氏（東風平小学校学校薬剤師・ともよせ薬局）



八重瀬町教育委員会 生涯学習文化課
学校地域協働本部コーディネーター
喜久里 里奈

今回は、島尻郡で一番の大規模校、全児童数1,03名の八重瀬町立東風平小学校で行われた4年生児童の総合学習「職業インタビュー」の紹介です。

職業インタビューは、平成30年2月13日(火)に4年児童159名を対象に行われました。児童は11月には、家族や知人の職場を訪れ、1日職場体験を終えています。さらに学習を深めようと、多種多様な職種の方々にお仕事の話を伺い、将来の職業選択に活かそうと児童は、グループに分かれてインタビューしていきます。当日は、警察官や消防士、介護支援専門員、保育士、栄養士、パイロット、航空管制官、カメラマンなど25種29人から仕事のやりがいや大変なこと、嬉しかったことなどについて児童の質問に答えていきます。学習後は、各グループで学習した内容で壁新聞を作成しインタビュー出来なかった職種もクラス全体で共有します。

そこへ今回3度目となる学校薬剤師の玉寄睦子先生に参加していただきました。

白衣姿が素敵な睦子先生。最初に「みんなの身近に、薬剤師はいるかな？」と質問します。すると、困ったように「・・・いない。」と返答する子ども達に、「そうだよね。沖縄には薬剤師になれる大学がないからね。今、薬剤師になるには、6年間本土で学ばなければいけない。親御さんもたいへんです。でも、薬剤師は楽しいし、やりがいのある良いお仕事です。みんなにも、身近に感じ、将来の夢にして欲しい。それで、今、沖縄に薬学部を作ろうとしています。医学部のように沖縄にあると、目指す子が増えると思うからです。」

と優しく語る睦子先生。それを聞いた子ども達の感想には、「薬剤師が最初は、どういう仕事か分からなかったけれど、インタビューを通して、楽しくて、とてもやりがいのある仕事だと思いました。」や「薬剤師になってみたいと思いました。勉強は、嫌いだし大変だけど頑張ります。」など前向きな意見が多数ありました。睦子先生の仕事に対する熱意や子ども達に対する想いが伝わったのではないのでしょうか。

最近の新聞で、琉球大学に薬学部創設、署名活動要請の記事を見付けました。睦子先生の話を聞いた子ども達、その保護者も興味を持っていただけたら良いと思います。そして、将来、沖縄に薬学部創設が実現することを切に願います。

今回、快く講師を派遣頂いた沖縄薬剤師会様、多忙な中ご参加いただいた玉寄睦子先生に感謝致します。今後も、未来の宝、子ども達のために温かいご支援をお願い致します。



薬剤師の仕事について話す玉寄睦子氏

啓発・普及活動

沖縄県社会保険委員会コザ支部主催研修会報告

～関心が高まった「かかりつけ薬剤師」～

日時：平成30年2月14日(水) 15:00～16:00

会場：ちゃたんニライセンター（北谷町）

講師：比嘉朋子氏（すこやかホールディングス）



沖縄県社会保険委員会
コザ支部 小堀端 民男

まず、私たちの沖縄県社会保険委員会の紹介をします。沖縄県内に6ヶ所の年金事務所（那覇・浦添・コザ・那覇・石垣・平良）があります。県内の年金事務所の管轄に沖縄県社会保険委員会があり6支部（全体1163の会員事業所）ごとに研修会および委員会活動を行っています。この委員会は社会保険制度・年金制度に精通した人材確保と研修会を通して制度の周知を図ることも目的としています。各企業から事務担当者が参加し、研修会で得た知識を会社従業員へアドバイスする大きな役割をもち、さらに行政側とのパイプ役でもあります。私たちの委員会はコザ支部(中部地区の宜野湾市からうるま市の範囲)です。

当会の研修会は年2回開催しています。研修会の内容として前半は社会保険制度（健康保険制度・年金制度）についての勉強会、後半は外部講師をお招きしての講演会を行っています。今回はご縁があり、沖縄県薬剤師会・亀谷浩昌会長を通し、お薬に関する講演をしていただくことになりました。

すこやかホールディングス薬剤師の比嘉朋子先生を講師に迎え、“知っています？ かかりつけ薬剤師”というテーマのお話をさせていただきました。

- (1) 薬剤師のお仕事とは
- (2) お薬手帳について
- (3) 薬の基本・・・用法・用途、危険な服用法
- (4) ジェネリックについて
- (5) サプリメントについて

気づきを持たせる内容で、何気なく利用している調剤薬局と薬剤師の役割を知ることができました。また、かかりつけ薬剤師については かかりつけ医・かかりつけ病院というのは良く聞きますが、かかりつけ薬剤師については参加した委員の大半は認知度が低かったようです。

しかし、かかりつけ薬剤師について学んだことは、お薬を飲んで副作用があった時、ちゃんとかかりつけ薬剤師とのつながりがあれば、今飲んでいるお薬だけではなく過去のお薬の履歴もわかり安心して薬が服用することができます。また、本人のことをよく知っている薬剤師への薬の相談はもちろん在宅療養サポート、24時間対応などかかりつけ薬剤師の利点を知ることができました。

先生のお話を通してお薬に対する関心・健康管理についての意識も高まったと思います。

今回、私たちの委員会のために貴重な時間を割いていただいた沖縄県薬剤師会および比嘉朋子先生に感謝を申し上げます。

啓発・普及活動

沖縄市高齢福祉課主催講座報告 ～要介護にならないために～

日時：平成30年2月20日（火）13:00～14:00

場所：生き生き健康サロン ナオミ

講師：砂川信子氏（すこやか薬局具志川店）

沖縄市役所 高齢福祉課
佐久川こずえ

沖縄市高齢福祉課では、市内の高齢者サロンおよび、いきいき百歳体操を住民主体で行っている団体に対し、介護予防の推進を図る目的で専門職を派遣し出前講座を行っております。

今回沖縄県薬剤師会のご協力の元、すこやか薬局具志川店より薬剤師の砂川信子氏を講師に招き平成30年2月20日（火）市内の高齢者サロン（生き生き健康サロン ナオミ）において介護予防を含む薬に関する内容の出前講座を開催することとなりました。参加者は、サロンに通う8名。「要介護にならないために」と題した講話を熱心に聴いていました。

講話内容は、薬とどのように付き合っていくか、高齢者の病気ランキング、飲み忘れた際の対応方法、飲み忘れないための対策など、わかりやすく丁寧にお話していただきました。

認知症認定薬剤師、かかりつけ薬剤師など新たに利用できる制度の活用法についての説明では、参加者が病院受診し医師へ話せなかったことを薬剤師へ相談し、よりよい信頼関係が築けることで疾病予防・治療が進み、

高齢者の介護予防へつながるのではないかと深く感じました。

薬の話だけでなく、運動・栄養・社会参加・睡眠の必要性についてもお話がありました。より良い生活をおくことで脳が活性化され、認知機能を活用し、認知症が発症しにくくなるということ。軽度認知症は、早期のサインを見逃さず治療すれば進行をおくることができる。本人に合った薬（内服、ゼリータイプ、貼り薬タイプなど）を活用することが大事という学びも得られました。

講話の後半では、認知症の指標となる簡単な模倣動作が紹介され、講師・参加者が一緒に身体を動かし、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で講座を締めくくって頂きました。

参加者より、「運動を続け食事を見直し薬が減らせたらいいね。」との声が聞け、今回の講話で学んだことが参加者の生活に活かされ、介護予防へとつながることを切望したいと思います。

この度は、本事業の講座内容にご賛同、専門職派遣のご協力を頂き誠に有難うございました。



啓発・普及活動

沖縄県初の医療介護無料情報誌「メディサポ沖縄」から取材を受ける

日時：平成30年2月21日(水) 14:30～15:30

場所：沖縄県薬剤師会館 会長室

2017年7月に創刊した沖縄本島全域の医療・公共機関や商業施設に設置されている「メディサポ沖縄（株式会社ラポート）」より、地域包括ケアシステムの構築に向けて薬局や薬剤師の係わりについて取材を受けた。亀谷会長と西川常務理事が対応した。

メディサポとは、2009年より三重県で創刊された医療・介護福祉情報を発信しているフリーペーパー。三重県では様々な公共機関や商業施設に設置され、多くの家庭に届けられているとのこと。



中央がメディサポ沖縄編集長の堤 健治氏
亀谷浩昌会長と西川裕常務理事が取材対応した

メディサポ沖縄編集長の堤 健治氏が、「メディサポ沖縄を通じて、地域の医療・介護福祉情報などの生活に欠かせない有益な情報を発信していく。高齢者の方も障がいのある方も、共に暮らし易い沖縄になり一人ひとりが、生き活きと笑顔で楽しく生活できることを祈念して創刊した。10年前に介護業界へ転職、その後、障害福祉事業などの経験を積み重ねていく中で、一般の方々と業界側との温度差をととても感じてきた。事前にもっと良質な情報、知識があれば・・・この思いがメディサポの出発点。メディサポが大切な人の今後の方針についての道しるべ、医療・介護福祉業界を知るバイブルとなれば・・・」と語られていたのが印象に残った。

今回の取材記事は、4月末日発行の春号に掲載されるとのこと。沖縄県初の医療介護無料情報誌「メディサポ沖縄」の今後の情報発信に大いに期待したい。

(文：沖縄県薬剤師事務局 大城喜仁)



同取材の記事が掲載された「メディサポ沖縄Vol.4 2018春」を保険薬局（賛助会員B）に無料配布します。薬局待合室での読み物として、ぜひご利用下さい。

薬事情報おきなわ No. 249

2018年 3-5月号 : Vol. 33 No. 2

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 平成30年3月14日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ゾフルーザ錠10mg (@771/10)	10mg1錠	1,507.50	塩野義製薬	パロキサビル マルボキシル:抗インフルエンザウイルス剤(A型又はB型インフルエンザウイルス感染症)(新有効成分)
	ゾフルーザ錠20mg (@772/20)	20mg1錠	2,394.50		

●新医薬品 平成30年4月17日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	レキサルティ錠1mg (BRX 1)	1mg1錠	268.90	大塚製薬	ブレイクスピアゾール:抗精神病薬(統合失調症)(新有効成分)
	レキサルティ錠2mg (BRX 2)	2mg1錠	509.20		
	アトーゼット配合錠LD (353)	1錠	177.00	MSD	エゼチミブ/アトルバスタチンカルシウム水和物:小腸コレステロールトランスポーター阻害剤/HMG・CoA還元酵素阻害剤配合剤(高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症)(新医療用配合剤)
	アトーゼット配合錠HD (333)	1錠	177.00		
	ネキシウム懸濁用顆粒分包10mg	10mg1包	80.60	アストラゼネカ	エソメプラゾールマグネシウム水和物:プロトンポンプ・インヒビター(○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、Zollinger-Ellison症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 ○下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎)(新用量、剤形追加)
	ネキシウム懸濁用顆粒分包20mg	20mg1包	140.30		
	グーフィス錠5mg (EA1)	5mg1錠	105.80	EAファーマ	エロベキシバット水和物:胆汁酸トランスポーター阻害剤(慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く))(新有効成分)
	リムバーザ錠100mg (OP100)	100mg1錠	3,996.00	アストラゼネカ	オラパリブ:抗悪性腫瘍剤/ポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼ(PARP)阻害剤(白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法)(新有効成分)
	リムバーザ錠150mg (OP150)	150mg1錠	5,932.50		
	シダキュアスギ花粉舌下錠2,000JAU	2,000JAU1錠	57.70	鳥居薬品	スギ花粉エキス原末:スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬(スギ花粉症(減感作療法))(新有効成分)
	シダキュアスギ花粉舌下錠5,000JAU	5,000JAU1錠	144.10		
	サチュロ錠100mg (T207)	100mg1錠	21,872.50	ヤンセンファーマ	ベダキリンフマル酸塩:結核化学療法剤(<適応菌種>本剤に感性的結核菌<適応症>多剤耐性肺結核)(新有効成分)

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注射薬	イブプロフェン 静注20mg	20mg2mL1瓶	13,012	千寿製薬	イブプロフェン L-リン:未熟児動脈管開存症治療剤(次の疾患で保存療法(水分制限、利尿剤投与等)が無効の場合 未熟児動脈管開存症)(新有効成分)
	ファセンラ皮下注30mgシリンジ	30mg1mL1筒	351,535	アストラゼネカ	ベンラズマブ(遺伝子組換え):ヒト抗IL-5受容体αモノクローナル抗体製剤(気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る))(新有効成分)
	ベスボンサ点滴静注用1mg	1mg1瓶	1,307,092	ファイザー	イノズマブ オゾガマイシン(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤/抗腫瘍性抗生物質結合抗CD22モノクローナル抗体(再発又は難治性のCD22陽性の急性リンパ性白血病)(新有効成分)
	イストダックス点滴静注用10mg	10mg1瓶(溶解液付)	109,753	セルジーン	ロミデプシン:抗悪性腫瘍剤/ヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)阻害剤(再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫)(新有効成分)
	テセントリク点滴静注1200mg	1,200mg20mL1瓶	625,567	中外製薬	アテゾリズマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤/抗PD-L1ヒトモノクローナル抗体(切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(新有効成分)
	デュピクセント皮下注300mgシリンジ	300mg2mL1筒	81,640	サノフィ	デュピルマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体(既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎)(新有効成分)
	ナルベイン注2mg	2mg1mL1管	725	第一三共プロファーマ	ヒドロモルフォン塩酸塩:癌疼痛治療用注射剤(中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛)(新投与経路)
	ナルベイン注20mg	20mg2mL1管	6,340		
外用薬	アレサガテープ4mg	4mg1枚	67.50	久光製薬	エメダステンフマル酸塩:経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤(アレルギー性鼻炎)(新投与経路)
	アレサガテープ8mg	8mg1枚	93.10		

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。

Medical News

●2017年の医療事故は370件 半数近くは手術が起因～日本医療安全調査機構(共同通信3月15日)

日本医療安全調査機構は15日、2017年に「患者の予期せぬ死亡事故が発生し、院内調査が必要」として届け出があったのは370件(前年比36件減)だったと発表した。半数近くの177件が「分娩を含む手術」によるものだった。医療事故調査制度が始まった2015年10月以降、届け出の累計は857件。機構は制度開始前、年間の届け出件数を1～2,000件と見込んでいたが、想定を大きく下回っており、制度の周知が課題となる。

●調剤ミスで患者死亡と断定 京大病院、薬成分千倍に(共同通信3月27日)

京都大病院は26日、女性患者が昨年9月、注射薬を投与後に死亡した事故についての調査結果をまとめた。病院は患者の死因を高濃度の「セレン注射薬」を投与したことによる中毒死と結論付けた。病院は、同じ薬を投与された他の患者から異常を指摘された際に「人体への影響はないだろう」などと薬剤部内で判断していたと説明。グラム表記のはかりを使用するのに、マニュアルはミリグラム表記で書かれているなど不備があったという。病院によると、薬剤師2人が、患者のセレン注射薬を、医師の処方箋より高濃度で調剤。患者は昨年9月、投与後に背中に痛みを訴え、搬送先で亡くなった。当初は投与された薬の濃度を738倍としていたが、再度測定したところ、約千倍と判明したという。

●【第103回薬剤師国試】合格率は70.58%(薬事日報3月30日)

厚生労働省は27日、第103回薬剤師国家試験の結果を発表した。受験者数1万3579人のうち、合格者は9584人で、合格率は70.58%だった。

●医療用薬の販売活動に指針―企業による不適切例改善へ 厚生労働省(薬事日報4月13日)

厚生労働省は、製薬企業のMRによる医療用医薬品の不適切なプロモーション活動が相次いでいることから、国として初めて販売情報提供活動に関するガイドラインを策定する。具体的には、資材や情報提供活動の適切性の確保など製薬企業の責務、不適切な資料の使用禁止など販売情報提供活動に携わる社員の責務などを盛り込む予定。今夏をメドに具体的内容をまとめた上で、公表する方針。

●抗がん剤の分割使用、2回まで―安全基準まとめるへ 厚労省(薬事日報4月13日)

厚生労働省は、抗癌剤を分割使用する場合の安全基準「注射用抗癌剤等の安全な複数回使用に関する手引き」をまとめた。抗癌剤の調製は、無菌室に設置された安全キャビネットとCSTD(閉鎖式薬物移送システム)の使用が望ましいと推奨。同じバイアル製の複数回使用は安全性の観点から「2回まで」と明記した。保管期間は原則当日内とし、バイアルの取り違え等のリスク低減策を行い、無菌環境で保管した場合は最初の針刺し後7日間まで使えるとした。

●児童に使用するフッ素は調剤された医薬品を(薬局新聞4月19日)

日本学校歯科医会は、学校などで実施しているフッ化物洗口法について、「公衆衛生学的に優れたむし歯予防法

である」とし、取組みについては推進することを掲げている。しかしながら「学校現場におけるフッ化物洗口の際、試薬であるフッ化ナトリウムが使用されている」一部の事例を問題視。「フッ化物洗口薬剤には許可・承認を受けた医療用医薬品があり、それを用いることが望ましい」との考えを示した。なお、一部地域でフッ化ナトリウムの試薬を児童に使用していた事例は、地域薬剤師会から日薬に情報提供されていたもので、総会などの場で学校歯科医会などに使用を是正することを組織として求めている。

●後発薬普及へ重点地域 10都道府県を夏までに指定（共同通信5月1日）

価格の安いジェネリック医薬品（後発薬）の普及を目指す厚生労働省が、後発薬の使用が進んでいない都道府県を「重点地域」として指定する。膨張する医療費に歯止めをかける狙い。今夏までに10都道府県を選び、啓発活動などの実施を促す。使用割合の低さだけでなく、人口の多さや医療費の規模の大きさも考慮する。直近の使用割合が最も低い徳島県のほか、東京都、大阪府などが候補に挙がっている。

●個人輸入の経口中絶薬で健康被害 厚労省が注意呼びかけ（共同通信5月15日）

厚生労働省は15日までに、インターネットでインド製と表示された経口妊娠中絶薬を個人輸入し、服用した20代の女性に多量の出血やけいれん、腹痛などの健康被害が起きていたと発表した。同省は、医師の処方が必要ならば個人輸入できない製品にこの中絶薬を指定し、安易に輸入したり、使用したりしないよう注意を呼び掛けている。

る。厚労省によると、健康被害が起きたのは「Miso-Kare Misoprostol Tablets IP 200mcg」などの製品名の薬。有効成分として表示されている「ミフェプリストン」「ミソプロストール」は、膣内の出血などを引き起こす可能性が明らかとなっている。

●小児のかぜも「投与せず」推奨 - 抗菌薬手引き改正で素案〜厚生労働省（薬事日報5月16日）

厚生労働省は14日、学童期までの小児を対象とした「抗微生物薬適正使用の手引き」の改正素案を、厚生科学審議会の作業部会に示した。小児の急性気道感染症は、二次性の細菌感染症により増悪する可能性が高いとしつつ、いわゆる“かぜ”には成人と同様、抗菌薬を投与しないことを推奨。抗菌薬の予防的な投与も行わないよう求めた。生後3カ月未満の新生児の気道感染症は重篤な疾患が含まれるため、手引きの対象外とした。

●タミフル10代投与再開へ 異常行動、関連分らず（共同通信5月17日）

厚生労働省の専門家会議は16日、10代のインフルエンザ患者に治療薬タミフルの投与を再開する方針を決めた。服用後の異常行動が報告され、2007年から原則中止になっていたが、他のインフルエンザ治療薬と同様の扱いとする。会議では、異常行動とタミフルの因果関係は分からず、服用の有無や薬の種類で異常行動の発生に大きな差はないと判断した。厚労省は、患者が増え始める11月までに、製薬会社にタミフルの添付文書の改訂を指示する。10代の患者への使用は原則中止とした現行の制限を解除し、他のインフルエンザ薬と同様、未成年者の異常行動への注意を促す記載を新たに求める。

2〜3月に薬事情報センターに寄せられた質問から はい、薬事情報センターです。

薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

【質問】味覚異常にプロマック（ポラプレジンク）が処方される事があるが、効果発現の時期と投与期間はどの位か？（薬局）

【回答】ポラプレジンクの味覚障害に対する有効率は70%程度とされ、2週間から数カ月で効果が現れると言われている。味覚障害に使用した場合、味覚検査で16週間までに改善するのに対し、24週までに時間比して改善することから、血清亜鉛値をみながら3〜6カ月の内服継続が推奨されている。ポラプレジンクの味覚障害に対する処方は保険適応外だが、保険診療上の取扱いについては審査上認めるとされている。また、ポラプレジンクによる銅欠乏症については、重篤な汎血球減少や貧血も報告されていることから、注意が必要である。参考：「医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて」（平成23年9月28日付保医発0928第1号）、味覚異常・舌痛への治療薬はいつまで投与すべきか：日本医事新報(4901)、2018、味覚異常-その頻度と対応：JIM22(5)、2012他

【質問】カナリア配合錠（テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物/カナグリフロジン水和物）とコルヒチンの処方、レセコンで併用禁忌と出る理由について。（薬局）

【回答】どちらの添付文書にも併用禁忌の記載はない。コルヒチンは、主として肝代謝酵素CYP3A4によって代謝され、P糖蛋白の基質でもあることから、CYP3A4を強く阻害する薬剤やP糖蛋白を阻害する薬剤との併用により、コルヒチンの血中濃度が上昇する可能性がある。

特に、肝臓又は腎臓に障害のある患者に対しての投与は禁忌である。一方、カナリア配合錠中の成分テネリグリプチン及びカナグリフロジンにはCYP3A4に弱い阻害作用があり、テネリグリプチンはP-糖蛋白質の弱い阻害作用も示している。しかしながら、これらの阻害作用は弱くコルヒチンの作用に影響を及ぼす程ではないとして、添付文書では禁忌とはされていない。今回の件は、レセコンのシステム上で禁忌のエラーが生じたのではないかとと思われる。

参考：医薬品添付文書、IF、田辺三菱製薬私信

【質問】潰瘍性大腸炎（UC）にアサコール（メサラジン）3,600mg/日が8週間を超えて継続投与となっている。問題はなにか。（薬局）

【回答】メサラジン製剤の用法・用量については、添付文書の中でも「1日3,600mgを8週間を超えて投与した際の有効性は確立していないため、漫然と投与せず、患者の病態を十分観察し、重症度、病変の広がり等に応じて適宜減量を考慮すること」とされている。平成28年9月30日付再審査結果では、3,600mg/日を8週間を超えて投与した際の安全性についても特段の問題が認められなかったとしており、医薬品医療機器総合機構は報告書の中でメサラジン3,600mg/日投与は疾患活動性が高い傾向がある中で一定程度の効果があることから、8週以内に制限する必要はないと考える。」との判断を示している。

参考：IF、アサコール400mg再審査報告書等



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

2～3月の「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問]エディロールという薬をビタミンと説明されたが、文書にはビタミンとは書いていない。毎日飲まなくては行けませんか？（女性）

[回答]エディロールは、ビタミンDを含む製剤です。小腸でのカルシウム吸収を助け、骨の新陳代謝を改善します。その結果、骨密度を増やし骨を強くして骨粗鬆症による骨折を予防します。継続することで効果を現します。

[質問]急な腰の痛みでロキソプロフェンナトリウムとレバミピド、リリカOD75を夕食後の1回で処方された。夜中に腰が痛くて眠れなくなるので、リリカを夜寝る前に飲んで大丈夫ですか？（男性）

[回答]リリカは食事の影響をほとんど受けないお薬です。寝る前の服用は問題はないのですが、1日1回の用法で処方されていますので、時間を決めて服用してください。

[質問]味の素のグリナという睡眠薬を買って1か月飲んだけど効かなかった。ゾルピデムはよく効いている。その違いは？（女性）

[回答]グリナの主成分はアミノ酸で、睡眠・休息のための機能性表示食品のサプリメントです。ゾルピデムは寝つきを良くする睡眠薬で、薬としての効果が認められています。

●安全性情報●

[質問]セレスタミンを飲むと便が出にくい気がする。副作用にそういうのがありますか？（男性）

[回答]このお薬は、まれに便秘や口が渇くなどといった副作用が現れることがあります。便が出ない等症状がひどいようでしたら医師または薬剤師にご相談ください。

[質問]1歳8カ月の子供にいつもの喘息の薬と、ミヤBM細粒をもらった。ミヤBMは先日もらった抗生剤の下痢止めと聞いたけど、一緒に飲んで効果はありますか？（女性）

[回答]ミヤBM細粒は、抗生剤が処方された場合の下痢などの消化器症状を改善する効果があるため、一緒に処方される事があります。また通常の下痢などの消化器症状に対してはミヤBM細粒単独でも処方されます。

[質問]3歳の子が、咽頭炎でアスベリンシロップとアンブロキシール塩酸塩シロップ、オゼックス散、レベニン散を処方された。2日間は飲んだが、飲むと必ず20分後位からわめきだしたり、奇行？いつもと違う感じの症状がでた。病院に電話をしたら薬をやめた方がいいと言われた。その症状は3～5時間で治まるが、薬の副作用ですか？（女性）

[回答]服用中のお薬の中の、アスベリンシロップには頻度不明ですが、興奮という副作用が報告されています。興奮状態は何らかの病気が原因で起こることもありますが、お薬の影響とも考えられます。次回、医師

及び薬剤師にアスベリンシロップで興奮状態があったことを伝えてください。お薬手帳に記載しておくのもいいでしょう。

[質問]昨晚、鼻水がひどくて、市販薬のルフノン鼻炎ソフトN（ゼリア新薬）を1日3回、1回1錠のところを1回に3錠誤って飲んでしまった。その後喉の渇きがひどくて尿が出づらい。今朝は排尿困難な感じがする。副作用ですか？（男性）

[回答]購入された風邪薬には鼻水を止める成分が入っており、その副作用に排尿困難、口の渇き、便秘などが報告されています。ただ、このお薬は服用後1～2時間ほどで効いてきますが、20時間ではほぼ完全に体から抜けていきます。お薬を服用後ちょうどその位の時間は経過していますので、体から薬はほぼ無くなっており、副作用の症状も徐々になくなっていくものと考えられます。

*ルフノン鼻炎ソフト（成分：d-クロルフェニラミンマレイン酸塩、塩酸ブソイドエフェドリン、ペラドンナ総アルカロイド、無水カフェイン）

[質問]ボノサップを朝1回飲んで、夜飲んだところ2時間後から下痢が止まらなかった。今日は落ち着いている。朝の分を飲んでないが、どうしたらいいですか？（男性）

[回答]ピロリ菌の除菌は服用を中止すると失敗となります。下痢や胃の違和感は副作用として報告がありますが、我慢できる程度の痛みであればそのまま服用を続けた方がいいのですが、水様下痢が続く、ひどい腹痛等の症状があるようでしたら、服用を中止し早めに担当医にご相談ください。

●その他●

[質問]3か月前から鼻や鼻の横、額にぶつっと赤くできものができ、広がっている感じがする。年末からメトホルミンとトラゼンタを飲み始めたが、薬のせいじゃないかと思っている。（女性）

[回答]服用中の薬にはそのような（酒さ、脂漏性皮膚炎）症状の副作用は報告されていませんが、鼻は油のたまりやすい部分なので、カビや菌が原因で皮膚炎を起こしている可能性もあります。早めに皮膚科を受診された方がいいでしょう。

[質問]アイミクスLD（イルベサルタン・アムロジピン配合剤）からイルベサルタンという薬に変わった。血圧は安定しているが、むくみがあったので、むくみを取る薬が出ると思っていた。血圧の薬と説明されたので心配になった。（女性）

[回答]アイミクスLDには2種類の降圧剤が含まれています。その一つにカルシウム拮抗剤というお薬があります。これは末梢の血管を広げて血圧を下げますが、動脈の血管を有意に広げるため、逆に毛細血管静水圧が上がりむくみの原因になることがあります。そのためカルシウム拮抗剤を除いたイルベサルタンだけの薬剤になったものと思われます。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇医薬ジャーナル 54巻 2号
 - *急増するアレルギー疾患の現状と今後の対策～アレルギー疾患対策基本法の推進に向けての展望～
- ◇エキスパートナース 34巻2月号
 - *報告&ドクターコールの前に！すぐ見て！検査値項目
- ◇エキスパートナース 34巻3月号
 - *「脳」からわかる麻痺の見かたとケア
- ◇きょうの健康 2月号
 - *進ませない！慢性腎臓病
- ◇きょうの健康 3月号
 - *大丈夫？あなたの睡眠
- ◇月刊薬事 60巻2号（臨増）
 - *AMR対策につながる 抗菌薬の使い方実践ガイド
- ◇月刊薬事 60巻3号
 - *エビデンスで押さえる 漢方薬 病棟で使う順ザ・ベストテン！
- ◇月刊薬事 60巻4号
 - *いざというときのために知っておきたい オンコロジーエマージェンシー
- ◇産科と婦人科 85巻2号
 - *臨床スキルアップのために一画像診断・病理診断・麻酔手技のポイント
- ◇産科と婦人科 85巻3号
 - *生殖医療一知っておきたい最新トピックス
- ◇総合診療 28巻2号
 - *頭痛患者で頭が痛いんです！
- ◇総合診療 28巻3号
 - *糖尿病のリアル 現場の「困った！」にとことん答えます。
- ◇調剤と情報 24巻 2号（臨増）
 - *もう迷わない健康サポート薬局
- ◇調剤と情報 24巻3号
 - *どう応える？降圧薬を飲み続ける患者の不安
- ◇調剤と情報 24巻 4号
 - *来るべき災害 どう備える？どう動く？
- ◇治療 100巻 2号
 - *中毒×地域
- ◇治療 100巻 3号

*地域ケアの実践知

- ◇日経メディカル 603号
 - *生活習慣病 7つの新常識
- ◇日経メディカル 604号
 - *「終末期医療の三原則
- ◇日本医事新報 4894号
 - *胃酸分泌抑制薬長期投薬の功罪
- ◇薬局 69巻2号
 - *副作用への漢方薬活用術～エキスパートに学ぶ活用事例総まとめ
- ◇薬局 69巻3号
 - *薬剤過敏症歴がある患者の薬物治療～リスク&ベネフィットを考慮した薬の選び方と使い方

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶適応外使用の処方せんの読み方（92） 骨髄異形成症候群
 - 月刊薬事60（3） p.93
- ▶適応外使用の処方せんの読み方（93） 酒さ・酒さ様皮膚炎
 - 月刊薬事60（4） p.101
- ▶パセドウ病にカリウム製剤……その理由と注意点は？
 - 調剤と情報24（3） p.111
- ▶朝夕のアレグラをザジテン1回にした狙いとは
 - 日経ドラッグインフォメーション（244） p. PE021
- ▶オピオイド鎮痛薬による便秘の予防薬としての緩下剤の有用性評価
 - 医薬ジャーナル 54（2） p.117
- ▶トリメプチンマレイン酸塩を配合したかぜ薬の臨床評価
 - 医薬ジャーナル 54（3） p.104
- ▶胃酸分泌抑制薬の長期投与が必要となる疾患
 - 日本医事新報（4894） p.24
- ▶味覚異常・舌痛への治療薬はいつまで投与すべきか？
 - 日本医事新報（4901） p.59
- ▶慢性疼痛に対するトラマドール製剤の適切な使用法
 - 日本医事新報（4900） p.23

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

■新薬■

- ▶注目の新薬情報 (25) リンゼス[®]錠
医薬ジャーナル 54 (2) p.155
- ▶注目の新薬情報 (26) アメナリーフ[®]錠
医薬ジャーナル 54 (3) p.151
- ▶審査報告書から見る新薬の裏側 [13] コムクロ[®]シャ
ンプー 0.05% (クロベタゾールプロピオン酸エステル)
月刊薬事60 (3) p. 88
- ▶審査報告書から見る新薬の裏側 [14] イブランス[®]カ
プセル (パルボシクリブ)
月刊薬事60 (4) p. 99

■安全性情報■

- ▶薬の副作用ケースファイル [13] 振戦～鑑別に欠かせ
ないのはどんな情報か？
月刊薬事60 (3) p. 164
- ▶副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を
読み解く (70)
 1. ピロリ菌除菌後のPPIs長期使用で胃癌発症リスクが上昇
 2. 抗精神病薬の長期使用で心血管イベントのリスクが上昇
 3. 未成年でも抗うつ薬の使用で2型糖尿病の発症リスク
が上昇
 4. 糖尿病リスクの高い患者でもスタチンの使用で糖尿病
の発症リスクが上昇
 5. ケルセチン併用でクロルゾキサゾンの血漿中濃度が軽
度上昇
 6. ソルビトール併用でラミブジンの血漿中濃度が低下
医薬ジャーナル 54 (2) p.148
- ▶副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を
読み解く (71)
 1. 抗血栓薬で血尿関連合併症のリスク上昇
 2. インスリン グラルギンの長期使用で乳癌リスク上昇
 3. ケルセチン併用でジクロフェナクの血漿中濃度上昇
 4. クロピドグレル併用でモンテルカストの血漿中濃度上昇
 5. 小児喘息患者で吸入ステロイドは骨折リスクを上昇さ
せない
 6. コーヒーはフェロジピンの薬物動態に影響を及ぼさない
医薬ジャーナル 54 (3) p.142

■薬剤師業務■

- ▶薬剤関連のインシデントを改善するための多職種協働
アプローチ～院内組織の設立とFMEAの実践～
医薬ジャーナル 54 (1) p.133
- ▶医薬品の適正使用に向けた電子カルテからオーダー可
能なファーマコゲノミクス検査体制の構築
医薬ジャーナル 54 (2) p.127

■産科・婦人科■

- ▶妊婦とくすりの基礎知識…尋常性ざ瘡治療薬
日経ドラッグインフォメーション (244) p. PE019
- ▶妊婦とくすりの基礎知識…妊娠性掻痒症の治療薬
日経ドラッグインフォメーション (245) p. PE019
- ▶解決！妊婦の疑問・授乳婦の不安～喘息治療薬・妊婦
調剤と情報24 (3) p. 61
- ▶解決！妊婦の疑問・授乳婦の不安～制吐薬・授乳婦
調剤と情報24 (4) p. 67
- ▶添付文書プラスアルファの情報使いこなし術 授乳中
の薬の評価は薬剤師の多角的な視点で
調剤と情報 24 (4) p.93

■漢方薬■

- ▶荊防敗毒散 風寒湿邪を除去して表証を治療 化膿性
の皮膚疾患や各種炎症などに
日経ドラッグインフォメーション (244) p. PE026
- ▶玉屏風散 体表の防御機能を高め止汗 かぜを引きや
すい人、アレルギーにも
日経ドラッグインフォメーション (245) p. PE026

■服薬指導■

- ▶授乳中も服用できる抗不整脈薬
日経ドラッグインフォメーション (244) p. 033
- ▶エビデュオによる皮膚炎の予防
日経ドラッグインフォメーション (245) p. PE035

■その他■

- ▶添付文書プラスアルファの情報使いこなし術 ワクチ
ン・予防接種の正しい知識を薬局から (後編)
調剤と情報24 (3) p.79
- ▶健康サポート イチョウ葉エキスを飲んでもいいか
日経ドラッグインフォメーション (245) p. 033

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

薬剤耐性(AMR)と医療経済

医薬ジャーナル 3月号

不適切な抗菌薬の処方を減らすことが医療経済の損失回避に繋がる可能性がある。

スウェーデンの行政医療データを用いた検討結果によると、2006年から2015年までに呼吸器系抗菌薬の処方率は22%減少したが、各種合併症に増加傾向は見られていない。また、英国のデータベースを用いて抗菌薬の予防効果を検討した研究では、中耳炎後の合併症は抗菌薬を約4000人に投与することで1人は予防することができると報告されている。これらの結果をみると、上気道炎後の合併症予防目的に抗菌薬を投与することは考えなおす必要があるだろう。

外来診療で細菌検査を実施することで追加費用が発生しても、適切なタイミングで最も効果的な抗菌薬を選択することで抗菌薬の使用量、つまりは薬剤費を減らすことも可能。患者側が抗菌薬の処方を希望する場合も少なくないが、医学的な説明だけでなく「お金」という共通言語を使って説明することも有効と考える。

山梨大学医学部附属病院薬剤部/感染制御部
 莊司 智和
 明治薬科大学公衆衛生・疫学研究室
 赤沢 学

毒蛇に噛まれたら

治療 2月号

蛇毒が血管内に入ると重症化するが、中枢側の駆血、創切開および吸引による毒排泄が効果を発揮することはあまりなく、現在は推奨されていない。

中枢側の静脈を駆血すれば毒の周りを抑えられそうだが、強く緊縛することで血行障害による組織壊死によるリスクがある。局所切開、吸引も有効性が確認されていない。予防的に行っても無処置の場合と予後に差がないため慎重に考慮する必要がある。

日本で遭遇する蛇毒は大別すると組織破壊と出血毒であり、組織破壊はハブが最も強力だが出血毒被害はさほど多い印象ではない。組織破壊は局所での腫脹を引き起こし重症化すると腫脹圧によるコンパートメント症候群を引き起こす。出血毒は血小板減少および凝固系異常を引き起こす。また、横紋筋融解症や急性腎不全（急性尿細管壊死）、低用量または心毒性によるショックを合併する場合があり、これらの状態を凌ぐのが日本での蛇毒による病態への対応となる。

入江病院 総合診療科
 入江 聡二郎

切迫早産の治療薬の今後はどうなるか？

日本医事新報 4900号

わが国では切迫早産に対して、塩酸リトドリンを子宮収縮抑制薬の第一選択薬として使用しています。一方、米国で主に使用されているのは、硫酸マグネシウム、欧州ではカルシウム拮抗薬あるいはオキシトシン拮抗薬（わが国では未販売）です。母体への重篤な副作用のリスクのため、米国食品医薬品局（FDA）や欧州医薬品庁（EMA）は、塩酸リトドリンなどのβ刺激薬や硫酸マグネシウムの長期投与に関して警告を発しています。現在、欧米では、頸管長が短縮し規則的な子宮収縮を認めるような切迫早産に対する治療よりも、早産ハイリスク例に対する予防的治療が主流になってきています。その予防的治療の主流はプロゲステロン製剤であり、早産既往症例に対する17α-hydroxyprogesterone caproateと妊娠24週までの子宮頸管長短縮症例に対するプロゲステロン経陰あるいは経ゲルが用いられています。後者は現在わが国では保険適用がなく、今後早産予防に適応が認められることが期待されます。

東京慈恵会医科大学産婦人科
 青木 宏明

オンコロジーエマージェンシーとは

月刊薬事 3月号

オンコロジーエマージェンシーは、がんの浸潤や転移が基礎にあることが病因となって引き起こされる緊急症である。それゆえに、がんの確定診断よりも前に「エマージェンシー」で救急対応されてからがんの存在がみつかる症例もあれば、がんの確定診断後に病勢増悪によって引き起こされるものもある。いずれの場合でも、生命の危機や著しいQOLの低下が切迫して救急処置が必要とされる病態である。オンコロジーエマージェンシーに対する初期対応の遅れは、致命的であるため、想定される症状を医療者だけでなく患者本人も認識しておく必要がある。担がん症例では、易感染性、血栓移行もしくは出血傾向、閉塞・圧迫もしくは瘻孔・穿孔、電解質異常について特に注意する。例えば、易感染性の観点からは、予防的抗菌薬投与や感染をおこしやすい環境や行動を避ける患者教育などが重要である。オンコロジーエマージェンシーの病態は多岐にわたるため、複数科・他職種による「本質的なチーム医療」によって乗り越えるべきものである。

岡山大学病院血液・腫瘍内科
 西森 久和

○ サイト紹介 ○

日本アンチドーピング機構（JADA）のサイト「Global DRO」

(<https://www.globaldro.com/JP/search>)

○ドーピングの対象になる医薬品成分を投与経路別、競技会中や競技会外の可否も調べる事ができます。

①日本を選択

競技国籍を選択

カナダ イギリス アメリカ スイス 日本 オーストラリア その他

The Global Drug Reference Online (Global DRO)はグローバルな検索サイトで、WADAの現行の禁止表国際基準 (Prohibited List) に基づき、アスリートやサポートスタッフが禁止物質のステータスを確認することができます。

Global DROには、栄養補助食品に関する情報又は栄養補助食品に適用される情報は含まれていません。

イギリス、カナダ、アメリカ、スイス、オーストラリア、日本で販売されている商品名での検索が可能です。

②「競技」「購入国」「薬の成分名」などを入力し検索。

HOME サーチ

検索

ユーザータイプ: 医療従事者 競技: バレーボール 購入国: 日本 成分名: ベタメタゾン 検索

③結果が表示される

結果: 1

ベタメタゾン (Betamethasone)

他の成分名:
Betamethasone acetate
Betamethasone butyrate propionate
ベタメタゾンブプロピオン酸エステル
ベタメタゾンブプロピオン酸エステルナトリウム
ベタメタゾン吉草酸エステル

④ベタメタゾンの経口投与は、競技会での使用が「禁止」されていることがわかる。

成分のステータス

ベタメタゾン (Betamethasone)

他の成分名
Betamethasone acetate; Betamethasone butyrate propionate; ベタメタゾンブプロピオン酸エステル

ステータス

投与経路	競技会	競技会外
経口投与 *	禁止	禁止されない
吸入 *	禁止	禁止されない
静脈内注入 *	禁止	禁止されない
静脈注入: 1回あたり100mgまたはそれ以下	禁止	禁止されない
局所もしくは関節内注入 *	禁止されない	禁止されない
眼への投与 *	禁止されない	禁止されない
局所(皮膚) *	禁止されない	禁止されない
耳への投与 *	禁止されない	禁止されない

競技会・競技会外に分かれ、使用の可否が表示される。
緑: 使用可能
赤: 使用禁止

・使用可能の場合でも注意が必要な場合がある。成分によっては使用方法、投与経路で違反となる可能性があります。

★Global DRO を利用することで、簡単に禁止物質の検索が可能になりました。これを一つのツールとして禁止表と照らし合わせて慎重に対応することが重要です。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】薬事衛生六法 2018

【発行】薬事日報社 【発行日】2018年3月

【版型/頁】B5判変型/約1,800頁 【定価】5,076円(税込) 【幹旋価格】4,600円(税込)

医薬品医療機器等法及び関係政省令、告示を中心に薬剤師法、毒劇、麻薬、医療保険、保健医療、食品・家庭用品、など薬事・医療・衛生関係法令を幅広く収載した法律書。

★【日薬幹旋図書】薬価基準点数早見表 平成30年4月版

【発行】じほう 【発行日】2018年3月

【版型/頁】A5判/950頁 【定価】3,888円(税込) 【幹旋価格】2,000円(税込)

薬価基準収載医薬品を、「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬」の投与経路別に、商品名の50音順に配列し、点数早見表、薬効別分類表を収録した医療事務必携の書籍。

★【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus+ 平成30年4月版

【編著】薬業研究会 【発行】じほう 【発行日】2018年3月

【版型/頁】A5判/950頁 【定価】4,968円(税込) 【幹旋価格】4,470円(税込)

同成分の中で剤形・薬価別にまとめ、規格単位ごとの薬価だけでなく「適応・用法」情報も確認できる。適応外使用に係る告知申請が認められているものを適応に記載。ジェネリック医薬品における、適応・用法違いの確認に最適で、一般名からも商品名からも検索可能で使いやすいと好評な医療用医薬品リストの定番書籍。

★【日薬幹旋図書】社会保険薬価基準 2018年4月版

【編集】薬事日報社 【発行】薬事日報社 【発行日】2018年3月

【版型/頁】B5判/約880頁 【定価】3,888円(税込) 【幹旋価格】2,000円(税込)

薬価基準に、製造販売承認取得会社名(販売会社名)(3月5日官報告示日時点)、用法・用量、成分名(新一般名)、薬効分類、後発品、劇薬・毒薬・麻薬・覚せい剤原料・日局(官報告示・非告示の区別有)・向精神薬・生物由来製品・特定生物由来製品、統一収載品目には○統マークを可能な限り付し、調剤報酬算定の必要事項がコンパクトにまとめた充実の内容。

★【日薬幹旋図書】薬効・薬価リスト 平成30年版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2018年4月

【版型/頁】B5判/1000頁 【定価】7,020円(税込) 【幹旋価格】6,300円(税込)

レセプト業務向けに、薬価基準収載医薬品の薬価、効能・効果、用法・用量、禁忌・併用禁忌、保険の扱い(厚生労働省保険局通知の概要)を1冊に収録。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】投薬禁忌リスト 平成30年版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2018年4月

【版型/頁】B5判/600頁 【定価】4,212円(税込) 【幹旋価格】3,700円(税込)

投与しない”“授乳中止”などの禁止事項がある場合のみ掲載。併用禁忌の欄では、表組を採用、“↑”“↓”の記号を用いて表現を簡潔にし、見やすくまとめた。重大な副作用は、症状のみを列記し、発現頻度は具体的な数字があるものだけをピックアップ。

★【幹旋図書】第十七改正 日本薬局方 第一追補 — 条文と注釈 —

【編著】医薬情報研究所 【発行】廣川書店 【発行日】2018年3月

【定価】15,000円(税込) 【幹旋価格】13,500円(税込)

改正条文全文のほか、注釈＝法的規制(毒劇麻処など)、本質適用服薬指導配合変化を記載。

147 処方を味方にする 漢方見ひらき整理帳

【著者】井齊 偉矢 【発行】南山堂 【発行日】2018年1月

【版型/頁】A5判/313頁 【定価】4,320円(税込)

本書では「西洋薬と区別なく処方される存在として漢方薬を位置付けているサイエンス漢方処方」という新しい概念に基づき147の漢方薬を各2ページで解説。漢方薬選択に必要なキーワードに、適切なイラストや画像があり、イメージしやすい。この1冊で漢方薬の選び方・使い方がわかる。

やさしい臨床医学テキスト 第4版

【編集】星恵子、青山峰芳 他 【発行】薬事日報 【発行日】2018年2月

【版型/頁】B5判/556頁 【定価】4,968円(税込)

患者に適切な薬物療法を提供するために、必要な「疾患」についての知識をわかりやすく解説したテキスト。各種ガイドライン、知見、治療薬などの日々変化する情報を最新のものにアップデートし、新たな疾患の解説も追加した改訂版。

臨床検査専門医が教える異常値の読み方が身につく本

【著者】村上純子 【発行】じほう 【発行日】2018年2月

【版型/頁】A5判/280頁 【定価】3,672円(税込)

- 専門医だから教えられる検査値の読み方、異常値・パニック値の判断のコツ
- ケーススタディ形式だから、ずらっと並んだ検査項目を関連づけて読み解くスキルが身につく
- 全医療者向け。疾患の鑑別、薬の効果・副作用の判断、患者アセスメントの質が上がる

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)医薬品 PL センター窓口業務 (7)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びアンチ・ドーピングホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

〇〇〇「沖縄県薬剤師会ドーピング防止ホットライン」への協力依頼 〇〇〇

沖縄県薬剤師会では、平成18年から「沖縄県薬剤師会ドーピング防止ホットライン」を設置し、一般からのドーピングに関する質問を薬事情報センターが窓口になって受けています。受付けた質問については、薬事情報センタースタッフも含め会員のスポーツファーマシスト2人以上の同意を得て質問者に回答しています。これはより明確で正しい回答をするためです。当会では、この仕組みをさらに充実させるために、沖縄県薬剤師会会員のスポーツファーマシスト認定者の皆様で、この業務にご協力頂ける方を募集しています。

当該システムの内容は、沖縄県薬事情報センターに問い合わせのあった質問に対して、今回ご協力の承認をされた方々に一斉メールで質問を送付し、質問に対する回答をメールで返信していただく方法です。これらに協力していただくことで、県内でドーピングに関し、アスリートや一般等からどんな質問があり、それに対してどのように回答しているかを把握することができます。

今後ますますご活躍いただきたいスポーツファーマシスト認定者の方々には、当該システムをご理解のうえご協力頂ければ幸いです。同システムにご賛同いただける方は、メールにて「沖縄県薬事情報センターへのドーピングに関する質問等の相談者として協力します。」とご返信ください。

≪ E-mail:di3@okiyaku.or.jp ≫

★沖縄県薬剤師会ホームページ『ドーピング Q&A』の頁からドーピングに関するお問合せも可能です。ぜひご活用ください！



県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➡ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

➡ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

➡ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電 話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➡ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

平成29年度沖縄県薬剤師会新入会

(平成29年10月1日～平成30年3月末日入会分)

氏 名	施設名称	出 身 校
赤 木 宗 範	よつば薬局	明治薬科大学
栗 国 麻 絵	あい薬局 経塚店	城西大学
東 祐 典	あはごん薬局	東日本学園大学
新 垣 慎太郎	病院前薬局 (那覇市)	北海道医療大学
新 川 あ や	ひだまり薬局	第一薬科大学
内 間 光 明	内間薬局	九州保健福祉大学
大 城 祥 子	ハーブ薬局 いしみね店	京都薬科大学
大 槻 美 佳	ひまわり薬局 天久店	昭和薬科大学
川 満 亜希子	ミント薬局 真地店	第一薬科大学
金 城 真 貴	いじゅの木薬局	第一薬科大学
黒 川 堯 哉	石川インター前薬局	城西大学
小 西 航	そよ風薬局 松川店	帝京大学
境 健 司	メルシー薬局 かねぐすく	福山大学
佐次田 梨 奈	さしだ薬局 しらはま店	城西大学
末 吉 久美子	保険薬局プラネット	北里大学
高 場 美 保	メルシー薬局 かねぐすく	北陸大学
土 屋 麻理子	すこやか薬局 久米店	昭和薬科大学
照 屋 美 歩	ハーブ薬局 つかざん店	星薬科大学
富 永 晃 弘	登川薬局	福山大学
仲 里 珠 美	オリブ山病院	昭和薬科大学
中曾根 鳴 香	会営薬局うえはら	福山大学
西 村 悦 子	守礼薬局	第一薬科大学
西 脇 範 子	たいせい堂薬局 首里店	東北薬科大学
花 城 真 紀	ふく薬局 名護店	広島国際大学
濱 野 唯	JR九州ドラッグイレブン薬局 佐敷店	長崎国際大学
比 嘉 早 美	ビオラ薬局	北陸大学
藤 田 由	てまり中城薬局	北陸大学
古 堅 優 子	薬志堂薬局 田原店	第一薬科大学
本 田 洋 佑	(株)たいよう薬局	東京薬科大学
前 田 真一郎	いしみね薬局	徳島文理大学
前 原 律 子	(株)ダイコー沖縄	東日本学園大学
町 田 昌 子	名嘉病院	徳島文理大学
松 元 あ み	ハーブ薬局	北里大学
松茂良 揚 子	すこやか薬局 与儀店	福山大学
道 前 拓 也	ハート薬局 ずけらん店	神戸学院大学
村 山 裕 美	とくりん薬局 赤嶺駅前店	東邦大学
山 内 ヒロ子	同仁病院	日本大学
山 路 美 和	ていだ薬局	京都薬科大学
吉 田 湖 南	アイン薬局 コンベンションシティ	富山大学

(五十音順、敬称略)

医療保険

調剤報酬請求業務Q&A（第3回）

医療保険委員会

医療保険委員会では、適切な調剤報酬請求業務に努めて頂くよう、審査支払機関から査定や返戻の多い事例を会報にシリーズで掲載しています。

なお、ご質問がある場合には次頁（質問用紙）をご利用の上、FAXまたはメールにてお願い致します。

【調剤料】

事例 1

処方	調剤料
Rp1 モーラスパップ60mg 35枚 1日1回貼付（1日1枚） 部位：膝	10点
Rp2 ケトプロフェンパップ30mg 25枚 1日1回貼付（1日1枚） 部位：両膝	10点

算定不可

同一有効成分であって同一剤形の薬剤が複数ある場合は、その数にかかわらず1剤として算定する。
（調剤報酬点数表の解釈 平成28年4月版）

事例 2

処方	調剤料
Rp1 ビーソフテンローション0.3% 150g 1日2回塗布 部位：乾燥部	10点
Rp2 ヒルドイドローション0.3% 75g 1日2回塗布 部位：頸部の乾燥	10点

算定不可

同一有効成分であって同一剤形の薬剤が複数ある場合は、その数にかかわらず1剤として算定する。
（調剤報酬点数表の解釈 平成28年4月版）

事例 3

処方	調剤料
Rp1 レキソタン錠1mg 1錠 朝食直後 14日分	63点 向8点
Rp2 セニラン錠2mg 2錠 朝夕食後 14日分	63点 向8点

算定不可

同一有効成分であって同一剤形の薬剤が複数ある場合は、その数にかかわらず1剤として算定する。
（調剤報酬点数表の解釈 平成28年4月版）

調剤報酬請求業務 Q&A 質問用紙

薬局名・電話番号・担当者名を必ずご記入ください。

質問受付メールアドレス
nagamine@okiyaku.or.jp

FAX返信先：098-963-8932

薬局名		電話番号	
担当者		メールアドレス	
【ご質問事項】			

第35回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

クワ：桑：シマグワ

学名 シマグワ *Morus australis*
科名 クワ科 *Moraceae*
属名 クワ属 *Morus*
使用部位 根、葉、花、実、
有効成分 デオキシノジリマイシン
グアニン、アデニン、亜鉛



クワ（桑）の特徴

クワは、クワ科クワ属の総称。カイコの餌として古来重要な作物であり、また果樹としても利用される。低・高木性の落葉樹、温暖地では常緑的になる。雌雄異株だが、同株のものもある。4月頃、淡黄緑色の小花が集まり花穂をつくる。風媒花であり、受精した雌花穂は白色、濃赤色の果実となる。春に伸長した枝は緑色であるが、秋になると灰色、褐色など種類に固有の色となる。根は直根性である。樹皮は灰色を帯びる。葉は薄く、つやのある黄緑色で、縁にはあらい鋸歯がある。大木では、葉の形はハート形だが、若い木では、葉にあらい切れ込みが入る場合がある。葉には直径25-100 μm ほどのプラント・オパールが不均一に分布する。

果実は複合果で、初夏に熟し紫黒色になり、食べられる。雄花は茎の先端から房状に垂れ、

雌花は枝の基部の方につく。キイチゴのような、柔らかい粒が集まった形で、やや長い。

クワの利用

養蚕用に栽培されるのは主にヤマグワ。中国の「神農本草経」に記載され、葉を桑葉（そうよう）と称し利尿消腫、解熱鎮咳、神経性高血圧症、滋養強壮、糖尿病の口渴等に効果がある。果実は桑椹（そうじん）と称し、滋養強壮、利尿、鎮咳、去痰、緩下等に用いられている。

ログワの根皮は桑白皮（そうはくひ）という生薬である（日本薬局方）。利尿、血圧降下、血糖降下作用、解熱、鎮咳などの作用があり、五虎湯、清肺湯などの漢方方剤に使われる。

果実の汁液を麴といっしょに発酵させた酒を桑椹酒といい、強壯の酒として有名である。

シマグワの特徴

シマグワ（ヤマグワ）は、沖縄方言でクワギや、コンギ、ナンデンシーという。国内では、南西諸島にのみ分布しており、その形質、性状が本土の桑と異なる。日本本土の桑は冬期に落葉し休眠するのに対し、シマグワは非休眠性で落葉しない。成分も異なり台風に対する耐性や、再発芽が早い。

参考 桑の百科事典、亜熱帯植物資源データベース
機能性食品における共同研究事業報告（神奈川県）

クワに含まれる有効成分

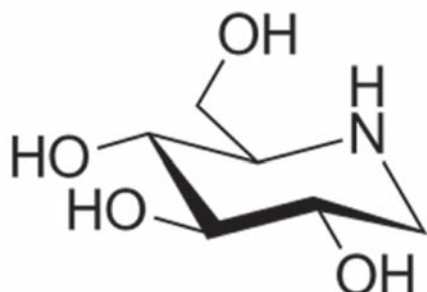
クワ葉には、ミネラルや食物繊維が多量に含まれ、特異的な成分としてはデオキシノジリマイシンがある。近年この成分は糖類の分解酵素を阻害し、腸内での糖類の消化吸収を遅延させ、血糖値の上昇を抑えたとの報告がある。またケエルセチンマロニルグルコシド、ルチンなどのフラボノール配糖体を含有する。

琉球しまぐわ（特許取得製法） 粉末100 g 当たり 沖縄県環境科学センター 2013年 調べ

エネルギー	蛋白質	炭水化物	1-D N J	G A B A	食物繊維	亜鉛	カリウム
- kcal	24.4 g	- g	1.35mg/gDW	138mg	39 g	3.3mg	2300mg
鉄	カルシウム	α カロテン	β カロテン	ビタミンB2	ビタミンB1	葉酸	ビタミンC
12mg	2500mg	2.2mg	16.9mg	0.67mg	0.14mg	380 μg	45mg

果実には高い抗酸化作用で知られる色素・アントシアニンや、レスベラトロールなどのポリフェノールが多く含まれる。

1-デオキシノジリマイシンの血糖降下作用 (1-Deoxynojirimycin) DNJ

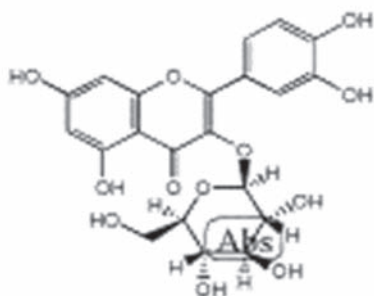


1976年に桑白皮(桑の根皮)から1-デオキシノジリマイシンDNJが単離された。DNJ はブドウ糖の類似物質(アザ糖類の一種、イミノ糖)で、小腸において糖分解酵素の α -グルコシダーゼに結合してその活性を阻害する。その結果、スクロースやマルトースの分解効率が低下し、血糖値の上昇が抑制される。クワを食餌とする蚕のフンを乾燥させたもの(漢方薬である蚕砂)も同様の効果がある。

ケルセチン-3-マロニルグルコシド

Quercetin3-(6-malonylglucosido) Q3MG

肝臓におけるインスリン抵抗性改善と
中性脂肪蓄積抑制効果



動脈硬化モデルマウスであるLDLr欠損マウスを使い、桑葉由来ケルセチン-3-マロニルグルコシドQ3MGが、LDLの酸化を抑制し、動脈硬化巣形成抑制、血中コレステロール低下作用をもつことを明らかにした。また血糖上昇抑制効果も認められた。肝臓での遺伝子発現解析から、gp91phox(酸化ストレスROS産生)発現量が有意に抑制され、PPAR α とCPT1A(β -酸化)の発現量が有意に増加していることが認められた。

ポリフェノール摂取は酸化ストレス、 β -酸化関連遺伝子発現に影響し、体重の減少に有効である。Q3MGも肝臓での抗酸化と β -酸化の活性化により中性脂肪の蓄積抑制、インスリン抵抗性が改善していると考えられる。インスリン抵抗性改善作用により、食餌由来の糖が効率良く消費され、体重減少に繋がると考えられた。

植物由来の抗酸化物質の摂取は、心疾患での死亡率を低下させることが、疫学的な研究から明らかになっている。また、低密度リポタンパク質(以下LDLと略す)の酸化修飾が、動脈硬化の発生に関与すると考えられている

亜鉛の効果

亜鉛は、代謝過程で働く酵素の構成成分として必要不可欠なミネラルである。体内では何千種類もの酵素が、炭水化物、脂質、たんぱく質の代謝や、免疫力強化などの化学反応に関わっている。その中でも亜鉛は、細胞の新陳代謝に関わる200種類以上もの酵素を構成する重要な成分である。近年、環境ホルモンの影響による欠乏が問題になっている。

亜鉛の効果：味覚を正常に保つ、成長を促進する、抜け毛を予防する、生殖機能を維持する、生活習慣病の予防・改善、二日酔いを防ぐ

沖縄産の桑と本土産の桑

沖縄在来種シマグワの葉には、糖質コントロール成分が本土産の桑の葉よりも多く含まれていることを、沖縄工業高等専門学校や市役所などの共同研究チームが明らかにした。沖縄の桑の葉が、本土産よりも優れているのは 成育環境の違いだと分析されている

- ① 沖縄の強い紫外線⇒植物は酸化から身を守る(抗酸化成分が豊富になる)
- ② 沖縄は年中温暖な気候⇒植物は虫から身を守る(1-DNJが豊富になる)
- ③ 沖縄は台風の多い島⇒植物は風雨から身を守る(食物繊維が豊富になる)
- ④ 沖縄はサンゴ症の大地⇒植物はミネラルで育つ(カルシウム、鉄が豊富になる)

参考：Ekouhou.net 島根大学医学部生物応用グループ
Food Chemistry. 島根県産業技術センター研究報告
わかさの秘密、一般社団法人 日本農村医学会*



はいさい！はい

薬局訪問 VOL. 46

取材当日に野球場の横を通った際、平日にも関わらず、阪神選手目当ての観客が想像以上に多かったことに驚いた。ぎのざ薬局は、プロ野球キャンプで賑わう宜野座村にある薬局の2軒中の1つであり、1976年に開設された歴史ある薬局だ。

(文：広報委員会 伊差川 サヤカ)

ぎのざ薬局 (宜野座村)

私たちを出迎えてくれたのは管理薬剤師の比嘉智子先生。色白でやさしい雰囲気美人なお姉さん薬剤師さんに、緊張もほぐされた取材陣だった（あとで、高校生も含む3人の男の子のお母さんということを知って耳を疑う）。

カウンター横の壁には阪神タイガースのフラッグがでかでかと飾られている。毎年、キャンプの時期になると出すらしく、今年も出番がやってきたようだ。キャンプの観戦客が来店することもあり、この時期売れているのはカイロ。レジ付近にも目立つように置かれている。レジのすぐ上には、壁の3分の1を占めるであろう大きな手書きのポスターがある。OTCで入っている成分について比嘉先生が作成したものだ。これを見れば、自分の症状に合わせてどんな成分を含んだ薬品を選べばよいかわかる。セルフメディケーションを後押しする工夫が散りばめられている。OTC1,000種類、サプリメント、健康食品、介護用品、その他生活雑貨を多く扱う。品目の多さとは裏腹に、整然とした明るい薬局内はつつい長居したくなる雰囲気がある。OTCの中には、ぎのざ薬局の薬袋でパッケージして販売しているものもある。一度でも購入した方には、ぎのざ薬局に行けば、いつものあの症状に対応した薬があるとわかるのもメリットだ。

薬局内を見回して目を引いたもの、それはご祝儀袋と香典袋。利用客からの要望で置かれた品だという。実は開設当初は薬しか置い

ていなかったが、品揃えは地域の変遷に合わせて変化してきた。付近の商店が高齢化の波で畳まざるを得ず、扱っていたヘアカラーや洗剤などを少しずつお店に置いていくようになったところ、痒い所に手が届くようなバラエティに富んだ品揃えになったそうだ。

実は、比嘉先生の旦那さんも薬剤師で、前身が漢方系薬局でお勤めだったことから派生し、マクロビオティックのカフェや、耳つぼダイエットのお店も構えている。マクロビオティック (Macrobiotic) は、従来の食養に、桜沢如一（さくらざわ ゆきかず）による陰陽の理論を交えた食事法で、長寿法を意味しているそうだ。(出典：正食協会HP <http://www.macrobiotic.gr.jp/>)

ご夫婦で漢方薬にも詳しい比嘉先生。食養生も重んじている。「薬で人は治せない」をモットーに、人を健康に導くには、正しい生活習慣が基本だ。嫌々生活習慣を改善する、ダイエットをしようと思ってもなかなかうまくいかない。伝えるコツは相手の懐に入り込



ぎのざ薬局外観



取材に応じる比嘉 智子氏



み、本音を聞いてこそ、薬剤師のチカラが生きる。伝えるときは、できる限り”「I（私）」メッセージ”を用いる。主語を「あなた」から「私」に入れ替えることで、メッセージはうまく伝わるようだ。

例) ユーメッセージ:「(あなたが) 禁煙してください」

アイメッセージ:「禁煙すると (私が) 嬉しいな」

薬局に1日に来るお客様の数はなんと7-80人、小学生から高齢者まで幅広い。地域柄、知った顔が訪れることも多い。人生の先輩方に対して、健康法を説くなんて恐れ多いと語る比嘉先生。自ら健康法や薬について押し付けるような指導はしたくないという。ただ、自分が健康になったり、笑顔でいたり、目標となるような存在になりたいと、とても控えめな姿勢なのに輝いている。

比嘉先生は学校薬剤師としても活躍しており、宜野座小・中学校・高校、他小学校2校

を受け持っている。小・中学校では、主にタバコ・お酒の害やお薬の使い方について講演を行っている。高校では、希望される保健の先生や学生に、マクロビオティックの考え方や玄米の炊き方などを教えてほしいと呼ばれることもある。きっと、比嘉先生に憧れて薬剤師になりたいと思う子供たちもいるだろう。

比嘉先生の活動や、ぎのぎ薬局そのものが、地域の方の健康をサポートしていることを感じた。

薬を扱う私たちは、ついつい薬について色々説明をしがちだが、まずは毎日の生活内容を見直すこと。薬だけではなく、様々な健康法にも詳しい比嘉先生への取材を通して、薬剤師という職業ではなく、地域に根付いた薬剤師という生き方について学んだ時間となった。

取材時は、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



OTCに入っている成分を手書きで書いた大きなポスターが目を引く。品目の多さとは裏腹に整然とした明るい薬局内。

取材報告

麻薬探知犬取材報告

日時：平成30年2月28日（水）15：00～16：30

場所：沖縄地区税関 那覇空港税関支署



広報委員会
安次富 大

去る2月、2018年戌年と薬剤師にちなみ、沖縄地区税関の協力の下行った麻薬探知犬による不正薬物取締り現場の取材報告を致します。

〈概要〉

- 麻薬探知犬とは、人間の数万倍と言われる嗅覚を利用して、麻薬を見つけだすよう訓練された犬のこと。
- 麻薬探知犬は全国の税関に配備されており、海外旅行者の手荷物、外国から輸入される貨物や郵便物の検査に活用されており、不正薬物の摘発に貢献している。
- 今回の取材場所は那覇空港国際線だが、港や郵便局でも検査を行っているという。
- 沖縄県内においては米軍基地内で非公用軍事郵便物（個人の郵便物）の検査も行う。

〈麻薬探知犬について〉

- 全国から適性のあるもの1-2歳の犬が試験を通して選ばれ、貨物検査対応犬若しくは旅具検査対応犬として育てられ、7年間活躍する。
- 適性は動くものへの興味、人間に危害を加えない、物怖じしない、そして1度つかんだものを離さない独占欲を確認される。
- 検査中はハンドラーと呼ばれる税関職員と1対1のペアになって行動する。
- 業務を行う上でハンドラーとの信頼関係が重要である。
- 麻薬探知犬は、貨物や郵便物の匂いを嗅いだり、海外旅行者の周りを歩きながら匂いを嗅いで検査を行っている。麻薬の場所を探し当てると、その場に座って教えてくれる。
- どの麻薬探知犬もおとなしく、人を噛んだりしないので安心してほしいとのこと。

- 麻薬探知犬は、検査を行う方法で2つのタイプがある。一つは、多くの貨物や郵便物を検査できるよう訓練された「貨物検査対応犬」、もう一つは、空港などで旅客の周りを歩いて検査するよう訓練された「旅具検査対応犬」である。
- 麻薬探知犬になるためには、1～2歳の犬が約4カ月間厳しい訓練を行い、認定試験に合格して麻薬探知犬として認められる。
- 現在、麻薬探知犬として活躍している犬種は、ラブラドル・レトリバーとジャーマンシェパードが主だが、犬種は問わず雑種でも麻薬探知犬に適していれば問題ないと言う。
- なぜ、麻薬探知犬が麻薬を探し出せるのか？麻薬探知犬の訓練の始めは、犬にダミーと呼ばれるタオルを棒状に堅く巻いたものを使って遊んであげる。犬は次第にダミーに興味を持ち、本能的にダミーを探すようになる。次にこのダミーに麻薬の匂いを付けて遊んであげると、犬はダミー＝麻薬の匂いと条件付けで学習していく。この訓練を続けたあと、犬の見えない場所に麻薬を隠すと犬は自慢の鼻を使って懸命に麻薬を探しだそうとする。犬が麻薬を探し当てると、ハンドラーは犬を褒めてダミーを与えタグオブワー（Tug Of War）というダミーの引っ張り合い、綱引きをして遊んであげる。犬は麻薬を探し当てるとハンドラーからダミーを貰えて、タグオブワーで遊んでもらえる。麻薬探知犬にとって、麻薬探しはゲーム・遊びなのである。

〈薬物の扱い〉

検察庁に告発した案件は検察庁に薬物を送致し、告発までには至らず行政処分（通告）として税関が没収等した薬物は厚生労働省に引き継いでいる。

なお、訓練用として麻薬類を取り扱うため、ハンドラーは薬物の取扱免許を取得している。

〈沖縄県における摘発の現状〉

- 外国からの観光客が増加を辿る現状に伴い、摘発件数は増加。
- 平成29年における摘発件数は41件。中でも大麻摘発件数が前年比2.5倍に増え、キロ単位の覚醒剤の摘発も2年連続で続いている。
- 摘発総数には向精神薬、指定薬物も含まれる。（計1292錠、510g）

〈引退後〉

- 麻薬探知犬として約7年間で勤め上げた後引退した犬は、民間の引取先を探し譲渡される。
- 引取先には職員も安心して任せられる人を探している。
- その情報について認知度が低く、広く受け取り手が求められている。

〈感想〉

名前は聞いてもその実際については知る機会の少ない麻薬探知犬。今回は薬剤師として、薬物という共通点を通して話を聞きましたが、沖縄で不正薬物を流通させないという社会的意義の大きな内容、増加する観光客の絶対数に苦勞しながらも対応し、摘発件数を増やすその実績には強く刺激を受けるものがありました。特に印象的だった「99.9%は善

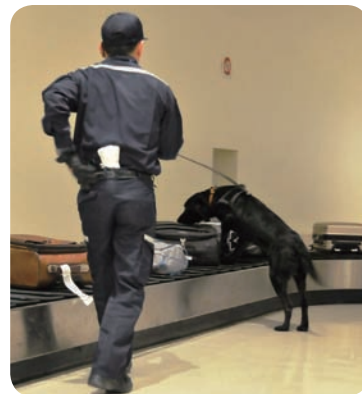
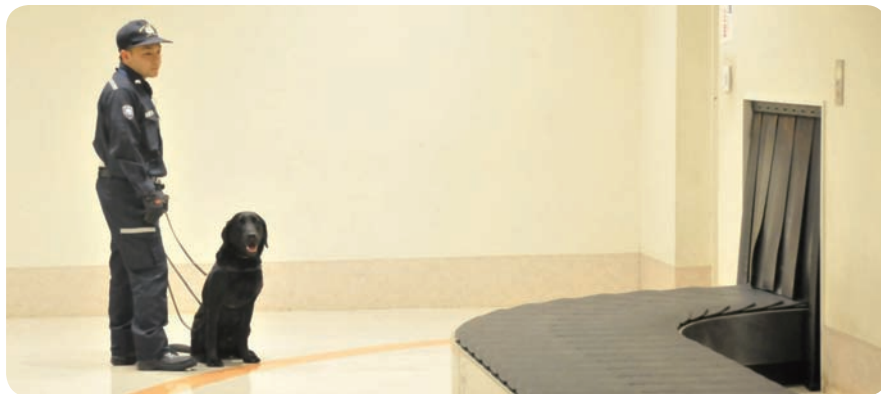


税関広報広聴官の小谷真治氏（左）とインストラクターの島袋証吾氏（右）から説明を受ける。後方のキャップの3名はハンドラー：左より、松堂正吾氏、比嘉大吾氏、齋田英二氏。

良な人、それらの中から0.1%を見つける仕事です」という言葉はこの現場だからこそ聞いたのだと実感できました。

また、社会的意義のみではなく、税関職員やハンドラーさんの人となり、心配りにも多くを学びました。パートナーの犬との信頼関係、遊びとして麻薬探知犬が働けるような心遣い、犬が苦手な方を怖がらせない工夫、引退後までを思いやる優しさ。働く場所も業務内容も全く異なりますが「人を思いやる」「薬物の適正な流通に貢献する」これらの思いは薬剤師とも共有する部分が大いにあるのだと感じました。お互いの職能を発揮し合い、より良く安全な社会を共に築いていければと、心強さを覚えると共に、自らの仕事を新たな視点から捉える良い機会となりました。

最後に、今回の取材にご協力いただいた沖縄地区税関への心からの感謝と共に、今回の報告とさせていただきます。



那覇空港国際線ターミナル機内預かり手荷物受取口で待機する麻薬取締犬（ラブラドル・レトリバー）とハンドラー（税関職員）。「ガタン」と音を立て機内預かりの手荷物を載せたターンテーブルのベルトが回り始めた。それと同時に、麻薬探知犬とハンドラーが素早く動き出し、手早く手荷物検査を行っていく。手荷物に1つずつ鼻をくっつけスピーディーに嗅いでいく麻薬探知犬。



旅と薬と思い出と



すこやか薬局 おもろまち店
安次富 大

「人生とは旅であり、旅とは人生である。」

かの中田英寿さんが言ったこの言葉。その深さを日々改めて感じ、過ごしています。

人との出会い別れを繰り返し、お互いの人生に関わり合う。薬剤師の日々も旅の様だなあと思いつつ、時折振り返る本当の旅の記憶は負けじと輝かしいものです。深夜のホステルで自分のベッドに寝ていた見知らぬおじさんとの遭遇、二段ベッドの下からビールの匂いを帯びた大音量のいびきを背中に放ってくる見知らぬおじさん、相部屋のスペイン人グループと意気投合した騒音への通報騒動—。

どうやら、人生にはどうしても本当の旅でしか得られない経験があるようです。旅の思い出は当時どんな感情を抱いていても振り返れば微笑ましく、素晴らしく。選ぼうにも甲乙つけがたいですが、今回は薬剤師らしく薬にまつわる体験談をしたいと思います。

地中海に浮かぶ蠱惑的な島、真夏のマルタ共和国で過ごした休暇でのことです。その日は観光を終え、マリナクティビティをすることに。SUPヨガやフライボードの誘惑にも迷いながら選んだのはジェットスキー、バスケットチューブ、そしてパラセール。日本ではできない免許なしでのジェットスキー操縦の興奮、バスケットチューブの爽快感もさることながら、世界遺産でもある首都バレッタを遠目に、眼下に碧く輝く地中海を一望するパラセールの景色は正に無二の体験です。しかし、このパラセールが曲者でした。

直射日光はもちろんのこと、周り一面を囲む海からの照り返しを体中に浴びた結果、その日の夜から露出していた素肌全てが真っ赤に。翌日には歩く際の服の擦れすら痛む始末です。後輩と痛み我慢の根性比べをしながら互いの肩を叩き合う中、救いを求めて現地の薬局へ。しかし移動の飛行機でサンオイルが没収されたことを考えるとアフターバーンオイルに手は伸びず、クリームもない状態。困り果てた異国の薬局の中、目の前に現れたのが皆さんおなじみNSAIDs！痛みに邪魔される中で頭が必死に働きます。そもそも日焼けとは炎症反応であるはず、だとすれば原理的に抗炎症作用があればこの痛みは治まるはず……？購入して即座にレストランへ、食事を済ませ1錠。みるみる痛みが治まっています。薬が切れて夜中にうなされることもありましたが、おかげで無事に素敵な異国の休暇が過ごせ、自分の健康に関して薬剤師で良かった、と心底思ったのはこれが初めてのことです。

めでたしめでたし、のような備えの悪い自業自得のような。なんとも受け取り方に困る話ですが、それも全部ひっくるめて私の人生の一部、旅の一部です。

旅にまつわる四方山話は尽きませんが、それはまたの機会にいつかどこかで？

次号には、新垣 優美絵 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

薬連だより

本田あきこ オレンジ日記 堀内実穂さんと二人三脚

日本薬剤師連盟
副会長 本田 あきこ



桜の季節もあっという間に駆け抜けてしまいました。関東以南の皆さんは、例年より早い満開の桜を楽しまれたことと思います。東北以北はこれからが本番と聞いています。日本列島は本当に縦に長いのだと実感する桜の季節です。

さて、私の全国支部訪問の旅は、東京、関東を終え、4月より中国地方に入っています。岡山県を皮切りに、山口県、広島県、島根県、鳥取県を訪問させていただきます。岡山県では、地元岡山の代表藤井議員をご支援下さる多くの製薬会社や卸会社を訪問させていただきました。また、最終日には、女性薬剤師の皆様が主催された「女子カフェ」にお邪魔させていただくことができました。2～3か月に一度のペースで情報交換をされていることです。女性薬剤師の声を広げていくことも私の使命と改めて胸に刻む機会となりました。

ところで、3月までは本部の役員の先生に同行をお願いして支部訪問を行ってきましたが、4月から堀内実穂さんが全国行脚の一員に加わっていただき、訪問時の写真撮影、現地との日程調整等を行っていただいております。

堀内実穂さんは、熊本県立大学文学部日本語日本文学科を卒業され、高校の国語の教師をされたのち、趣味である野球を生かし、プロ野球球団に関係のある熊本のクラブチームで、3月末まで5歳から12歳の少年少女に野球を教える仕事をされていました。ご自身も硬式野球チームの4番打者、キャプテンとして昨年末まで活躍されていました。秘書的な業務は初めてのことだそうですが、短期間の内にすっかり仕事を覚えられ、二人三脚で元気に活動しております。本田あきことその分身である堀内実穂を今後ともよろしくお願い致します。

- 1 Facebookページ「本田あきこの部屋」を公開しました。

右のQRコードから閲覧してください ⇒



- 2 本田あきこのホームページを開設しました。

<https://www.honda-akiko.jp/>

- 3 本田あきこメールマガジンを開始しました。

右のQRコードから登録をお願いいたします ⇒



薬連だより

本田あきこ オレンジ日記 薬剤師会の会員でよかった !!



日本薬剤師連盟
副会長 本田 あきこ

4月の中国ブロックの訪問活動を終えて、5月のゴールデンウィークは地元熊本で活動を行いました。

中国ブロック訪問中は、薬局訪問のみならず、卸や病院にも訪問させていただく機会を頂戴いたしました。病院の薬剤師の方々からは、病棟業務の現状等、日頃お話しを聞くことが少ない貴重な情報を得ることが出来ましたが、薬局と同様に薬剤師不足で困っておられるとのことでした。

また、4月18日には日本薬剤師会会議室において、全国から担当者が集合しての私の後援会名簿入力システム説明会が開かれていたことから、訪問中の広島県薬剤師会館からスカイプにより参加者の皆さんへ、画面越しではありましたがご挨拶をさせていただきました。

さて、熊本での活動ですが、ご支援いただいている方々や支援企業への訪問、自民党県連の女性局総務会への参加、後援会の方が

セットしていただいたモーニングセミナーでの講演等です。セミナーでは「熊本地震の体験から感じたボランティア活動の在り方」と題して講演させていただきました。終了後、おくすり手帳はどこでもらえるのかなどの質問があり、一般の方にはまだまだ浸透不足なのかなと感じたところです。

ところで、熊本県薬剤師会は、4月28日に白衣の「くまモン」が車体に大きくプリントされたモバイルファーマシーのお披露目式典を開催しました。また、5月から熊本県薬剤師会研修カードが一新され、このカードにも白衣姿で乳鉢・乳棒を抱えた、熊本県薬オリジナルの可愛いらしい「くまモン」がデザインされています。日薬会員であるとともに、こんな可愛い研修カードを持てる熊本県薬の会員でよかった！！と感じた瞬間でした。

毎日の私の活動状況を下記のFacebookに写真とともに投稿していますので、是非ご覧になってください。

- 1 Facebookページ「本田あきこの部屋」を公開しました。

右のQRコードから閲覧してください ⇒



- 2 本田あきこのホームページを開設しました。

<https://www.honda-akiko.jp/>

- 3 本田あきこメールマガジンを開始しました。

右のQRコードから登録をお願いいたします ⇒



薬連だより

国会レポート 厚生労働委員会の質疑

参議院の厚生労働委員会は、3月20日に加藤厚生労働大臣の所信を聴取し、22日に所信に対する質疑を行いました。私は自民党のトップバッターとして、質問に立ちました。

まず社会保障費について、2015年の骨太方針において、その伸びを3年間で1兆5千億円を目安とすることが示され、財源捻出のため結果として、医薬品等の一部の産業界が負担したことは、国民にとっても大きなマイナスなると指摘し、政府として十分な財源を確保して持続的な社会保障システムを構築するよう求めました。また、本年の診療報酬改定において、別枠として、いわゆる大型駅前薬局の適正化が行われていることを踏まえ、枠の内と外で対応する項目について、一定の方針を示して行うよう要望し、併せて、病院敷地内への薬局の設置・誘致に対する厚生労働省の考えを質しました。次いで薬剤師の需給について、薬学6年制教育を受けた6回生が卒業する時期となり、その職能への期待も広がる一方で、大学も増えて大学間の格差や国家試験合格率の格差なども指摘されていることから、その認識を伺い、加藤大臣から「来年度の厚生労働行政推進調査事業費補助金を用いて薬剤師の需給を把握するための調査を行う」とのお答えを頂きました。

最後に薬物対策について、加藤大臣から「薬物乱用対策推進会議議長として、国内のみならず海外で問題となっている薬物乱用の実態を踏まえてしっかり対応するとともに、本年8月に薬物乱用防止五カ年戦略の改定に向けてしっかりと取り組んでまいります」との決意を伺い、質疑を終えました。

質疑内容は、参議院HPに録画映像や会議録が掲載されていますので、関心のある方は是非ご覧頂ければと思います。

厚生労働委員会の質疑（その2）

参議院厚生労働委員会は4月12日に食品衛生法改正案の審議が行われ、今国会2度目の

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



質問に立ちました。平成15年以来となる今回の改正は、調理食品や外食・中食へのニーズが高まり、ノロウイルス、カンピロバクター等の食中毒の発生が高止まりし、広域化していること、国民の健康志向の高まりとともに、健康食品の利用が拡大していることなどに対応するものとなっています。

今回の質疑では、広島県地域保健対策協議会が平成27、28年に実施したアンケート調査結果を引用して、健康食品の使用によって通院や服薬を自己判断で中止した人や健康食品の使用により体調不良を感じた人がいることを挙げ、消費者に対する広報・啓発活動が重要であることを指摘し、かかりつけ薬剤師指導料の算定要件の一つに、患者さんの服薬するお薬に加え、健康食品についても把握することが通知されており、消費者が健康食品を正しく理解し利用するため、薬剤師・薬局を積極的に活用するよう求めました。更に、「健康食品」という呼称が誤認を生む一因ではないかと指摘し、脱法（合法）ドラッグを危険ドラッグと改め功を奏したことを例に、呼称の変更を提案しました。また、健康食品の品質について、日本薬剤師会が各県の薬剤師会検査センターにおいて実施した崩壊試験の結果、錠剤・カプセル剤形状の機能性表示食品に崩壊しない製品が複数認められたとの報告書を基に、機能性表示食品の健全な育成のためにも、そうした情報が消費者に正しく伝わるよう、その対応を要望しました。

今回の質問に際して、貴重な資料をご提供頂いた薬剤師会関係者の皆様に御礼申し上げます。前月号でもお知らせしましたが、参議院HPに録画映像や会議録が掲載されていますので、ご覧頂ければと思います。

薬連だより

平成29年度 沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム

日時：平成30年3月17日（土）19：30～21：00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

テーマ：「薬剤師職能と政治力の必要性について」



亀谷 浩昌 沖縄県薬剤師連盟 会長あいさつ

「薬剤師職能と政治力の必要性について」をテーマに、4講師の講演を拝聴。若い薬剤師の中には、なぜ我々の仕事に政治が関係しているの？と考える方も少なくない。それについては、きちんと伝えきれていなかった部分もあり反省の至るところである。今年は2年に1度の調剤報酬改定があり、大幅な点数の見直しがなされた。ただ、予想よりも厳しい結果とはならず、ここでも政治の力（薬剤師議員を中心に）で踏ん張ってくれたおかげではないだろうか。

沖縄県薬剤師連盟
副幹事長 石川 恵市



我々医療に関わる点数は、中央即ち国会で決定される。そこでの重要ポストを担っているのは国会議員であり、我々にとっては薬剤師議員が必須である。ただ、各医療団体と比較すると薬剤師議員は少なめだ。限られた医療費の予算を、各医療団体に割り振りしている状況下、どうしても厳しい結果となつてし



本田あきこ挨拶（DVD放映）



司会進行
上原 卓朗
青年部会長



開会あいさつ
吉田 久子
沖縄県薬剤師連盟幹事長



閉会あいさつ
石川 恵市
沖縄県薬剤師連盟副幹事長

<式次第>

1. 開会のあいさつ
2. 会長あいさつ
3. 本田あきこあいさつ（動画）
4. 講演
「政治力の必要性」
「日本薬剤師連盟の現況」
「薬剤師 昨日、今日、そして明日」
5. 特別講演
「なぜ薬剤師が政治に関わるの？」
6. 閉会のあいさつ

司会進行 青年薬剤師部会部会長 上原 卓朗
沖縄県薬剤師連盟幹事長 吉田 久子
沖縄県薬剤師連盟会長 亀谷 浩昌

沖縄県議会議員 山川 典二
日本薬剤師連盟副幹事長 小野 春夫
日本薬剤師連盟幹事長 岩本 研

衆議院議員環境副大臣 とかしき なおみ
沖縄県薬剤師連盟副幹事長 石川 恵市



講演1 山川 典二
沖縄県議会議員



講演2 小野 春夫
日本薬剤師連盟副幹事長



講演3 岩本 研
日本薬剤師連盟幹事長



特別講演 とかしき なおみ
衆議院議員環境副大臣

もう。政治力で左右される調剤報酬は、薬局経営に関わってくる。我々薬剤師はもちろんのこと、医療事務スタッフやその家族の生活にも強く影響してくる。そのためにも、皆様のご理解をいただきながら地道に後援会名簿集め・薬局訪問に取り組んでいきたい所存である。

また、ご周知のとおり沖縄県には薬学部が無く、離島県という状況下もあって、全国的に見ても極めて薬剤師が不足している地域である。数年前に新規薬学部の設立が相次ぎ、確かに全国同様薬剤師数の底上げはあったものの、人口10万人当たり全国平均の181人に対し、沖縄県は134人と最下位である。今、

薬剤師に求められているのは「健康サポート薬局」「かかりつけ薬剤師」を目指すことである。充足する一部の都道府県であれば、その理想を実現させることは可能であるが、沖縄県では薬剤師数が絶対的に少ないために浸透しづらいのが現状である。そのためにも沖縄県内の薬剤師確保に力を注がなければならない。

沖縄県薬剤師会としては、西普天間返還跡地への移転が検討されている琉球大学（医学部および同附属病院）に薬学部の創設を強く要望している。厳しい取り組みではあるが、ここでも政治力が必要である旨を付け加えておきたい。

＜若手薬剤師フォーラムに参加して＞

若手薬剤師フォーラムに参加して、薬剤師でもある環境副大臣のとかしきなおみ先生が述べられた「財務省が増大する医療費を鑑みて院外調剤を院内調剤になるよう動いている」という内容に衝撃を受けました。と言いますのも、私はこの講演を聴くまでは、薬剤師と政治の関係性がそれほど大きく関係していることを理解していないところがありました。

私は、現在31歳と薬剤師としてはまだまだ新参者ですが、この業界に携わるに当たり例えば調剤報酬改定など薬局運営に関わる情報のみを収集していました。しかし今回の講演を拝聴し、それだけでは駄目なのだと痛感しました。そもそも薬剤師と政治力がどのような関係性で動いているのかが分かりませんでした。例えば前述で触れました「財務省が増大する医療費を鑑みて院外調剤を院内調剤になるよう動いている」ことについては、医師や看護師に比較し薬剤師の国会議員はかなりの少ないため発言力が弱くなり、政治力においては医師や看護師業界には恩恵が受けやすく、薬剤師業界には恩恵を受けにくいという事に繋がるのだと理解しました。（医療の分野の国会議員の人数は、医師が21名、看護師6名、薬剤師は4名という数字は本当に驚愕でした。）

私見ではありますが、私も含めた若い世代

登川薬局
富永 晃弘



の薬剤師も薬局運営を行うため、日々様々なことに奮闘し、努力していると思いますが、この講演を拝聴した後では、現場だけでなくさらに「政治家との協力」という外堀を埋める作業が必要なのだと痛感しました。

私は、これからこの体験をもとに、現場だけでなく薬剤師業界の将来を担うための活動やこれら有益な情報を友人知人などにも伝え、小さな力ではありますが、薬剤師業界がより良い環境になるよう尽力していきたいと思っています。

最後に、このような情報の場を提供して頂きました、沖縄県薬剤師連盟の皆様、環境副大臣のとかしきなおみ先生、日本薬剤師連盟幹事長の岩本先生、副幹事長の小野先生に対して感謝と共に、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



乾杯の音頭 神村 武之 顧問

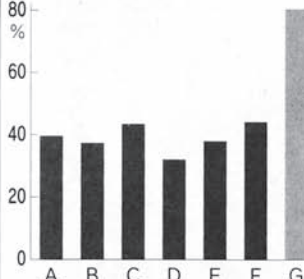


記念撮影

転載記事

平成30年2月12日(月) 日本経済新聞

徳島県内の大学病院前薬局は
後発薬の調剤率が低い



(注)協会けんぽ徳島支部の資料から作成。
2016年4月診療分。A～Fは徳島県内展
開の調剤薬局、Gは全国チェーンの薬局



後発薬利用が促されている
が…(都内の調剤薬局)

後発薬使用率 地域差大きく

最高は沖縄、最低は徳島

膨らみ続ける医療費を
抑える切り札である後発
医薬品。最も使われてい
るのは沖縄県、最低は徳
島県でその使用率は実に
20ポイントの開きがある。な
ぜこれほど違つか。住
民の所得、年齢構成や慣
習などが複雑に絡み合
う。(小川和広)

全国の都道府県で後発
医薬品の使用率でトップ
を走るのが沖縄県だ。2
017年3月末で79・9
%と全国平均の68・6
%を大きく上回る。
一つは経済的な事情が
ある。沖縄県の県民所得
は1人当たり213万円
(14年度)で全国で最も
低い。後発薬は先発薬の

所得・年齢・慣習絡む

エコノ
フォーカス
ECONO FOCUS

半額ほどで済むため、懐
に優しい。しかし理由は
ほかにもある。米国統治
下時代の名残だ。
日本の医療保険制度で
はなかった医療費の1
3割を病院の窓口で支払
う。だが「当時の沖縄で
は医療費全額を患者が立
て替え、後で自己負担分
以外の費用を還付しても
らう」(沖縄県薬剤師会
の亀谷浩昌会長)方式だ
った。立て替えとはいえ
大きな出費が嫌われた。

人口構成力ギ

同じ都道府県内でもば
らつきがある。例えば東
京23区。最高の足立区が
68・4%なのに対し、最
低の新宿区は55・4%だ。
1人あたりの所得は足立
区は23区中で最低だが新
宿区は23区中で最も高い

「20年に使用率80%」達成なら

医療費数千億円減も

政府は後発医薬品の使用率
について、2020年9月ま
でに現在の60%台後半から
80%まで引き上げる考えだ。
米るイメージがつかま
ない。例えば花粉症の人にな
る。日本でも障壁は多く達
成は容易ではないが、この水
準を目指す。使用率が80%
になれば、医療費が数千億
円規模で削減できると試算
が。後発医薬品は「ゾロ薬」と
呼ばれた時期があった。先
発薬の特許が切れると、様
々なメーカーがその薬をゾ
ロと出すからだ。薬価も安
くなることもあり先発薬に劣
るイメージがつかま
ない。後発薬は依然として少
ない。後発薬メーカー(幹部)
「肝心の処方箋を出す
医師が、後発薬を積極的に使
わない例がある。」
後発薬の使用を促すのに並
行して、政府は後発薬のある
先発薬の価格を後発薬の水準
まで段階的に下げる仕組みま
で繰り出し、薬価の圧縮を目
指している。

宿区も8位と中間で所得
では割りきれない。
数字を読み解く力ギは
人口構成だ。国民健康保
険(国保)では、新宿区
は加入者に占める20〜29
歳の割合が約22%で全国
平均の約3倍と高い。外
国人留学生が多いことが
影響している。一方、60
〜69歳の割合は18%と全
国平均より14%も低い。
厚労省によれば1人当
たり医療費は15・44歳は
年間12万円だが70歳以上
は84万円。新宿区の1人
当たり医療費は23区中で
最も低い。「医療費負担
が軽い自治体では後発薬
の使用を促すメリットが
小さい」(厚労省幹部)

自治体・病院動く

後発薬の使用を増やす
には医師に後発薬名が成
分の名称で処方してもら
い、患者に後発薬を選ぶ
ように促す必要がある。
自治体は後発薬の使用を
促すため、後発薬の使
用率を高めた。
栃木県の南西部にある
安足地区は自治体が病院
に働きかけ、後発薬の使
用率を高めた。
協議会で先進的な病院
が自らの取り組みを発
表、共有する。各参加病
院は「何かやらざるを得
ない」(関係者)。調査
できないためという。

後発薬使用率にはばらつきがある (2016年度末)



(出所)厚生労働省の資料から作成

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成29年12月8日(金) 琉球新報

服薬忘れ 沖縄最多

糖尿病患者調査 不規則な生活要因

医師の指示通りに服薬することができなかった1カ月当たりの回数が、沖縄県は全国1位であることが製薬会社の全国調査で7日までに、分かった。服薬できなかった理由として「食事が不規則でタイミングを逃す」や「忙しい」との回答が多く、患者の生活習慣に課題があることが浮かび上がった。

「医師と話し合いを」

調査は、運動不足などの生活習慣や遺伝が原因と考えられる「2型糖尿病」の患者計2942人を対象に

47都道府県で日本イーライリリー（兵庫県）が実施した。沖縄県の調査人数は人口比で44人。患者の服薬状

全国平均5.1回		回数
順位	都道府県(サンプル数)	回数
1	沖縄県(44)	10.0
2	大阪府(113)	8.8
3	福岡県(110)	8.3
4	富山県(34)	8.1
5	秋田県(33)	7.4
6	鳥取県(34)	7.2
7	群馬県(54)	6.9
8	山口県(33)	6.6
9	宮城県(105)	6.5
10	千葉県(112)	6.1

医師の指示通り服薬できなかった1カ月当たりの回数ランキング

況を調べた。

その結果、「医師の指示通りに服薬できなかった1カ月当たりの回数」が沖縄

県は平均10回で、全国平均5・1回の約2倍に上った。また「医師の指示通りに服薬できなかった経験がある患者」は38・6%で、全国平均の35・8%を上回った。

服薬できなかった理由を「うっかり忘れてしまう」と回答した人が最も多く50%。「食事が不規則で飲むタイミングを逸してしま」が36・4%、「外出先」に持って行くのを忘れる」が31・8%、「忙しくて思い出せない」が27・3%と続いた。

「どうすれば薬を全て服用できるようになると思うか」との質問には「複数種の薬を一つの袋にまとめ」る」や「薬の種類を減らす」と答えた人が多かった。

た。

日本イーライリリー広報の小宮山みづきさんは「沖縄の糖尿病患者にとって、不規則な生活習慣と服薬治療とのバランスをとることが課題になっていると分かった。ライフスタイルに合った治療方法について患者と医師が話し合うきっかけにしてほしい」と話した。

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成30年2月11日(日) 沖縄タイムス

寄稿



西川 裕

身近な薬剤師 気軽に相談を

「自宅に残っている薬がありませんか? 内服薬を服用する2型糖尿病患者が、医師の指示通りに服用できずに、1カ月当たりの残薬が発生する割合(残薬発生率)が3・1%だったことが製薬会社の調査で分かった。また、都道府県別では、服薬でなかった回数、残薬発生率ともに全国平均を大きく上回り、沖縄がワースト1位であった。」

ない事情もある。だが、1週間分以上ある残薬は「重複して服用してしまうリスク」や「保管状況によっては効果が弱くなってしまうリスク」もある。

そこで、薬を安全安心に使用していたくためにも「薬の一元管理」が必要になってくる。その役割を果たすのが、かかりつけ薬剤師である。かかりつけ薬剤師は、昨年4月から制度化

調査からは、沖縄県の患者は糖尿病治療に取り組む上で、不規則な食事の時間や外出時などライフスタイルと服薬をマッチさせることが難しく、患者それぞれが適切な治療にどのように関わっていくか課題を抱えていることが示唆された。沖縄県の場合(特に離島、へき地)、台風などの災害時のために手元にお薬を置いておかなければいけ

されており、お薬をもらう薬局(薬剤師)を1箇所に決めることで①信頼できる薬剤師を選ぶことができ顔なじみで相談がしやすい②お薬をトータルで把握してもらえ、飲み合わせや副作用、お薬の重複などの確認を受けることができる③残ったお薬についても相談ができ、無駄なお薬を出さないようにできる④夜間や休日など

の薬局の営業時間外でも、緊急の場合は24時間電話で相談ができるーなど、患者にとって大変メリットがある制度である。

また、飲み忘れが多い患者も、「たくさんあるお薬を一つにまとめてパックして渡してほしい」「服用している薬の種類を減らしたい(合剤の利用)」「服用回数の少ない飲み薬に変更したい」「服薬管理手帳や携帯電話のアプリなどで服薬状況や回数タイミングを管理したい」等相談することができる。

もし、複数の薬局を利用されているのであれば、普段から利用する薬局を「かかりつけ薬局」として一つ決めてほしい。そして、薬や健康に関してなんでも相談できる「かかりつけ薬剤師」を探して活用してほしい。

道に迷ったら「交番のお巡りさんに相談」ですよね。健康とお薬のことで迷ったら「かかりつけ薬局の薬剤師に相談」してください。(那覇市、県薬剤師会常務理事、36歳)

前頁のように地元紙2紙に掲載されたことで、当会は上記のように投稿し、県民に向けて啓発しました。

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成30年2月15日(木) 琉球新報

県内医療4団体 60万円超を寄付 県交通遺児育成会

県医師会の安里哲好会長ら県内の医療4団体の会長が14日、那覇市の琉球新報社を訪れ、県交通遺児育成会（理事長・富田詢一琉球新報社社長）に計60万9036円を寄付した一写真。安里



会長は「交通遺児は発生すべきではないが、そうなってしまった方々に何らかの寄与ができたらと思う」と

述べた。

一緒に訪れた県歯科医師会の真境名勉会長、県薬剤師会の亀谷浩昌会長、県看護協会の仲座明美会長は「医療従事者が一つになって寄付ができるのは意味があることだ」と強調した。

同育成会に対する4団体の寄付は総額1956万円余に上る。

平成30年1月29日(月) 沖縄タイムス

茶のふ話



現している題名」だという。

また過日、吉本バナナと名嘉睦稔の沖縄対談を読んだ。世界観にそうズレがないという2人の芸術家の、研ぎ澄まされた霊性なるものに触れた気がした。これはぜひ北谷にあるボクネン美術館

過日、末吉發の伊是名村勢理客写真集「うらーだーぬが」を見た。懐かしい牧歌的な写真の数々に見入って後、末吉と同郷の名嘉睦稔の「発刊に寄せて」を読んだ。いかにも芸術家の感性で捉えた感想を見事な文体で述べ、末吉の写真(俳句も)を絶賛している。ちなみに睦稔は「うらーだーぬが」は「自らのアイデンティティーを問う象徴として見事な言葉であり、この写真集の真価を的確に表現している」という。

薨の波

狩俣 イソ(65)

に行かねばならぬと、友だちの来沖を好機に、案内がてら訪れた。向日葵をテーマに作品が展示されている。睦稔は「ひまわりはゴッホが名作をたくさん描きましたから、ぼくはもういいと思う。だけどやっぱり描かずにはいられない」ほど向日葵が好きだという。向日葵が風に揺れ動く、太陽と戯れる。個性爆発のそれぞれの向日葵があった。見終えて、しゃれたらせん階段を登っていく。「薨の波」と銘打つ扉を開けてさらに登る。と、アカガールが動いていた！ん？波が揺れているような曲線が美しい。まさに薨の波、瓦の波、壮観であった。睦稔がデザインし粘土で作った模型を、約3万枚の赤瓦を織り成し職人が忠実に屋根瓦に仕上げたという。波の前で私たちはたたずんでいた。(敬称略) (浦添市、薬剤師)

会員の狩俣イソ氏の投稿文です。

※2記事ともに、発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成30年5月23日(水) 八重山日報

薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業

沖縄県薬剤師会理事 幸地 良信

Let's 健康おきなわ21
リレーエッセイ ②

本事業は、
沖縄県薬剤師
会が「健康お
きなわ21」の
一環として県
内の広い地域
で開催してきた「健康とおくすり相談会」をベースに、平成28、29年度に離島・へき地などの様々な事業実施が困難である地域に、アウトリーチ型健康とおくすり相談会として、健康増進の機会をつくるものとして開催致しました。

本事業のベースとなる「健康とおくすり相談会」は、薬の相談(使用している薬の使用法や副作用・相互作用等をアドバイスする)に加えて、健康チェックとして、血圧・動脈硬化度・体脂肪率・血糖値・骨密度等生活習慣病にかかる指標の測定を行っていきます。

・助言を行なっています。加えて、未だ薬を服用していない人には、どうすれば健康を保てるかを共に考える事で、地域の皆様のセルフメデイケーションを醸成するのに適した企画となっています。

また、行政や他職種と連携する事により、多角的な視点からの健康の保持・増進を図ると共に、栄養・運動・休養という健康の3要素に着目した指導・助言も

行っています。

八重山地区薬剤師会は沖縄県薬剤師会と協働して、平成28、29年度と本事業を行ってきました。この活動によって地域の皆様のセルフメデイケーションの意識が高まり、生活習慣病等の1次予防・2次予防が一層推進され、ひいては沖縄県の「長寿の島復活」にもつながることを望みます。これからも地域の皆様の健康増進のお役に立ちたいと思っています。

けんぞう君
沖縄県民の健康を増進するため一緒に頑張るキャラクターです

「Let's 健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体が『沖縄県の長寿復活に関する記事』を投稿しています。



けんぞう君
沖縄県民の健康を増進するため一緒に頑張るキャラクターです

「Let's 健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体が『沖縄県の長寿復活に関する記事』を投稿しています。

平成30年2月18日(日) 琉球新報

健康フェスで 身体チェック

南大東、ウオーキングも

【南大東】うふあがり健康フェスタ(南大東村主催)が10、11の両日、南大東村保健センターで開催された。写真。県南部保健所や県栄養士会による栄養バランスチェックなどが行われた。また県薬剤師会による骨密度測定など4種類の身体チェック、健康相談やお薬相談もあった。

ウオーキングもあり、3キロコースに39人、5キロコースに50人が参加。閉会式では特定健診(40〜70歳)の字別の受診率上位の団体表彰や健康づくり実践優良団体表彰の伝達式があった。(池田羊子通信員)



※2記事ともに、発行元が記事利用を許諾しています。

平成30年2月

1木○職業紹介事業許可証交付式・講習会 沖縄労働局 大城課長、事務局宮城

- 平成29年度第2回南部地区健康おきなわ21推進連絡会議 南部保健所 新垣理事
- 平成29年度第4回沖縄県国民健康保険運営協議会 県庁 川満常務理事
- 個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏
- 糖尿病療養支援実践セミナー第17回コメディカル勉強会 中頭病院 共催：ちばなクリニック
- Cardiovascular Total Management Seminar ザ・ナハテラス 共催：武田薬品工業株式会社

○平成29年度第2回災害対策委員会 県薬研修室

○第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会事前打ち合わせ会議 県薬会議室 盛本直也、松本圭五、大城課長

○第18回沖縄「全人的医療」研究会 ロワジールホテル那覇 共催：株式会社ツムラ

2金○平成29年度第2回医療保険委員会 県薬会議室

3土○第13回うるま市生涯学習フェスティバル うるま市民芸術劇場 平成29年度うるま市教育委員会表彰受賞者：蒔初子、瑞慶山純子/大城課長

○第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 県薬ホール 講師：盛本直也

4日○平成29年度医療安全講習会 県薬ホール

○アウトリーチ型健康づくり推進事業健康とおくすり相談会（第153回健康とおくすり相談会） 竹富町離島振興総合センター 担当：八重山地区薬剤師会/亀谷会長、笠原常務理事

○平成29年度研究倫理に関する全国会議伝達講習会 県薬ホール 講師：外間副会長

5月○平成29年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会 厚生労働省講堂 西川常務理事、中尾滋久

6火○平成29年度第2回沖縄県自然環境保全審議会 県庁 宮城敦子

○財務関係打ち合わせ会議 県薬会議室 亀谷会長、山里常務理事、前原信照、山城次長、大城課長

○平成29年度第12回幹事会 県薬会議室

○平成29年度第3回薬事情報センター委員会 県薬研修室 吉田典子(DI)

7水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長

○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（那覇市自治会長へ） 那覇市真和志支所 大城課長

8木○第17回沖縄県健康教育研究大会 豊見城市立中央公民館 受賞者：神山康喜・真栄城玄一・山城専・垣花チエミ/亀谷会長、事務局長嶺

○個別指導・新規個別指導 那覇市第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・川満常務理事

○中部地区研修会：平成29年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会 ヒルトン沖縄北谷リゾート

○医業経営セミナー 株式会社琉薬

○平成29年度第3回BLS講習会 県薬研修室

○第6回おきなわ津梁ネットワーク運営実行委員会 沖縄県医師会館 吉田理事

9金○平成29年度第4回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学医学部管理棟 亀谷会長

- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（那覇市自治会長へ） なは市民協働プラザ 事務局長嶺
- 10土○平成29年度第12回理事会 県薬研修室
- 11日○平成29年度薬剤師生涯教育推進事業次世代薬剤師指導者研修会（12日迄） 日薬 西川常務理事・潮平英郎
 - 平成29年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議伝達講習会（第2回） 県薬研修室
 - 認定実務実習指導薬剤師更新講習会 県薬研修室
 - アウトリーチ型健康づくり推進事業健康とおくすり相談会（第154回健康とおくすり相談会） 南大東村保健センター 担当：那覇・中部地区薬剤師会/亀谷会長、笠原常務理事
- 12月○青年部会主催米軍基地内海軍病院視察 米軍基地内海軍病院
- 13火○職業インタビュー 東風平小学校 講師：玉寄睦子
- 14水○沖縄県交通遺児育成募金贈呈式 琉球新報社 亀谷会長、大城課長
 - 沖縄県社会保険委員会主催「お薬について」特別講義 ちゃたんニライセンター 講師：比嘉朋子
 - 薬剤師確保事業に関する打合せ会議 県薬会議室 亀谷会長、前濱副会長、川満常務理事、徳嶺恵子、中村章弘、石川恵市、県衛生薬務課・県立病院事業部、大城課長
- 15木○第83回那覇地区薬剤師会臨床講座 県薬研修室
 - 中部地区研修会臨床薬剤師育成研修会 株式会社琉薬
- 16金○平成29年度日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム 大阪コロナホテル 吉富理事
 - アステム社長・ダイコー沖縄本部長を表敬訪問 県薬会長室 亀谷会長
 - 那覇警察署定例表彰式 那覇警察署 亀谷会長、大城課長
 - 沖縄県慢性期医療協会薬剤部会学術講演会 県薬ホール
- 17土○平成29年度第2回地区薬剤師会会長会議 県薬研修室
- 18日○第231回全国禁煙アドバイザー育成講習会 沖縄県小児保健センター
 - 平成29年度薬剤師継続学習通信教育女性薬スクーリング 県薬研修室
 - 平成29年度医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修～高度管理医療機器継続研修会～ シモジ薬局 講師：吉田理事
 - 平成29年度第13回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
 - 平成29年度薬剤師認知症対応力向上研修 in 宮古 シモジ薬局 講師：中尾滋久
- 19月○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 國場幸之助事務所 山城次長
 - 九州山口各県代表者会議・九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 亀谷会長、江夏副会長
- 20火○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動についての取材 琉球新報社 亀谷会長、大城課長
 - 沖縄市高齢福祉課主催介護予防講話 生き生き健康サロン「ナオミ」 講師：砂川信子
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 西銘恒三郎事務所 亀谷会長、山城次長
 - スピオルト発売2周年記念講演会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- 21水○メディアサポ沖縄より取材 県薬会議室 亀谷会長、西川常務理事、大城課長

- 五者事務担当者打合せ会 那覇市内 支払基金・協会けんぽ・三師会の各職員、山城次長、事務局長嶺
- 21水○第12回那覇・浦添地区コ・メディカル糖尿病セミナー 大浜第一病院 共催：MSD株式会社
- 22木○会報取材 ゑのぞ薬局 伊差川サヤカ、座覇里奈、大城課長
 - 平成29年度第3回財務委員会 県薬会議室
 - おきなわ津梁ネットワーク説明会 県薬ホール
- 23金○薬事情報センター実務担当者等研修会 日薬 吉田典子(DI)
 - 第18回OCEAN研究会 ザ・ナハテラス 共催：大日本住友製薬株式会社
- 25日○糖尿病と歯周病に関する研修会・第2回糖尿病に関する意見交換会 沖縄県口腔保健医療センター 徳嶺恵子
 - 平成29年度薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正な販売等に関する研修会 日薬 上原理事、盛本直也
 - 第3回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 県薬研修室
 - 平成29年度日本薬剤師会学校薬剤師部会くすり教育研修会 大阪府薬剤師会館 新垣紀子、上里美矢子
- 26月○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 興南学園 我喜屋 優興南学園理事長・校長/亀谷会長、村田常務理事、山城次長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄電力株式会社 石嶺 伝一郎沖縄電力代表取締役会長/亀谷会長、山城次長
- 27火○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社 琉球光和 山城次長
 - スズケン沖縄より来訪 県薬会長室 亀谷会長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄尚学高等学校 亀谷会長、神村相談役、山城次長
 - 管理者会議 県薬研修室 亀谷会長、各会営薬局長、吉田典子(DI)、各会営医療事務、山城次長、大城課長、小泉主任検査技師
 - 平成29年度第13回幹事会 県薬会議室
 - 平成29年度第5回在宅医療委員会 県薬研修室
 - 平成29年度第2回感染症ケースカンファレンス 中頭病院
- 28水○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社オキジム 大城課長、事務局宮城
 - 株式会社琉薬より来訪 県薬会長室 亀谷会長
 - 株式会社ダイコー沖縄より来訪 県薬会長室 亀谷会長
 - 月次監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原
 - 会報取材 沖縄地区税関 亀谷会長、宮城敦子、池間記世、伊差川サヤカ、安次富大、大城課長、事務局宮城
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社 金秀 山城次長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 宮崎政久事務所 山城次長

平成30年3月

- 1木○沖縄県病院事業局訪問 県庁 亀谷会長、山城次長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼那覇市自治会長へ なは市民協働プラザ 大城課長

- 1木○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼「女性の翼」へ ているる 亀谷
会長、山城次長
- 糖尿病医療連携講演会 沖縄県医師会館 共催：ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- 2金○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県教育委員会県立学校教育課 前濱副会長、山城次長
- 沖縄県病院事業局訪問 県庁 亀谷会長、山城次長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼那覇市自治会長へ 那覇市首
里支所 亀谷会長、山城次長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼那覇市自治会長へ 那覇市小禄支所
山城次長
- 琉球大学漢方医学研究会～平成29年度第4回～ おきなわクリニカルシミュレーション
センター (株)ツムラ
- 3土○平成29年度第2回沖縄県病院薬剤師会精神分科会勉強会 新垣病院
- 平成29年度第13回理事会 県薬研修室
- 4日○**平成29年度自殺予防対策事業ゲートキーパー養成研修会** 県薬研修室
- 平成29年度医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の責任技術者に対する継続研
修～高度管理医療機器継続研修会～ 大濱信泉記念館 講師：中尾滋久
- 南部地区薬剤師会研修会 株式会社アトル
- 平成29年度薬剤師認知症対応力向上研修 in 石垣 大濱信泉記念館 講師：中尾滋久
- 5月○豊見城中央病院訪問 豊見城中央病院 亀谷会長、山城次長
- 6火○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄海邦銀行 山城次長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県体育協会・沖縄
県ウォーキング協会 大城課長
- 月次監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局上原
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社りゅうせき 亀谷会長、
山城次長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 琉球銀行 亀谷会長、山城次長
- 7水○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県赤十字血液センター
前濱副会長、大城課長
- 社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
- 平成29年度第5回地域保健委員会 県薬研修室
- 8木○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 浦添市役所 松本哲治浦添市
長、亀谷会長、宮崎政久氏、山城次長
- 平成29年度第2回健康づくり推進協議会 全国健康保険協会沖縄支部 我喜屋理事
- 平成29年度第4回地域医療支援病院運営委員会・平成29年度友愛会地域連携懇親会
ロワジールホテル&スパタワー那覇 亀谷会長
- 平成29年度麻薬等取扱者講習会 浦添市てだこホール 小泉主任検査技師
- 10土○日本薬剤師会第90回臨時総会（11日まで） ホテルイースト21東京 亀谷会長、江夏副会長
- 講師派遣「在宅医療のための無菌調製講座 in 下関」 海峡メッセ下関 講師：荒井理事
- 11日○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 イオン具志川店 大城課長

- 11日○2018 医師・医療スタッフのための糖尿病セミナー in 沖縄 沖縄県立博物館・美術館共催：
アステラス製薬株式会社
- 平成29年度第14回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
 - 講師派遣「在宅医療のための無菌調製講座 in 徳山」 徳山中央病院 講師：荒井理事
- 12月○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 浦添市医師会 前濱副会長、
大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 宜野湾市役所 佐喜眞淳
宜野湾市長、亀谷会長、山城次長
 - 平成29年度「健康おきなわ21」推進協議会 県庁 前濱副会長
- 13火○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県経営者協会・沖縄県商
工会連合会・沖縄県専修学校各種学校協会 大城課長
- 健康づくり支援事業推進委員会 沖縄県総合福祉センター 渡具知理事
- 14水○社会保険診療報酬支払基金より表敬訪問 県薬会長室 亀谷会長
- 平成29年度沖縄県薬物乱用防止協会第2回理事会 サザンプラザ海邦 前濱副会長
 - 第11回美ら島薬学ネットワーク 沖縄県医師会館 共催：持田製薬株式会社
- 15木○平成29年度第1回沖縄県防災会議幹事会 県庁 吉田理事
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社リウボウフーズ前濱
副会長、大城課長
 - 第5回沖縄県医療費適正化検討委員会 県庁 亀谷会長
 - 平成29年度沖縄県後発医薬品安心使用促進協議会 県庁 江夏副会長
 - 沖縄県体育協会スポーツ医・科学委員会 沖縄県体協スポーツ会館 吉田（DI）、笠原理事
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県体協スポーツ会館吉田
（DI）、笠原理事、大城課長
 - ～八重山地区～脳卒中勉強会 アートホテル石垣島
 - 中部地区研修会第36回薬タッチャーの会 中部徳洲会病院
 - 中部地区研修会臨床薬剤師育成研修会 株式会社 琉薬
 - 平成29年度第2回試験検査センター委員会 県薬会議室 亀谷会長
- 16金○沖縄県医療審議会・医療法人部会・有床診療所部会 県庁 亀谷会長
- 第14回沖縄リウマチ薬研究会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：ファイザー
株式会社
- 17土○「絵本とわたしの物語展」沖縄展 オープンセレモニー 沖縄県立博物館・美術館 前濱副
会長
- 18日○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（沖縄ウォーキング協会へ）
東村つつじ園 江夏副会長、大城課長
- 平成29年度第5回薬剤師のためのフィジカルアセスメント おきなわクリニカルシミュ
レーションセンター 主催：沖縄県病院薬剤師会
 - 沖縄県薬剤師会第77回臨時総会** 県薬ホール
- 19月○沖縄県警察本部より来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社サンエー 亀谷会
長、宮崎政久氏、山城次長

- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 株式会社リウボウストア 前濱副会長、大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 昭和製紙株式会社 屋嘉比康則先生（会員・代表取締役社長）、亀谷会長、山城次長
- 那覇警察署より来訪 県薬会議室 大城課長
- 20火○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼広報 FMレキオ 亀谷会長、我喜屋理事、大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 創価学会沖縄事務所 山城次長
- 22木○会報取材 沖縄県衛生環境研究所 亀谷会長、大城課長
- 平成29年度第1回沖縄県防災会議 県庁 亀谷会長
- 平成29年度第3回医療保険委員会 県薬研修室
- 平成29年度南部徳洲会病院第3回地域連携懇親会 ロワジールホテル&スパタワー那覇 亀谷会長
- 薬局ビジョン事業打合せ会議 県薬会議室 笠原・西川各常務理事、吉田理事、石田浩、沖縄県保健医療部衛生薬務課、山城次長、大城課長
- 平成29年度浦添市医師会第3回糖尿病に関わる医師と医療スタッフのための研修会～ 浦添市社会福祉センター
- 23金○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（那覇ペタンククラブ） 奥武山運動公園補助競技場 亀谷会長、大城課長
- 平成29年度沖縄県献血推進協議会 県庁 前濱副会長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県PTA連合会 亀谷会長、大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 那覇市医師会 川満常務理事、大城課長
- 25日○平成30年度集団指導・調剤報酬改定等説明会 てだこホール
- 26月○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動協力へのお礼 沖縄県立北部病院 江夏副会長、大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動協力へのお礼 勝山病院 江夏副会長、大城課長
- 会営薬局移転検討委員会 県薬会議室
- 27火○「認定薬剤師取得へ向けた継続セミナー」に関する打合せ会 福岡県薬剤師会館 潮平英郎
- 平成29年度第5回薬学生実務実習受入委員会 県薬会議室
- 28水○平成29年度第3回沖縄県地域医療対策協議会 県庁 江夏副会長
- 地域ケア会議（浦添市） アルカディアビル 笠原常務理事
- 第13回沖縄ヘルスプロモーション・アカデミックミーティング 沖縄県医師会館 共催：武田薬品工業
- 29木○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動協力へのお礼 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（南部医療センター）佐久本薫院長・垣花真紀子薬局長、（県薬）亀谷会長・大城課長

- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力願い 沖縄セルラー電話株式会社 山城次長
- 月次監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原・上原
- 平成29年度九州厚生局との連絡会議 県薬研修室 亀谷会長、仲真良重、事務局長嶺
- 平成29年度災害医療マニュアル検討会議・懇親会 県庁 吉田理事
- 平成29年度周産期医療薬物療法講習会 豊見城中央病院 共催：沖縄県病院薬剤師会
- なごみ会主催県民健康フェア第1回実行委員会 沖縄県医師会館 笠原常務理事、事務局長嶺

31土○平成29年度在宅医療委員会主催研修会 県薬ホール

平成30年4月

- 2月○平成30年度第1回広報委員会 県薬会議室 亀谷会長
- 3火○平成30年度第1回幹事会 県薬会議室
- 4水○NHK沖縄放送局記者来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城課長
- 5木○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼広報 FM沖縄 亀谷会長、大城課長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動協力へのお礼 沖縄県立中部病院（中部病院）本竹秀光院長・川平浩子薬局長、（県薬）亀谷会長・伊佐中部地区薬会長・大城課長
- 6金○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（広報） 沖縄ラジオ（オキラジ）松尾はつよ
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（宜野湾市自治会） 宜野湾市役所 亀谷会長、山城次長
 - 平成30年度調剤報酬改定等説明会in八重山 大濱信泉記念館 講師：仲真良重
- 8日○沖縄県地域糖尿病療養指導士会第5回総会・記念講演会 沖縄県医師会館 主催：沖縄県地域糖尿病療養指導士会
- 9月○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 NHK沖縄放送局 亀谷会長、大城課長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 リウボウホールディングス・リウボウインダストリー 亀谷会長、大城課長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄テレビ株式会社 亀谷会長、大城課長
 - 社会保険診療報酬支払基金より来訪 県薬会長室 亀谷会長
- 10火○沖縄県内の国公立大学への薬学部科創設に向けて（合同記者会見） 県庁記者会見室 安里哲好（沖縄県医師会長）、真境名勉（沖縄県歯科医師会長）、亀谷会長、前濱副会長、山城次長、大城課長、事務局宮城
 - 会営薬局とよみ事務会議 会営薬局とよみ 川満常務理事、山城次長
- 11水○沖縄県看護協会新事務局長来訪 県薬会長室 亀谷会長
 - 社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（沖縄市訪問） 沖縄市役所 亀谷会長、山城次長
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（うるま市訪問） うるま市役所 亀谷会長、山城次長

- 平成30年度実務実習受入薬局向け説明会 県薬研修室
- 12木○FM沖縄「伊良皆善子の『人間大好きリレージョッキー』放送（琉球大学への薬学部科創設に関する署名協力について） FM沖縄 亀谷会長(出演)、大城課長
 - 敷地内薬局設置に関する意見交換会 沖縄県立八重山病院 亀谷会長、山城八重山地区会長、宮良長博、山城次長
 - レミッチOD錠発売1周年記念Web講演会 県薬研修室・中頭病院 共催：鳥居薬品株式会社
 - 平成30年度調剤報酬改定等説明会in宮古 宮古島市中央公民館 講師：仲真良重
- 13金○平成30年度地域医療介護総合確保基金医療分にかかる都道府県個別ヒアリング 厚生労働省会議室 笠原常務理事
- 14土○平成30年度第1回理事会 県薬研修室
- 15日○**平成30年度学校薬剤師部会新任新人研修会** 県薬研修室
 - 平成30年度第1回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 16月○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼広報 FMよみたん 松尾はつよ
 - 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼広報 FM21 笠原常務理事、大城課長
- 17火○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 NTT 亀谷会長、大城課長
 - 月次会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原
 - 我那覇沖縄県病院事業局局長訪問（新県立八重山病院 敷地内薬局について） 県庁 亀谷会長、前濱副会長、山城次長
 - 管理者会議 県薬研修室 亀谷会長、各薬局長、吉田典子(DI)、山城次長、大城課長、小泉主任検査技師
- 18水○月次会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局上原
 - ラジオ放送収録（琉球大学への薬学部科創設に関する署名協力について） 琉球放送 亀谷会長、事務局宮城
 - 第45回沖縄うふいち会 ザ・ナハテラス 共催：アステラス製薬株式会社
 - 沖縄県栄養士会新会館お披露目会 沖縄県栄養士会館 亀谷会長、事務局花城
- 19木○琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼（沖縄県経営者協会懇話会へ）ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 亀谷会長、大城課長
 - 第78回那覇地区薬剤師会臨床講座 県薬研修室
 - 中部地区研修会糖尿病セミナー～糖尿病患者さんと寄り添う～ 沖縄市民会館
- 20金○平成30年度地区調整機構総会 ホテルセントラーゼ博多 仲真良重
 - 第7回沖縄糖尿病最新治療コンgres～7周年プレミアム講演会～ パシフィックホテル沖縄 共催：ノバルティスファーマ株式会社
 - 宮古地区研修会「心房細動Conference」 ホテルアトールエメラルド宮古島
 - 一包一話集会議 県薬会議室 亀谷会長、神村相談役、新垣正次、神山朝喜、城間盛光、大城課長
 - 八重山地区薬剤師会・総会 石垣市内
- 22日○**第155回健康とおくすり相談会** 津堅公民館 担当：中部地区薬剤師会
 - 第5回腎臓病薬物療法セミナー FFGホール福岡県
- 24火○平成30年度第1回会営薬局委員会 県薬会議室 亀谷会長
- 25水○地域ケア会議（浦添市） 浦添市内 笠原常務理事

- 第一回おきなわ生活習慣病と循環器病フォーラム ロワジールホテル&スパタワー那覇
共催：興和創薬株式会社
- 薬剤師奨学金返還助成制度に関する会議 県薬会議室 亀谷会長、前濱副会長、石川恵市、
徳嶺恵子、金城雄一、大城課長
- なごみ会主催県民健康フェア第2回実行委員会 沖縄県医師会館 笠原常務理事、事務局
長嶺
- 26木○ 沖縄県国保連合会より来訪 県薬会議室 大城課長
- 琉球大学への薬学部科創設に関する署名活動への協力依頼 沖縄県高等学校PTA連合会
大城課長
- 27金○ 平成30年度第1回医薬分業対策委員会 県薬研修室
- DOAC Frontier Conference ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：バイエル薬品
株式会社

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成30年2月

- 1木○ 名護市長選挙対策緊急団体幹部会合 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 亀谷
会長
- 3土○ 名護市長選挙に伴う打上げ式 名護十字路 仲村英和、山城次長
- 11日○ JPLフォーラム2018 主婦会館プラザエフ 前濱総務・新城総務
- 24土○ 本田あきこと語る会 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 亀谷会長、前濱総務

平成30年3月

- 2金○ 石垣市長選挙中山義隆氏推薦状交付 中山義隆事務所 江夏副幹事長、事務局長嶺
- 薬局廻り 石垣市内 江夏副幹事長、事務局長嶺
- 9金○ 沖縄市長くわえ朝千夫事務所開き くわえ朝千夫後援会事務所 新城総務、山城次長
- 14水○ 衆議院議員コクバ幸之助自民党副幹事長就任祝賀激励会実務者会議 コクバ幸之助後援会
山城次長
- 17土○ 沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム・懇親会 県薬研修室 とかしきなおみ環境副大
臣、岩本研日本薬剤師連連幹事長、小野春夫日本薬剤師連盟副幹事長、山川典二沖縄県議
会議員
- 26月○ 与那原町長選挙候補予定者仲里司氏来訪 県薬会長室 亀谷会長、山城次長
- 28水○ 平成29年度定時評議員会 スクワール麹町（東京都） 亀谷会長

平成30年4月

- 4水○ 沖縄市長選挙に伴う桑江朝千代氏への推薦状交付 輝く！沖縄市を創る市民の会 亀谷会
長、江夏副幹事長、新城総務、普久原隆沖縄支部長、山城次長
- 7土○ 沖縄市長選挙に伴う薬局廻り 沖縄市内 藤井基之参議院議員、安東哲也日本薬剤師連盟
副会長、新城総務、山城次長、事務局宮城
- 9月○ 沖縄市長選挙に伴う薬局廻り 沖縄市内 とかしきなおみ環境副大臣、新城総務、山城次長
- 12木○ くわえ朝千夫必勝！総決起大会 沖縄市民会館 江夏・石川各副幹事長、上原総務、普久

原沖縄支部長、大城課長、事務局宮城

- 13金○与那原町長選挙に伴う仲里ツカサ氏への推薦状交付 仲里ツカサ後援会事務所 亀谷会長、山城次長
- 岸田文雄自民党政調会長を囲む懇談会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 亀谷会長、山城次長
- 14土○福井照沖縄担当大臣との昼食会 ロワジールホテル&スパタワー那覇 亀谷会長
- 衆議院議員コクバ幸之助自由民主党副幹事長就任祝賀会 ロワジールホテル&スパタワー那覇 亀谷会長、神村顧問
- 16月○仲里ツカサを支援する企業・各種団体実務者期日前会議 仲里ツカサ後援会事務所 山城次長
- 17火○与那原町長選挙仲里ツカサ出陣式 仲里ツカサ選対事務所 亀谷会長、山城次長
- 沖縄市長選挙緊急会議 沖縄商工会議所 山城次長
- 18水○本田あき子名簿管理システム説明会 日薬 山城次長、大城課長
- 21土○沖縄市長選挙打上げ式 ゴヤ十字路 亀谷会長、江夏副幹事長、仲真良重、山城次長、大城課長、事務局宮城
- 与那原町長選挙打上げ式 マリンプラザかねひで東浜店前交差点 亀谷会長、山城次長
- 23月○公明党女性の集い パシフィックホテル沖縄 江夏副幹事長、前濱総務
- 2018公明党政経文化セミナー パシフィックホテル沖縄 吉田幹事長、江夏副幹事長、前濱総務
- 28土○自由民主党沖縄県支部連合会総務会 パシフィックホテル沖縄 吉田幹事長
- 第49回自由民主党沖縄県支部連合会大会 パシフィックホテル沖縄 吉田幹事長

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大城 勲 先生（享年87歳） 平成30年5月 2日ご逝去

喜瀬 乗惟 先生（享年82歳） 平成30年4月30日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
（香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】県薬事務局（前原・大城）：098-963-8930

開催日が決定した平成30年度の主な行事

第4回 臨床薬理学会「認知症とその治療薬」

日時：平成30年7月5日（木）19:30～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

認定実務実習指導薬剤師養成・更新研修会

日時：平成30年7月8日（日）9:30～ 会場：シモジ薬局 2階会議室

平成30年度 新任・新人薬剤師研修会

日時：平成30年7月8日（日）12:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

第11回 熟年の集い

日時：平成30年7月15日（日）12:00～ 会場：ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城

平成30年度 在宅医療委員会主催研修会

「在宅医療に役立つフィジカルアセスメントと症例からの薬学的管理の考え方」

日時：平成30年7月15日（日）～16日（月・祝） 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

平成30年度 第1回 健康サポートのための多職種連携(A)・薬剤師の対応(B) 研修会

日時：平成30年7月22日（日）9:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

女性薬剤師部会主催漢方講座

日時：平成30年7月29日（日）10:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

認定実務実習指導薬剤師養成・更新研修会

日時：平成30年8月5日（日）9:30～ 会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

平成30年度 医薬分業対策会議

日時：平成30年8月12日（日）13:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

なごみ会主催 第8回 県民健康フェア 2018

日時：平成30年8月19日（日）12:00～ 会場：沖縄コンベンションセンター

第5回 臨床薬理学会「免疫系に作用する薬物」

日時：平成30年8月30日（木）19:30～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

FAXコーナー担当者連絡会議

日時：平成30年9月9日（日）13:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

平成30年度 第2回 健康サポートのための多職種連携(A)・薬剤師の対応(B) 研修会

日時：平成30年9月30日（日）9:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

アドバンスワークショップ

日時：平成30年10月21日（日）9:00～ 会場：沖縄県看護協会館 ホール

第32回 沖縄県薬剤師会学術大会

日時：平成30年10月28日（日）10:00～ 会場：沖縄県看護協会館 ホール

平成30年度 高度管理医療機器継続研修会

日時：平成30年11月11日（日）10:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

平成30年度 第1回 薬剤師認知症対応力向上研修会

日時：平成30年11月11日（日）13:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

平成30年度 第2回 薬剤師認知症対応力向上研修会

日時：平成31年1月27日（日）13:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

平成30年度 医療安全講習会

日時：平成31年3月3日（日）13:00～ 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

お知らせ

Facebook をご覧下さい！



一般社団法人
沖縄県薬剤師会
@okinawaopa

ホーム
投稿
写真
ページ情報
いいね！

ページを作成

祝 おかげさまで創立90周年を迎えました！



いいね！ メッセージ シェア その他 お問い合わせ

基本データ 編集を提案

FIND US

➡ 沖縄県島尻郡南風原町字新川218番地
10
那覇市

📞 098-963-8930に電話する

道順を表示



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

“橋の下”氏のエッセイ集「一包一話」が一冊の本となりました！

本会機関誌「おきなわ薬剤師会報」にギネス級の長期間（46年以上）にわたって連載されてきた“橋の下”氏（会員の神山朝喜氏）のエッセイ「一包一話」が一冊の本となって上梓されました。

氏の^{うんちく}蘊蓄がぎっしり詰まった一冊を、次頁要領にて販売することと致しましたので、ご案内申し上げます。

＜推薦文＞

おきなわ薬剤師会報が手元に届く度に、一等先に目を向けるのは、橋の下の「一包一話」である。彼には漫筆的才能に長けたところがあり、軽妙洒落な筆致の中にも、時折、チラッと駄洒落を散らしたりしている。何とも妙味のある文章を叙している趣がある。市井の小石を拾い上げて珠玉の石に磨きを上げて、一包の薬包紙に包み込む。それこそ彼の一包一話ではないだろうか。四十数年以上も、沖縄県薬剤師会会報に投稿し続けるためのネタをどのようにして紡ぎ出しているのか。彼の博覧強記ぶりにも感服すること頻りである。何はともあれ、多くの皆様に、この一冊をご一読して頂きたく、お薦め致します。

（沖縄県薬剤師会 相談役 新垣 正次）

氏の卓越した鋭い感性と匠な話術、筆術で書き下ろした歴史、現況、世の動向、変角からの見分、思想、時には生活のプライバシーが見える等、感動したり、同情したり、笑ったり、ウチアタイ（内面的打撲）する一面も有り、橋の下“一包一話”に包まれたエッセイが心にやすらぎを与えてくれ、ヌチグスイ（命薬）と成って居ります。氏には是までのご功勞に敬意を込めると共に、沖縄県薬剤師会の歴史資料として保管することが出来れば喜ばしい限りで有ります。皆様には是非再読され、これまでの経緯、歴史、記憶が読み帰され、情報誌資料として蔵本して頂けたら幸いに思います。

（沖縄県薬剤師会 相談役 神村 武之）

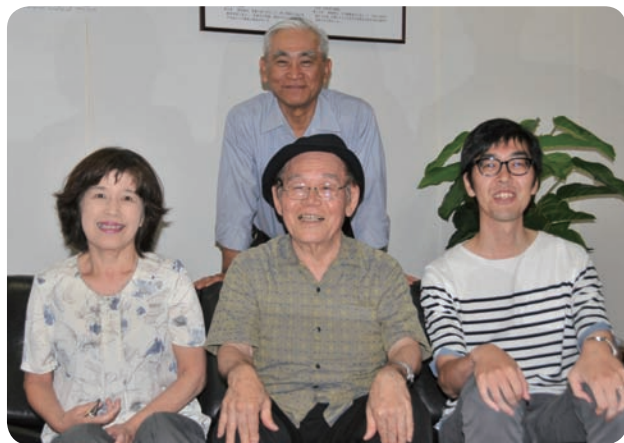
広報委員会にいた私も原稿の校正に携わったわけであるが、読みながらも笑いを禁じ得ない部分や顔が赤らむような色っぽい話の連続に楽しく作業を進めたところである。氏の感性は鋭く、我々の業界が直面している問題をかなり早い段階でその兆しを捉えて警告している。また、方言にも親しみながら、我が沖縄の発展してきた歴史を知ることができ、大いに勉強になった。氏の連載は現在も続いており、熱心なファンも多い。クスツとしたり、ニヤツとしたり、感心しながら読んで欲しい1冊である。

（沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌）



関係者で記念撮影

前列左より、新垣正次氏、神山朝喜氏、城間盛光氏
後列左より、神村武之氏、亀谷浩昌氏、事務局大城



原稿校正を担当した

池間記世氏（左）鈴木一徳氏（右）と一緒に

エッセイ集「一包一話」販売要領

販 売

1. 名 称：一包一話（その1）（その2）
※2冊発刊されています。

2. 著 者：橋の下（神山 朝喜）

3. 判 型：A5 判 350 頁

4. 価 格：その1、その2 いずれも
定価 1,500 円（税込）
会員価格（2冊セットで）
2,000 円（税込）

5. 送 料：無料

6. 注 文：注文票を送付しますので、下記までご一報ください。注文票にご記入いただいて、FAXにてお申し込みしていただきます。（注文先FAX 098-963-8932）
そのあと、請求書を発行致します。

配 布 保険薬局（賛助会員B）には、その1とその2の各1冊（計2冊）を無料で配布します。
薬局待合室での読み物としてご利用いただけたらと思います。

寄 附 発刊にあたっての皆様からのご寄附も募っています。下記までご一報ください。
＜問い合わせ先 TEL 098-963-8930 沖縄県薬剤師会事務局 大城喜仁まで＞



題字は書家の豊平峰雲氏、イラストデザインは、
橋の下の娘様である神山侑子氏（会員）の作品



神山朝喜氏の先輩である金城保景氏
（中央：熟年の集い代表）に発刊の報告



題字を書家の豊平峰雲氏（中央）に依頼



早速サインを求められた“橋の下”氏



広報委員会と関係者で発刊のお祝い



誌上ギャラリー（裏表紙）について

左上：「熊野詣」 photo by 山里 美恵子 撮影地：熊野古道大門坂

熊野詣が盛んだった頃の平安時代にタイムスリップ

右上：「大阪城の梅林」 photo by 新垣 紀子（つる薬局）

左下：猫。。」 photo by 潮平 英郎（琉球大学医学部附属病院） 撮影場所：那覇市桜坂

右下：「コペンハーゲンの古い鍵」 photo by 狩俣 イソ（やすおか薬局） 撮影地：デンマーク

編 集 後 記

ある日の夜、嫁から家族旅行の提案。今年で結婚10年目のアニバーサリーでもあり、GWの長期休暇を利用して海外に行きたいとのこと。私としては断る理由も見つからず、同行できるだけでも御の字だ。思い起こせば、新婚旅行も行けなかったし、、、普段から迷惑をかけている分、ここでポイントを稼いでおく必要がありそうだ。まだ小学生の子供達を楽しませる事を考慮し、香港のディズニーランドとシンガポールのUSSを計画しているのだが、シンガポールは罰金が多く厳しい国だと有名だ。好奇心旺盛な私は、マーライオンにまたがっての記念撮影も企んでいる!?が、罰金刑で嫁の機嫌を損ねて懺悔旅行にだけはならないよう気を引き締めたい。（ごり）

ぎのぞ薬局と税関に行ってまいりました。普段は病院勤めなので、異なる業務を見せていただくのは毎回新鮮です。会報でみなさんにも様々な薬局や関係者の方のお仕事の様子が伝わるといいなと思います。「犬は門を守り、武士は国を守る」の言葉のように場所は違えど、活躍する薬剤師を発見する記事をお届けしていきますので、今後も会報誌をご愛読ください。（いさ吉）

新年度を迎え、薬局も病院も新しい体制の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。如何お過ごしでしょうかと言われれば、ひまではしょうがないと言える人は、この業界では、まだごくわずかなはずで、おそらくは皆様忙しくされているかと思います。そんな中、ヤフーホームページにも取り上げられた、沖縄県への薬学部創設を求めるニュースは会報FAXを見ない方の目にも触れているのではないのでしょうか。もしかしたら、本当に沖縄県に薬学部ができるかもしれない、と思い始めているあなた！薬局の中で埋もれているFAX用紙の山をもう一度見返してみてください。未記入の署名用紙がまだそこにあるなら是非一筆（とは言わず、二人でも三人でも）記載して、FAXのほどよろしくをお願いします。（松）

4月——出会いと別れの季節。草木は燃え、新たな旅人の行く背を見守る。などとはもはや過去の話、社会人は毎月毎月、日々が変化の連続である。卒業も入学も、出会だって別れだって、向こうからやって来るのではない。こっちから向かっていくのである。世の中が変化するよりはやく、自分が変化していったやるのである。だから自分が変化する余力を貯める時間を誰かください……（dash）

麻薬探知犬の取材に同行した。取材の中で意外に思ったことは税関職員のハンドラーは転勤で移動してきた先がたまたまこの部署だったということで、犬と特別に関係のある人になるわけではないらしい。私は犬と猫どちらが好きか、と聞かれれば犬の方が良い。犬はとても人の役に立っている。麻薬探知犬は犬の優れた嗅覚を活用して荷物・貨物・郵便物などに隠されている麻薬類を発見する役目であるが、この優れた嗅覚は警察犬、災害救助犬等にも活用されている。大規模地震の現場での地震救助犬の活躍も目にすると

である。他に医療の場で最大で人間の一億倍とも言われる嗅覚を利用するガン探知犬が日本にも五頭いるらしい。犬は猫に比べて頭が良い。この頭の良さを生かして盲導犬、聴導犬、介助犬等としても重用されている。盲導犬と言えば「クイール」の名前がすぐ浮かぶ。「クイールの一生」を見て涙した人も多だろう。犬にとって盲導犬になるということは並大抵のことではないと思える。それでもその仕事を全うした犬たちがたくさんいることを思うとやっぱり犬はエライ！（ピアナ）

沖縄県薬剤師会 新入職員紹介



会営薬局うえはら
薬剤師
中曽根 鳴香



事務局
経理
上原 美也子



事務局
総務
宮城 豊英



事務局
総務
花城 拓希



事務局
大城 佐知子



会営薬局医療センター前
医療事務
津波古 園子



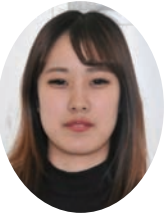
会営薬局うえはら
事務
新川 香代子



会営薬局うえはら
医療事務
泉川 夏穂



会営薬局とよみ
医療事務
高良 涼子



会営薬局とよみ
医療事務
照屋 奈見



会営薬局とよみ
医療事務
五十井 理華



会営薬局とよみ
医療事務
國吉 若美

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報

第292号 平成30年5月31日発行

◇次号は、平成30年7月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・前濱朋子・鈴木一徳・石川恵市・伊敷松太郎
伊差川サヤカ・座覇里奈・安次富大 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
八重山地区通信員／金城智史 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 Skill

誌上ギャラリー

(会員作品)

お気軽にご投稿下さい。

